

審査意見への対応を記載した書類（6月）

（目次） 教育学部 教育学科

1. 【全体計画審査意見3の回答について】

共通教育科目の5つの区分「人間力」、「共感力」、「創造力」、「考え抜く力」及び「国際化に対応する力」の定義に関する説明があるが、共通教育科目を5つの区分に分類する意義や区分間の関連が判然とせず、例えば、「共感力」や「創造力」は「人間力」に包含されるものとも解釈できるものの、これらがどのような構造にあるのか不明確であることから、学生が理解できるように見直すか、必要に応じて図を用いて説明すること。

（改善事項）・・・・・・・・・・3

2. 【全体計画審査意見4の回答について】

教育実習及び保育実習に関して、以下について明確に説明すること。

（1）授業期間中に「教育実習（幼・小）」を実施することについて、「学期終了日を2週分ずらすことにより授業開講日を調整し、授業回数を確保する。」旨の説明があるが、履修モデルにおいても、補講期間との重複が見受けられることから、依然として授業時間割が重複する懸念があるため、学生が確実に授業時間を確保できる体制であることを明確に説明すること。

（是正事項）・・・・・・・・・・12

2. 【全体計画審査意見4の回答について】

教育実習及び保育実習に関して、以下について明確に説明すること。

（2）教育実習の期間について、例えば「教育実習（幼・小）」では2週間と設定しているが、当該年次の学生全員が2週間で実習を完了することは実習先の都合を踏まえると困難であるように考えられるため、期間内にどのように実施する計画かを実習先の割り振りと併せて明確に説明すること。

（是正事項）・・・・・・・・・・19

2. 【全体計画審査意見4の回答について】

教育実習及び保育実習に関して、以下について明確に説明すること。

（3）実習前に修得すべきである領域に関する専門的事項や保育内容の指導法に関する科目が実習後に設定されるなど、体系的に懸念があるため、配当年次を適切に改めること。

（是正事項）・・・・・・・・・・24

3. 【全体計画審査意見 6 の回答について】

アクティブ・ラーニングの考え方や取り入れ方について説明があるが、アクティブ・ラーニングにおいて重要な要素である分析やアウトプットといった高次思考力を養う機会に関する説明がないため、各授業においてどのように取り入れ、実施するのか具体的に説明すること。

(改善事項) 30

4. 【全体計画審査意見 7 の回答について】

図で示された実習先との連携体制は、学内のみの体制であり、実習先との関係性が依然として不明確であるため、具体的に説明すること。また、「大学で把握している学生の状況のうち、実習先においても共有しておいた方がよいと考えられる情報については実習先に提供する」旨の説明があるが、どのような情報を提供するのか具体的に説明すること。

(改善事項) 36

5. 【全体計画審査意見 9 の回答について】

入学前学修支援について、e-learning を用いる旨の説明があるが、具体的な内容や方法等が不明確であるため明確に説明すること。また、「情報」に関しては入学前学修支援をしない旨の説明があるが、1 年次に履修する「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」の学修に当たって必要な「数学」や「情報」の知識をどのように補うのか説明すること。

(改善事項) 40

6. 【全体計画審査意見 11 の回答について】

学内の情報環境整備について、主に看護学部の学生が利用する「大学 2 号館」にはパソコン 41 台が整備されているが、教育学部の学生に対する情報環境整備状況が明確に示されていないことから、授業や自習等を含め学生に不利益が生じないかという観点から、整備計画を改めて具体的に説明すること。

(改善事項) 43

7. 【補正申請書で新たに説明された内容について】

高校生を対象とした入学意向調査を新たに実施し、その結果をもって学生確保の見通しを説明しているが、入学定員 80 名に対して、学部への進学を希望する者が計 71 名であり、継続的に学生を確保することができる見込みとなっていないため、客観的根拠に基づき、改めて明確に説明すること。

(是正事項) 49

(改善事項) 教育学部 教育学科

1. 【全体計画審査意見3の回答について】

共通教育科目の5つの区分「人間力」、「共感力」、「創造力」、「考え抜く力」及び「国際化に対応する力」の定義に関する説明があるが、共通教育科目を5つの区分に分類する意義や区分間の関連が判然とせず、例えば、「共感力」や「創造力」は「人間力」に包含されるものとも解釈できるものの、これらがどのような構造にあるのか不明確であることから、学生が理解できるように見直すか、必要に応じて図を用いて説明すること。

(対応)

【構造の不明確さを解消するための対応】

ご指摘のとおり区分に分類する意義や区分間の関連が判然とせず、学生が理解し難い面があると考え、科目区分と区分名称を見直し、変更した。

旧：共感力、人間力、創造力、考え抜く力、国際化に対応する力

新：宗教と人間、社会と人間、表現・行動と人間、情報と人間、言語・文化と人間

【資料1 共通教育科目 学年進行】

【共通教育科目を5つの区分に分類する意義】

「養成する人材像、教育学部と看護学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー」から、共通教育で学修しなければならない知識および技能を導き出した。それらは5つに区分できると考え、科目設定を行った。

また、この科目区分は学生が学修目的と学修の範囲を理解し、意識的にバランスよく学びを進める助けとなると考えた。

共通教育科目を設定する根拠となる、教育と看護の両学部の養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーのうち関係する部分を一覧化すると下表のようである。

	教育学部	看護学部
養成する人材像	1. キリスト教的人間観に基づき、豊かな人間性と幅広い教養を備え、生命倫理や人間の尊厳を大切にする人材	1. 人間の尊厳を大切にし、良好な援助的人間関係を築ける人材
ディプロマ・ポリシー	1. キリスト教精神に基づいて他者及び異文化を尊重し、豊かな教養や共感力・想像力を基に、国際的な視野を持ち、多様な場における多様な人々との良好な人間関係を形成できる	1. 人間の尊厳を大切にし、良好な人間関係を築くための幅広い教養と知識を身につける
カリキュラム・	1. キリストの精神である人間への深い	1. 人間の尊厳を大切にし、

ポリシー	愛に基づいて、人間への理解を深め尊厳を持って教育・保育を行う人材を養成するために共通教育科目及び専門教育科目の科目群で編成し、それぞれの科目群で人間について学ぶ科目を設定する 2. 学修する上で必須能力であるコミュニケーションスキルや情報リテラシーの育成に関する科目を配置するとともに豊かな教養ならびに国際性を育む科目を設定する	関係を築くことができる能力を養うために、人間や社会についての幅広い教養、他者への共感や論理的な考え方を学び視野を広げる基礎的科目を【共通教育科目】に配置する
------	--	---

【科目区分と科目設定】

この中から、学生たちに共通教育をとおして身につけてほしい知識・技能として導き出したものが、「キリスト教的人間観」「人間の尊厳への理解」「人間と社会についての幅広い教養」「他者への共感」「論理的・科学的思考」「情報リテラシー」「コミュニケーションスキル」「国際性の涵養」という7つの事柄である。

これを次のように5つの科目区分に分類・整理することとした。

- (1)「宗教と人間」……「キリスト教的人間観」「人間の尊厳への理解」を主として養う科目群であり、建学の精神を学ぶとともに、人間にとっての宗教が果たす意味などを考えることを目的とする。
(キリスト教と人間、現代とキリスト教、人間論(哲学)、宗教論)
- (2)「社会と人間」……「人間と社会についての幅広い教養」を主として養う科目群であり、社会と人間の相互関係と現代社会の仕組みとあり方を学ぶことを目的とする。
(心理学、社会学、ジェンダー論、サービスラーニングなど)
- (3)「表現・行動と人間」……「他者への共感」をはじめ人間の感性や情動を主として身体表現・行動を通して学ぶことを目的とする。
(くらしと色彩、人と音楽、園芸療法入門、体育講義など)
- (4)「情報と人間」……「論理的・科学的思考」「情報リテラシー」「コミュニケーションスキル」を主として養う科目群であり、様々な情報を論理的・科学的思考に基づき読み解き活用するための知識や技能を学ぶことを目的とする。
(文章表現、クリティカル・シンキング、社会調査法、情報リテラシーⅠなど)

- (5)「言語・文化と人間」……「国際性の涵養」を主として養う科目群であり、文化的背景の異なる人々を理解する知識、交流できるコミュニケーションスキルを学ぶことを目的とする。
- (Speaking & Listening、フランス語Ⅰ、国際理解(カンボジア研修)、文化人類学(異文化理解)など)

共通教育科目には多様な授業科目を配置している。その主たる目的は「良好な人間関係を形成していく能力」の養成のための「人間への深い認識」である。したがって、人間について学ぶ科目設定となっている。それを常に念頭に置き、学びを深めるために科目区分名に「人間」という言葉を付した。

【科目区分間の関連】

教育学部も看護学部もともに人間に働きかける対人専門職である。基本的な資質として、「人間の尊厳」を大切にし、良好な人間関係を形成していく能力が求められる。

そのためには他者への共感を伴った理解、人間や社会についての幅広い認識、そしてコミュニケーションスキル等を欠くことができない。また専門職者として多様な人々と連携や協働するには論理的・科学的な根拠に基づく思考と行動が必須である。さらに、社会状況の変化や科学の進歩による知識と技術の発展に対応し、知識や技術を自ら更新できる能力がなくてはならない。

このような能力を獲得できるように共通教育は目指している。5つの科目区分は対人専門職として「人間の尊厳」を大切にし、良好な人間関係を形成していく能力の養成のためにすべて同様に重要な科目群である。したがって、区分間の関係は並列であり、相乗効果を生む関係性にある。

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した書類 (16 ページ)

新	旧
P. 16 1-6 養成する人材像と三つのポリシー (略) (2)カリキュラム・ポリシー (略) ① 教育内容 4年間を通した大学の学修の基礎となる共通教育科目においては、 <u>i 宗教と人間に関</u>	P. 16 1-6 養成する人材像と三つのポリシー (略) (2)カリキュラム・ポリシー (略) ① 教育内容 4年間を通した大学の学修の基礎となる共通教育科目においては、 <u>i 共感力を育成す</u>

する科目、ii 社会と人間に関する科目、iii 表現・行動と人間に関する科目、iv 情報と人間に関する科目、v 言語・文化と人間に関する科目を配置し、「人間の尊厳」を大切にし、良好な人間関係を形成するための知識とスキルや、大学での学び方、学習スキルなど、将来に向けての学びの基礎となる教育を行う。	る科目、ii 人間力を育成する科目、iii 創造力を育成する科目、iv 考え抜く力を育成する科目、v 国際化に対応する力を育成する科目を配置し、大学での学び方、学習スキルの修得、将来に向けての学びの基礎となる教育を行う。
---	---

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した書類 (25 ページ)

新	旧
P. 25 1) 教育学部、看護学部に通して求められる能力 <u>(削除)</u> 教育学部も看護学部もともに人間に働きかける対人専門職である。したがって、基本的な資質として、「人間の尊厳」を大切にし、良好な人間関係を形成<u>できる</u>能力が求められる。 そのためには他者への共感を伴った理解、人間<u>や社会</u>についての幅広い認識、そしてコミュニケーションスキル等を欠くことができない。そしてそこには論理的な思考や科学的な根拠に基づく実践が必須である。さらに、<u>社会</u>状況の変化や科学の進歩による知識と技術の発展に対応し、知識や技術を自ら更新できる能力がなくてはならない。 <u>(削除)</u>	P. 25 1) 教育学部、看護学部に通して求められる能力 <u>(1) 対人専門職としての資質の向上</u> 教育学部も看護学部もともに人間に働きかける対人専門職である。したがって、基本的な資質として、「人間の尊厳」を大切にし、良好な人間関係を形成<u>していく</u>能力が求められる。 そのためには他者への共感を伴った理解、人間についての幅広い認識、そしてコミュニケーションスキル等を欠くことができない。そしてそこには論理的な思考や科学的な根拠に基づく実践が必須である。さらに、<u>時代</u>状況の変化や科学の進歩による知識と技術の発展に対応し、知識や技術を自ら更新できる能力がなくてはならない。 <u>(2) 学士力と社会人基礎力の養成</u> <u>(略)</u>

2) 本学の養成する人材像、教育学部と看護学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づく共通教育科目の教育目的 共通教育科目の<u>教育目的</u>は、本学の養成する人材像①「建学の精神であるキリスト教的人間観に基づき、豊かな人間性と幅広い教養を備え、生命倫理や人間の尊厳を大切にする人材」としてまとめられている。 (略) それらを具現化するため、カリキュラム・ポリシーにおいては、教育学部の①で「キリストの精神である人間への深い愛に基づいて、人間への理解を深め尊厳を持って教育・保育を行う人材を養成するために共通教育科目及び専門教育科目の科目群で編成し、それぞれの科目群で人間について学ぶ科目を設定する」、同②で「学修する上で必須能力であるコミュニケーションスキルや情報リテラシーの育成に関する科目を配置するとともに豊かな教養ならびに国際性を育む科目を設定する」、看護学部での①で「人間の尊厳を大切にし、関係を築くことができる能力を養うために、人間や社会についての幅広い教養、他者への共感や論理的な考え方を学び視野を広げる基礎的科目を【共通教育科目】に配置する」と規定されている。 <u>3) 科目区分と科目設定</u>	2) 本学の養成する人材像、教育学部と看護学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づく共通教育科目の教育目的 <u>(1) 教育目的</u> 共通教育科目は、「<u>人間の尊厳</u>」を大切に<u>でき、学士力・社会人基礎力を備えた人材の育成を目指している。</u>その内容は、本学の養成する人材像①「建学の精神であるキリスト教的人間観に基づき、豊かな人間性と幅広い教養を備え、生命倫理や人間の尊厳を大切にする人材」としてまとめられている。 (略) それらを具現化するため、カリキュラム・ポリシーにおいては、教育学部の①で「キリストの精神である人間への深い愛に基づいて、人間への理解を深め尊厳を持って教育・保育を行う人材を養成するために共通教育科目及び専門教育科目の科目群で編成し、それぞれの科目群で人間について学ぶ科目を設定する」、同②で「学修する上で必須能力であるコミュニケーションスキルや情報リテラシーの育成に関する科目を配置するとともに豊かな教養ならびに国際性を育む科目を設定する」、看護学部での①で「人間の尊厳を大切にし、関係を築くことができる能力を養うために、人間についての幅広い教養、他者への共感力・創造力、論理的な考え方を学び視野を広げる基礎的科目を【共通教育科目】に配置する」と規定されている。 <u>(2) 科目設定と科目区分</u>
---	--

上記の点を踏まえ、<u>学修しなければならない共通教育科目の知識および技能として導きたしたもの</u>が、「<u>キリスト教的人間観</u>」「<u>人間の尊厳</u>」「<u>人間や社会についての幅広い教養</u>」「<u>他者への共感</u>」「<u>論理的・科学的思考</u>」「<u>情報リテラシー</u>」「<u>コミュニケーションスキル</u>」「<u>国際性の涵養</u>」である。 これらを、共通教育科目の学びを進める助けとなるように5つに区分した。 【資料 27 共通教育科目 学年進行】 「<u>宗教と人間</u>」……「<u>キリスト教的人間観</u>」「<u>人間の尊厳への理解</u>」を主として養う科目群であり、<u>建学の精神を学ぶとともに、人間にとっての宗教が果たす意味などを考えることを目的とする。</u> （<u>キリスト教と人間、現代とキリスト教、人間論（哲学）、宗教論</u>） 「<u>社会と人間</u>」……「<u>人間と社会についての幅広い教養</u>」を主として養う科目群であり、<u>社会と人間の相互関係と現代社会の仕組みとあり方を学ぶことを目的とする。</u> （<u>心理学、社会学、ジェンダー論、サービスラーニングなど</u>） 「<u>表現・行動と人間</u>」……「<u>他者への共感</u>」をはじめ<u>人間の感性や情動を主として身体表現・行動を通して学ぶことを目的とする。</u> （<u>くらしと色彩、人と音楽、園芸療法入門、体育講義など</u>） 「<u>情報と人間</u>」……「<u>論理的・科学的思考</u>」「<u>情報リテラシー</u>」「<u>コミュニケーションスキル</u>」を主として養う科目群であり、<u>様々な情報を論理的・科学的思考に基づき</u>	上記の点を踏まえ<u>次のように科目設定を行った。</u>「<u>人間の尊厳</u>」「<u>キリスト教的人間観</u>」「<u>豊かな人間性</u>」「<u>国際性</u>」などを育む科目として「<u>キリスト教と人間</u>」「<u>人間論</u>」「<u>宗教論</u>」「<u>ジェンダー論</u>」「<u>心理学</u>」「<u>教育学概論Ⅰ</u>」「<u>人と音楽</u>」「<u>スポーツと健康</u>」「<u>文化人類学</u>」「<u>異文化交流</u>」などを、「<u>論理的な考え方</u>」「<u>コミュニケーションスキル</u>」「<u>情報リテラシー</u>」などを育む科目として「<u>クリティカル・シンキング</u>」「<u>基礎ゼミ</u>」「<u>情報リテラシーⅠ・Ⅱ</u>」「<u>サービスラーニング</u>」などを設定した。 そしてこれらの科目を次のような考え方に基づき整理し科目区分とした。 「<u>人間の尊厳を大切にする</u>」とは、<u>カテゴリーによって安易に人間を理解するのではなく、ひとり一人をかけがえのない個人として認め、理解することである。そのためには、「他者への共感を伴った理解」をする能力（「共感力」）と「豊かな人間性」（「人間力」）が必要となる。またグローバル化が進むなか、異なる文化的背景をもった人たちとの出会いが増すことを考えると、語学力とともに異文化理解（「国際化に対応する力」）も欠かせないものとなる。</u> <u>キリスト教と人間、人間論、宗教論など「共感力」</u> <u>心理学、教育学概論Ⅰ、人と音楽、スポーツと健康など「人間力」</u> <u>文化人類学、異文化交流、Speaking & Listening など「国際化に対応する力」</u> また両学部のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーを作成するに当たって、
--	---

<u>読み解き活用できるための知識や技能を学ぶことを目的とする。</u> <u>(文章表現、クリティカル・シンキング、社会調査法、情報リテラシーⅠなど)</u> <u>「言語・文化と人間」……「国際性の涵養」を主として養う科目群であり、文化的背景の異なる人たちを理解する知識、交流できるコミュニケーションスキルを学ぶことを目的とする。</u> <u>(Speaking & Listening、フランス語Ⅰ、国際理解(カンボジア研修)、文化人類学(異文化理解)など)</u>	<u>学士力・社会人基礎力は次のような現代社会に求められる新しい「教養」と考えて科目設定を行った。「教養」とは、専門化・断片化した知識、無知・偏見・とらわれから私たちを解き放し、自由な思考や判断ができる能力を修得することを目指し、幅広い知識の獲得が求められてきたものである。しかし情報化社会あるいは科学技術の発展のスピードが速い今日においては、幅広い知識の獲得よりも日々増え続ける情報(知識)から正しくかつ有用な情報(知識)を見分け、活用する能力が重要となってきた。そのためには論理的な思考力とさまざまな価値観をもった人々の連携や協働、そして想像力と、ときには新しい価値の創造をもって課題解決ができる能力(「考え抜く力」「創造力」)が重要となる。</u> <u>社会学・ジェンダー論・サービスラーニングなど「創造力」</u> <u>クリティカル・シンキング、基礎ゼミ、情報リテラシーⅠ・Ⅱなど「考え抜く力」</u>
<u>4) 4年間を通じた共通教育科目での学びの深化</u> <u>(削除)</u> 大学において何をどのように学ぶのかといったことを確認するとともに、大学での学びの基本的スキルの修得を目指す科目は初年次教育に含まれている。<u>しかし、人間の尊厳の理解や他者への共感、国際性を育むには、時</u>	<u>3) 4年間を通じた共通教育科目での学びの深化</u> <u>さきに述べた学士力・社会人基礎力や人間の尊厳の理解、あるいは価値観の構築、国際的な視野の獲得は、時間を要するものであり、4年間にわたってゆつくりと積み上げ、学び続けることが必要である。</u> <u>科目設定では、大学において何をどのように学ぶのかといったことを確認するとともに、大学での学びの基本的スキルの修得を目指す初年次教育の側面も含まれているので、基本的なスキルを早い段階で身につけられる</u>

<u>間を要するものであり、4年間にわたってゆっくと積み上げ、学び続けることが必要であるため、4年間にわたる科目設定をしている。(削除)</u> <u>5) 専門を異にする学生同士の交流による学修の深化</u>	<u>よう考えている。【資料27：共通教育科目 学年進行】</u> <u>4) 専門を異にする学生同士の交流による学修の深化</u>
---	--

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した書類 (31 ページ)

新	旧
P. 31 4-2 教育学部の教育課程の編成の考え方と特色 (略) 3) 教育学部のカリキュラム編成の特色 (1) 教育学部の科目配置 教育学部のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの関係及び各科目配置について図式化したものを【資料 28：教育学部カリキュラムマップ】に示した。 共通教育科目としては、<u>人間への理解を深めるための科目群、学修する上で必須能力であるコミュニケーションスキルや情報リテラシーの育成に関する科目群、国際性を育む科目群</u>を配置した。 (略)	P. 32 4-2 教育学部の教育課程の編成の考え方と特色 (略) 3) 教育学部のカリキュラム編成の特色 (1) 教育学部の科目配置 教育学部のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの関係及び各科目配置について図式化したものを【資料 28：教育学部カリキュラムマップ】に示した。 共通教育科目としては<u>主に共感力、人間力、創造力の養成に関連する科目群、学修上必須能力であるコミュニケーションスキルや情報リテラシー、国際性に関する科目群</u>を配置した。 (略)

共通教育科目 学年進行

科目区分	授業科目名	単位		1年		2年		3年		4年	
		必修	選択	1前	1後	2前	2後	3前	3後	4前	4後
宗教と人間	キリスト教と人間	1		1前							
	現代とキリスト教	1			1後						
	人間論(哲学)	1						3前			
	宗教論	1									4後
社会と人間	心理学 ※	1	①	1前							
	教育学概論Ⅰ	1	①	1前							
	教育学概論Ⅱ	1		1前							
	ライフサイエンス	1			1後						
	社会学 ※		1		1後						
	サービスラーニング	1				2通年					
	キャリア入門	1		1前							
	セーフティプロモーション		1			2前					
	生活と化学		1		1後						
	社会と人権(日本国憲法)	2	②		1後						
	ジェンダー論		1			2前					
	生命倫理	1			1後						
表現・行動と人間	くらしと色彩 ※※		1		1後						
	人と音楽 ※※		1	1前							4後
	音楽療法入門		1								4後
	園芸療法入門		1								
	体育講義	1	①	1前							
	体育実技	1			1後						
	スポーツと健康		①	1前							
情報と人間	文章表現	1	1	1前							
	クリティカル・シンキング					2後					
	基礎ゼミ	1		1前							
	教養ゼミ	1			1後						
	社会調査法		1			2後					
	データサイエンス		1			2前					
	情報倫理	1		1前							
	情報リテラシーⅠ	1		1前							
言語・文化と人間	情報リテラシーⅡ		1		1後						
	Speaking & Listening	1		1前	1後						
	Writing	1		1前	1後						
	ReadingⅠ	1		1前	1後						
	ReadingⅡ ※※※		1			2前	2後				
	Process Writing ※※※		1			2前	2後				
	時事英語 ※※※		1								
	医療英語 ※※※		1					3前	3後		
	フランス語Ⅰ ※※※		1	1前						4前	4後
	フランス語Ⅱ ※※※		1		1後						
	異文化交流(海外語学研修) ※※※		2	1前							
	国際理解(カンボジア研修)		1	1前							
	文化人類学(異文化理解) ※		1	1前							
共通教育科目合計単位数		22	28	20	15	6	4	2	1	1	4

□:教育学部のための科目単位数

○:看護学部のための科目単位数

※より1単位選択必修

※※より1単位選択必修

※※※より3単位選択必修

共通教育科目 学年進行

科目区分		授業科目名	単位		1年		2年		3年		4年	
			必修	選択	1前	1後	2前	2後	3前	3後	4前	4後
共感力	建学の精神と人間愛	キリスト教と人間	1		1前							
		現代とキリスト教	1			1後						
		人間論(哲学)	1						3前			
		宗教論	1									4後
人間力	人間理解	心理学 ※	1	1	1前							
		教育学概論Ⅰ			1前							
		教育学概論Ⅱ	1		1前							
		ライフサイエンス	1			1後						
	感性を高める	くらしと色彩 ※		1		1後						
		人と音楽 ※		1	1前							
		音楽療法入門		1								4後
		園芸療法入門		1								4後
	身体機能を高める	体育講義	1	①	1前							
		体育実技	1			1後						
スポーツと健康			①	1前								
創造力	連携と協働	社会学 ※	1	1		1後		2通年				
		サービスラーニング										
		キャリア入門	1		1前							
		セーフティプロモーション		1			2前					
	価値判断力	生活と化学		1		1後						
		社会と人権(日本国憲法)	2	②		1後						
		ジェンダー論		1			2前					
		生命倫理	1			1後						
考え抜く力	論理的思考	文章表現	1	1	1前							
		クリティカル・シンキング						2後				
		基礎ゼミ	1		1前							
		教養ゼミ	1			1後						
	課題発見と解決力	社会調査法		1				2後				
		データサイエンス		1			2前					
	情報リテラシー	情報倫理	1		1前							
		情報リテラシーⅠ	1		1前							
情報リテラシーⅡ			1		1後							
国際化に対応する力	コミュニケーション力	Speaking & Listening	1		1前	1後						
		Writing	1		1前	1後						
		ReadingⅠ	1		1前	1後						
		ReadingⅡ		1			2前	2後				
		Process Writing		1			2前	2後				
		時事英語		1								
		医療英語		1					3前	3後		
		フランス語Ⅰ		1	1前						4前	4後
		フランス語Ⅱ		1		1後						
		異文化尊重	異文化交流(海外語学研修)		2	1前						
	国際理解(カンボジア研修)			1	1前							
	文化人類学(異文化理解) ※			1	1前							
	共通教育科目合計単位数			22	27	16	15	6	4	2	1	1

□:教育学部のための科目単位数

○:看護学部のための科目単位数

※:2単位選択必修

※※:2単位選択必修

その他は共通科目

3単位選択必修

(是正事項) 教育学部 教育学科

2. 【全体計画審査意見4の回答について】

教育実習及び保育実習に関して、以下について明確に説明すること。

(1) 授業期間中に「教育実習(幼・小)」を実施することについて、「学期終了日を2週分ずらすことにより授業開講日を調整し、授業回数を確保する。」旨の説明があるが、履修モデルにおいても、補講期間との重複が見受けられることから、依然として授業時間割が重複する懸念があるため、学生が確実に授業時間を確保できる体制であることを明確に説明すること。

(対応)

幼児教育コースにおける「教育実習(幼・小)」の幼稚園教育実習時期は、2年次の9月と3年次の5月の各2週間であるが、そのうち3年次の実習は授業期間中に行うこととしている。

このことについて、前回補正申請時の審査意見4で「授業時間割の重複」についてのご指摘への対応として「履修モデル」に記載した内容が、「補講期間と授業開講日が重複する可能性がある」と学生に混乱を招く恐れがあった。

そのため、次のように対応する。

【授業期間中に「教育実習(幼・小)」を実施するための授業時間の確保への対応】

1. 授業時間の確保

原則、前期の授業期間は15週(開講期4月第1週～7月第2週)とするが、幼児教育コースの3年次においては、必要な授業時間を確保するため、授業期間を17週(開講期4月第1週～7月第4週、授業15週と実習2週間)と設定する。祝日等により授業時間が不足する場合は、補講日として設定している土曜日及び受講者全員の空き時間等に補講を組むことにより対応する。幼児教育コース3年次前期の定期試験期間は7月末～8月第1週に設定する。

2. コース横断的な科目における他コースへの影響

幼児教育コース3年次前期で履修するコース横断的な科目における他コースとの兼ね合いについて、初等教育コースとの同時開講科目と、看護学部との共通教育科目に分けて説明する。

1) 初等教育コースとの同時開講科目

幼児教育コース3年次における初等教育コースとの同時開講科目は、次の通りである。

「教育学演習Ⅰ」…少人数によるゼミのため、同じ授業担当者のゼミに両コースの履修者がいる場合は、実習期間中のゼミを休講とし補講日等を利用して対応する。

「初等教育方法学」…時間割上、コースごとに時間を設定しているため、影響はない。

「初等教育相談」…時間割上、コースごとに時間を設定しているため、影響はない。

2) 看護学部との共通教育科目

幼児教育コースの3年次前期における看護学部との共通教育科目は、次の通りである。

「人間論（哲学）」…4月から開講、7.5回の授業のため、実習期間中に授業を行わなくとも影響はない。

「医療英語」…選択科目であり、前期（4月～）と後期（10月～）に設定しているため、どちらでも履修可能である。前期に履修する場合においても、1日2コマを設定している科目のため、実習期間中に授業を行わなくとも影響はない。

以上のことから、幼児教育コース3年次前期における、初等教育コースとの同時開講科目、看護学部との共通教育科目は、いずれも実習期間中は授業を行わなくとも影響はない。

3. 「履修モデル」の記載修正

幼児教育コース3年次前期の「教育実習（幼・小）」に伴う授業時間の確保については、1のように授業期間をあらかじめ17週に設定し、祝日等により授業時間が不足する場合は、補講日として設定している土曜日及び受講者全員の空き時間等に補講を組むことにより対応する。前回補正申請時の審査意見4へ対応した記載では、学生に誤解を招く恐れがあったため、次のように文言を改める。

（新旧対照表）履修モデル②④【幼児教育コース】

新	旧
※3年次5月中旬は幼稚園教育実習のため、他の授業は行わない。 <u>それに伴い、3年次前期の授業期間を17週とする。</u>	※3年次5月中旬は幼稚園教育実習のため、他の授業は行わない。
※祝日等で各科目の <u>授業時間が不足する場合は土曜日及び空き時間等に補講を行う。</u>	※祝日等で各科目の開講回数が不足する場合は <u>補講期間に開講する。</u>

これに伴い、「教育学部教育学科 前期時間割」及び「教育・保育実習手引き」の記載についても同様に改める。

⇒資料：履修モデル②④【幼児教育コース】【資料2-1①、2-1②】
教育学部教育学科 前期時間割（設置の趣旨を記載した書類 資料39）
教育・保育実習手引き（設置の趣旨を記載した書類 資料48）

4. 学生への周知徹底

幼児教育コースでは幼稚園教諭免許状取得が主たる目的であるにもかかわらず、そのための必須科目である「教育実習（幼・小）」の履修により学習機会の確保に不利益が生じるということのないよう、1及び2の対応を行うが、それについて学生にも混乱の無いように、「入学時オリエンテーション」「コース希望調査」「3年次履修ガイダンス」「教育実習事前指導」の機会に、丁寧な説明を行っていく。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (55 ページ)

新	旧
P. 55 6-2 履修指導の方法等 2) 入学後の学修支援 (1) 教育学部における学修支援 (略) ① 履修指導方法 (略) 履修モデル④ (略) ・入学時オリエンテーション：4年間の大学生活全般にわたり、卒業・就職までの展望を自覚的に形成できるような観点から指導を行う。その際、2年次以降で分かれる両コースの特色及び履修内容の違い、<u>幼児教育コース3年次前期の幼稚園教育実習による授業期間（17週）設定</u>、それぞれのコースにおいて3つの資格を取得する際の条件とその場合の履修状況について、履修モデルに基づいて説明を行う。 ・1年次後期開始時：1年次の12月に、2年次からのコース希望調査を行うが、意思決定までに一定期間必要であるため、1年次後期開始時にコース分けに向けた説明会を行う。その際、両コースの特色及び履修内容の違い、<u>幼児教育コース3年次前期の授業期間</u>、それぞれのコースにおいて3つの資格を取得する際の条件について再度説明を行う。なお、コース分け希望調査は実習先確保や時間割作成のためであり、学生は希望したコースに必ず進めることも説明する。 (略) ・3年次進級時：2年次に学んだ幅広い専門領域の中からより深く学んでみたい専門領域を選択し、大学生活における学び	P. 54 6-2 履修指導の方法等 2) 入学後の学修支援 (1) 教育学部における学修支援 (略) ① 履修指導方法 (略) 履修モデル④ (略) ・入学時オリエンテーション：4年間の大学生活全般にわたり、卒業・就職までの展望を自覚的に形成できるような観点から指導を行う。その際、2年次以降で分かれる両コースの特色及び履修内容の違い、<u>(追加)</u>それぞれのコースにおいて3つの資格を取得する際の条件とその場合の履修状況について、履修モデルに基づいて説明を行う ・1年次後期開始時：1年次の12月に、2年次からのコース希望調査を行うが、意思決定までに一定期間必要であるため、1年次後期開始時にコース分けに向けた説明会を行う。その際、両コースの特色及び履修内容の違い、<u>(追加)</u>それぞれのコースにおいて3つの資格を取得する際の条件について再度説明を行う。なお、コース分け希望調査は実習先確保や時間割作成のためであり、学生は希望したコースに必ず進めることも説明する。 (略) ・3年次進級時：2年次に学んだ幅広い専門領域の中からより深く学んでみたい専門領域を選択し、大学生活における学び

の醍醐味であるゼミナール活動に入ることや、専任教員が開講する「教育学演習」を複数履修し、自主的・主体的で対話的な学びを体験することについて説明する。また、2年次末に3つの資格取得が認められた学生に対し、3年次後期以降の履修について改めて説明を行う。 <u>なお、幼児教育コースにおいては、授業期間中に幼稚園教育実習があるため、その期間に授業は行わず、それに伴い3年次前期の授業期間が17週設定されていることや、各科目の授業時間が不足する場合は土曜日及び空き時間等に補講を行うことを周知する。</u>	の醍醐味であるゼミナール活動に入ることや、専任教員が開講する「教育学演習」を複数履修し、自主的・主体的で対話的な学びを体験することについて説明する。また、2年次末に3つの資格取得が認められた学生に対し、3年次後期以降の履修について改めて説明を行う。 <u>(追加)</u>
---	--

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (92 ページ)

新	旧
P. 92 10. 実習の具体的計画 (略) 3) 実習時期【資料46：教育学部 コース別実習時期一覧表】 (1) 幼稚園教育実習 (略) ② 幼児教育コース ・幼稚園に(前半)2年次の9月に2週間と(後半)3年次の5月に2週間の合計4週間。 ※実習期間中、他の授業は行わない。<u>それに伴い、3年次前期の授業期間を17週とする。</u> ※祝日等で各科目の<u>授業時間が不足する場合は土曜日及び空き時間等に補講を行う。</u>	P. 88 10. 実習の具体的計画 (略) 3) 実習時期【資料46：教育学部 コース別実習時期一覧表】 (1) 幼稚園教育実習 (略) ② 幼児教育コース ・幼稚園に(前半)2年生の9月に2週間と(後半)3年生の5月に2週間の合計4週間。 ※実習期間中、他の授業は行わない。各科目の<u>開講回数</u>が不足する場合は<u>補講期間に開講する。</u>

(新旧対照表) 【資料 48】教育・保育実習手引き (幼児教育コース) (21 ページ)

新	旧
P. 21 3年5月中旬	P. 21 3年5月中旬

「幼稚園教育実習」（後半２週間） ※実習期間中，他の授業は行わない。<u>それに伴い、３年次前期の授業期間を17週とする。</u> ※祝日等で各科目の<u>授業時間が不足する場合は土曜日及び空き時間等に補講を行う。</u>	「幼稚園教育実習」（後半２週間） ※実習期間中，他の授業は行わない。各科目の<u>開講回数が不足する場合は補講期間に開講する。</u>
--	---

科目 区分		1年				2年				3年				4年				必修	選択必修	選択	合計		
		前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位						
共通教育科目	宗教と人間	キリスト教と人間 ◎	1	現代とキリスト教 ◎	1					人間論(哲学) ◎	1					宗教論 ◎	1	4			4		
	社会と人間	心理学 ○ 教育学概論Ⅰ ◎ 教育学概論Ⅱ ◎ キャリア入門 ◎	1 1 1 1	ライフサイエンス ◎ 社会と人権(日本国憲法) ◎ 生命倫理 ◎	1 2 1	サービスラーニング ◎			1									8	1		9		
	行動表と現・人間	体育講義 ◎	1	体育実技 ◎ くらしと色彩 ○	1 1														2	1		3	
	情報と人間	文章表現 基礎ゼミ ◎ 情報倫理 ◎ 情報リテラシーⅠ ◎	1 1 1 1	教養ゼミ ◎	1			クリティカル・シンキング ◎	1										5	1		6	
	文化言と語・人間	Speaking & Listening ◎ Writing ◎	1 1	ReadingⅠ ◎	1	Process Writing ○	1	ReadingⅡ ○	1							時事英語 ○	1			3	3		6
	合計		12		9		1		3		1		0		1		1	22	5	1	28		

専門教育科目	学科目共通科	教育原理 ◎	2							教育学演習Ⅰ ◎	2	教育学演習Ⅱ ◎	2	教育学研究Ⅰ ◎	2	教育学研究Ⅱ ◎	2	10			10
	学科コア科目	初等音楽論Ⅰ ◎ 初等図工論Ⅰ ◎ 幼児と環境論 ◎ 幼児と言葉論 ◎ 保育内容総論 ◎	1 1 1 1 2	教育心理学 ◎ 教育制度論 ◎ 初等国語論 ◎ 初等音楽論Ⅱ ◎ 初等図工論Ⅱ ◎ 保育・教育課程論 ○ 幼児と人間関係論 ◎ 幼児と表現論 ○	2 2 2 1 1 2 1 1	保育者論 ○ 初等体育論Ⅰ ◎ 特別支援教育学 ◎ 幼児と健康論 ○ 保育内容指導法(健康) ○ 保育内容指導法(人間関係) ◎ 保育内容指導法(環境) ◎ 保育内容指導法(言葉) ◎ 保育内容指導法(表現) ○	2 1 2 1 1 1 1 1			初等教育方法学 ◎	2	初等音楽論Ⅲ ○	1					23	9		32
	学科展開科目	保育原理 ◎ 社会福祉論 ◎	2 2	子ども家庭福祉 ◎	2	幼児の理解 ○ 幼児音楽指導法Ⅰ ○ 社会的養護Ⅰ 幼児造形指導法Ⅰ ○ 子どもの保健 子どもの食と栄養 リトミック演習 教育実習事前事後指導 ○	1 1 2 1 2 2 1 1	ICT活用演習 ◎ 幼児音楽指導法Ⅱ ○ 幼児造形指導法Ⅱ ○ 子ども家庭支援論 乳児保育Ⅰ 社会的養護Ⅱ 教職インターンシップ ○ 保育実習指導ⅠA	1 1 2 2 2 1 1 1	初等教育相談 ◎ 子ども家庭支援の心理学 乳児保育Ⅱ 子どもの健康と安全 保育実習指導ⅠB 保育実習指導Ⅱ	2 2 1 1 1 1	子育て支援 卒業研究 ◎	1 1 1			教職実践演習(幼・小) ○	2 5	14	14	26	54
	合計		12		14		21		8		15		15		2		9	47	23	26	96
	合計		24		23		22		11		16		15		3		10	69	29	26	124

※3年次5月中旬は幼稚園教育実習のため、他の授業は行わない。それに伴い、3年次前期の授業期間を17週とする。
※祝日等で各科目の授業時間が不足する場合は土曜日及び空き時間等に補講を行う。

科目 区分		1年				2年				3年				4年				必修	選択必修	選択	合計
		前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位				
共通教育科目	宗教と人間	キリスト教と人間 ◎	1	現代とキリスト教 ◎	1					人間論(哲学) ◎	1					宗教論 ◎	1	4			4
	社会と人間	心理学 ○ 教育学概論Ⅰ ◎ 教育学概論Ⅱ ◎ キャリア入門 ◎	1 1 1 1	ライフサイエンス ◎ 社会と人権(日本国憲法) ◎ 生命倫理 ◎	1 2 1			サービスラーニング ◎	1									8	1		9
	行動表と現人間	体育講義 ◎	1	体育実技 ◎ くらしと色彩 ○	1 1													2	1		3
	情報と人間	文章表現 基礎ゼミ ◎ 情報倫理 ◎ 情報リテラシーⅠ ◎	1 1 1 1	教養ゼミ ◎	1			クリティカル・シンキング ◎	1									5		1	6
	文化言と語人間	Speaking & Listening ◎ Writing ◎	1 1	ReadingⅠ ◎	1	Process Writing ○	1	ReadingⅡ ○	1							時事英語 ○	1		3	3	6
	合計		12		9		1		3		1		0		1		1	22	5	1	28

専門教育科目	学科共通科	教育原理 ◎	2					教育学演習Ⅰ ◎	2	教育学演習Ⅱ ◎	2	教育学研究Ⅰ ◎	2	教育学研究Ⅱ ◎	2	10			10
	学科コア科目	初等音楽論Ⅰ ◎ 初等図工論Ⅰ ◎ 幼児と環境論 ◎ 幼児と言葉論 ◎ 保育内容総論 ◎	1 1 1 1 2	教育心理学 ◎ 教育制度論 ◎ 初等国語論 ◎ 初等音楽論Ⅱ ◎ 初等図工論Ⅱ ◎ 保育・教育課程論 ○ 幼児と人間関係論 ◎ 幼児と表現論 ○	2 2 2 1 1 2 1 1	保育者論 ○ 初等体育論Ⅰ ◎ 特別支援教育学 ◎ 幼児と健康論 ○ 保育内容指導法(健康) ○ 保育内容指導法(人間関係) ◎ 保育内容指導法(環境) ◎ 保育内容指導法(言葉) ◎ 保育内容指導法(表現) ○	2 1 2 1 1 1 1 1	初等教育方法学 ◎	2	初等音楽論Ⅲ ○ 初等生徒・進路指導論 ○ 初等教育課程論 ○ 初等国語科教育論 ○ 初等社会科教育論 ○ 初等理科教育論 ○ 初等家庭科教育論 ○	1 2 2 2 2 2 2	教職論 ○ 初等算数科教育論 ○ 初等生活科教育論 ○ 初等音楽科教育論 ○ 初等国工科教育論 ○ 初等体育科教育論 ○ 初等英語科教育論 ○ 初等算数論 ○ 初等英語論 ○	2 2 2 2 2 2 2 2 2				23	39	62
	学科展開科目	保育原理 ◎ 社会福祉論 ◎	2 2	子ども家庭福祉 ◎	2	幼児の理解 ○ 幼児音楽指導法Ⅰ ○ 幼児造形指導法Ⅰ ◎ 社会的養護Ⅰ 子どもの保健 子どもの食と栄養 教育実習事前事後指導 ○	1 1 1 2 2 2 2	ICT活用演習 ◎ 幼児音楽指導法Ⅱ ○ 幼児造形指導法Ⅱ ◎ 社会的養護Ⅱ 乳児保育Ⅰ 社会的養護Ⅱ	1 1 1 2 2 1	初等教育相談 ◎ 子ども家庭支援の心理学 乳児保育Ⅱ 子どもの健康と安全 保育実習指導ⅠB 保育実習指導ⅠA 保育実習指導Ⅱ	2 2 1 1 1 1 1	子育て支援 初等道徳教育論 ○ 卒業研究 ◎	1 2 1	初等特別活動指導論 ○ 総合的な学習の指導論 ○ 教職実践演習(幼・小) ○	1 1 2				55
							教育実習(幼・小) ○(4単位)前半 幼稚園教育実習 9月集中 2週間		保育実習ⅠA (2単位) 保育所実習 2月集中 10日間	教育実習(幼・小) ○(4単位)後半 幼稚園教育実習 3月集中 2週間※	保育実習Ⅱ (2単位) 保育所実習 9月集中 10日間	保育実習ⅠB (2単位) 施設実習 12月集中 10日間	※3年次5月中旬は幼稚園教育実習のため、他の授業は行わない。それに伴い、3年次前期の授業期間を17週とする。 ※祝日等で各科目の授業時間が不足する場合は土曜日及び空き時間等に補講を行う。						
	合計		12		14	20		8		13		27		22		11	47	55	25

※3年次5月中旬は幼稚園教育実習のため、他の授業は行わない。それに伴い、3年次前期の授業期間を17週とする。
※祝日等で各科目の授業時間が不足する場合は土曜日及び空き時間等に補講を行う。

合計		24		23		21		11		14		27		23		12	69	60	26	155
----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	----	----	----	-----

(是正事項) 教育学部 教育学科

2. 【全体計画審査意見4の回答について】

教育実習及び保育実習に関して、以下について明確に説明すること。

(2) 教育実習の期間について、例えば「教育実習(幼・小)」では2週間と設定しているが、当該年次の学生全員が2週間で実習を完了することは実習先の都合を踏まえると困難であるように考えられるため、期間内にどのように実施する計画かを実習先の割り振りと併せて明確に説明すること。

(対応)

「教育実習(幼・小)」では2週間として設定しているが、ご指摘の通り、当該年次の学生全員が2週間で実習完了ができるかどうかは、実習先の都合も関係することである。そこで、教育実習の期間内に実施するための計画について、次に示す。

【教育実習の期間内に実施するための計画】

まずは、本学が設定している実習期間に完了すべき実習について挙げ、当該実習を実施するための計画(実習先の割り振りと万一実習時期がずれる場合の想定)について述べる。

1. 期間内に確実に完了することが必要な実習

教育実習は、免許取得上必修科目である「教育実習(幼・小)」の幼稚園教育実習(2年次9月・3年次5月の各2週間)と小学校教育実習(3年次9月の4週間)、選択科目の「幼稚園教育実習」「小学校教育実習」がある。そのうち、あらかじめ設定した期間に当該年次の学生全員が実習を完了する必要がある実習は、授業期間中に実施する「教育実習(幼・小)」の幼稚園教育実習(3年次5月)である。それ以外の教育実習については、長期休業中の実習のため、設定した期間と実際の実習期間が前後に多少ずれることになったとしても問題ないと考ええる。

- ・「教育実習(幼・小)」幼稚園教育実習(前半) 2年次9月2週間 …夏季休業中
- ・「教育実習(幼・小)」幼稚園教育実習(後半) 3年次5月2週間 …授業期間中のため、考慮が必要
- ・「教育実習(幼・小)」小学校教育実習 3年次9月4週間 …夏季休業中
- ・「幼稚園教育実習」 4年次9月2週間 …夏季休業中
- ・「小学校教育実習」 4年次9月2週間 …夏季休業中

2. 幼稚園実習先の割り振り

教育学部の実習先決定は、原則として「実習協力園」から学生自身が選択し、大学が依頼する。「実習協力園」は、短期大学の時から長年実習生を送り出している園である。その際も、幼稚園教育実習は5月の授業期間中の実施であったため、確実に期間内に実習を完了していただける園である。よって、4年制大学においても、本学の実習時期設定についてご理解いただいた上で、3年次の「2024年5月6日(月)」から実習が開始できる「実習承諾書」を計29園(92名分)いただいている。「実習協力園」への実習依頼は、設置の趣旨P.96に示した

通り、本学実習担当委員が行うこととしている。実習開始1年前（実習生が1年次）に、実習先に「実習を2回に分けて行うことに関する本学の意図」と「実習期間の設定」について説明を行ったうえで次年度以降の確定実習時期を通知し、「実習受け入れ可能人数」をあらかじめ決定合意する。その上で、1年次12月に実施する実習先希望調査の結果を踏まえて、実習先に依頼を行い、実習先の割り振りを行う。

万一開学後に、実習先の都合により実習期間中での実習が困難であると申し出があった場合も、前述の通り92名分の実習先を確保しているため調整の範疇と推測している。その中に3名の受け入れを予定している併設幼稚園は、短期大学時には例年10～20名の受け入れ実績があり、当初の受け入れ人数を超えても調整可能と見込めるため、実習先の割り振りに支障はないことから、確実に設定した実習期間に完了できると考えている。

「実習協力園」が学生の居住区からの移動に適した距離にない場合等においては学生が新規園を希望することもできるが、依頼をする際に「指定の2週間で完了していただけるかどうか」ということを条件とする。

以上の対応により、3年次5月の2週間の期間における実習については、設定した2週間で確実に実習完了できるよう、実習先を割り振ることが可能である。

3. 災害等によりやむを得ず実習期間が延長する場合の対応

3年次5月の2週間の実習期間中に、自然災害や感染症流行等による休園等で実習期間が延長となり授業を欠席せざるを得ない場合は、通常の欠席とは異なる「実習による欠席扱い」とし、授業担当者の裁量により補講またはオンデマンド授業等で授業内容の補足を行うことで、修得すべき授業内容が満たされないという不利益が学生に生じないよう対応する。

実習開始前から本学実習担当委員が実習園と情報を密に取り合うため、万一の実習期間変更の場合は実習担当委員より授業担当者に対して、「実習による欠席扱いに該当する学生」が不利益にならないように通知する。

資料：「教育・保育実習手引き」（設置の趣旨を記載した書類 資料48）

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（92ページ）

新	旧
P. 91 10. 実習の具体的計画 10-1 教育学部の実習計画の概要 (略) 2) 実習先の確保の状況 <u>(1) 実習先の確保状況</u> (略) <u>(2) 3年次5月における幼稚園教育実習先確保について</u>	P. 88 10. 実習の具体的計画 10-1 教育学部の実習計画の概要 (略) 2) 実習先の確保の状況 <u>(追加)</u> (略) <u>(追加)</u>

3年次5月に実施する幼稚園教育実習については、授業期間中の実施のため、あらかじめ設定した期間に当該年次の学生全員が実習を完了する必要があるため、実習先の割り振りに配慮が必要である。

「実習協力園」は、短期大学時から長年実習生を送り出している園である。その際も、幼稚園教育実習は5月の授業期間中の実施であったため、確実に期間内に実習を完了していただける園である。よって、4年制大学においても、本学の実習時期設定についてご理解いただいた上で、(1)の通り、「実習承諾書」を「実習承諾書」を計29園(92名分)いただいている。それらの実習先に対して、実習開始1年前(実習生が1年次)に、「実習を2回に分けて行うことに関する本学の意図」と「実習期間の設定」について説明を行ったうえで次年度以降の確定実習時期を通知し、「実習受け入れ可能人数」をあらかじめ伺っておく。その上で、1年次12月に実施する実習先希望調査の結果を踏まえて、実習先に依頼を行い、実習先の割り振りを行う。

万一開学後に、実習先の都合により実習期間中での実習が困難であると申し出があった場合も、前述の通り92名分の実習先を確保しているので調整の範疇と推測している。その中に3名の受け入れを予定している併設幼稚園は、短期大学時には例年10～20名の受け入れ実績があり、当初の受け入れ人数を超えても調整可能と見込めるため、実習先の割り振りに支障はないことから、確実に設定した実習期間に完了できると考えている。

「実習協力園」が学生の居住区からの移動に適した距離にない場合等においては学生が新規園を希望することもできるが、依頼をする際に「指定の2週間で完了していただけるかどうか」ということを条件とする。

以上の対応により、3年次5月の2週間の期間における実習については、設定した2週

<u>間で確実に実習完了できるよう、実習先を割り振ることが可能である。</u>	
---	--

(新旧対照表)【資料 48】教育・保育実習手引き (初等教育コース) (9 ページ)

新	旧
P. 9 8 実習中の諸注意 (略) (5) 地震や台風等で出勤できない場合は実習校・園と大学の実習担当委員に連絡をすること。通勤途中での地震などは、まずは自身の安全を第一に行動すること。連絡方法が途絶えることも考えられるが、身の安全を第一に考え、回線復帰後すぐに連絡をすること。 実習校・園で被災し、実習継続が困難な場合、実習は直ちに停止とし、その後実習担当委員あるいは教務課との連絡によって指示を受けること。ただし帰宅が困難な場合などは、無理をせず実習校・園で待機させてもらうこと。 <u>地震や台風等の影響で実習期間が延長となり授業を欠席せざるを得ない場合は、通常の欠席とは異なる「実習による欠席扱い」となる。実習担当委員より授業担当者に伝達の上、授業担当者の裁量により補講またはオンデマンド授業等で授業内容の補足を行う。</u>	P. 9 8 実習中の諸注意 (略) (5) 地震や台風等で出勤できない場合は実習校・園と大学の実習担当委員に連絡をすること。通勤途中での地震などは、まずは自身の安全を第一に行動すること。連絡方法が途絶えることも考えられるが、身の安全を第一に考え、回線復帰後すぐに連絡をすること。 実習校・園で被災し、実習継続が困難な場合、実習は直ちに停止とし、その後実習担当委員あるいは教務課との連絡によって指示を受けること。ただし帰宅が困難な場合などは、無理をせず実習校・園で待機させてもらうこと。 <u>(追加)</u>

(新旧対照表)【資料 48】教育・保育実習手引き (幼児教育コース) (28 ページ)

新	旧
P. 28 8 実習中の諸注意 (略)	P. 28 8 実習中の諸注意 (略)

(5) 地震や台風等で出勤できない場合は実習担当委員に連絡をすること。通勤途中で地震などは、まずは自身の安全を第一に行動すること。連絡方法が途絶えることも考えられるが、身の安全を第一に考え、回線復帰後すぐに連絡をすること。 園・施設で被災し実習継続が困難な場合、実習は直ちに停止とし、その後実習担当委員あるいは教務課との連絡によって指示を受けること。ただし、帰宅が困難な場合などは、無理をせず、園・施設で待機させてもらうこと。 <u>地震や台風等の影響で実習期間が延長となり授業を欠席せざるを得ない場合は、通常の欠席とは異なる「実習による欠席扱い」となる。実習担当委員より授業担当者に伝達の上、授業担当者の裁量により補講またはオンデマンド授業等で授業内容の補足を行う。</u>	(5) 地震や台風等で出勤できない場合は実習担当委員に連絡をすること。通勤途中で地震などは、まずは自身の安全を第一に行動すること。連絡方法が途絶えることも考えられるが、身の安全を第一に考え、回線復帰後すぐに連絡をすること。 園・施設で被災し実習継続が困難な場合、実習は直ちに停止とし、その後実習担当委員あるいは教務課との連絡によって指示を受けること。ただし、帰宅が困難な場合などは、無理をせず、園・施設で待機させてもらうこと。 <u>(追加)</u>
---	--

(是正事項) 教育学部 教育学科

2. 【全体計画審査意見4の回答について】

教育実習及び保育実習に関して、以下について明確に説明すること。

(3) 実習前に修得すべきである領域に関する専門的事項や保育内容の指導法に関する科目が実習後に設定されるなど、体系的に懸念があるため、配当年次を適切に改めること。

(対応)

ご指摘の通り、保育内容の指導法に関する科目である「幼児音楽指導法Ⅱ」「幼児造形指導法Ⅰ」の2科目が「教育実習(幼・小)」(4単位)の前半の実習となる幼稚園教育実習2週間の後に設定されている。また、「幼児造形指導法Ⅱ」が3年次前期5月に行われる「教育実習(幼・小)」(4単位)の後半の実習となる幼稚園教育実習2週間と同時期に設定されていた。

これらの科目の基礎となる内容は1年次前期「初等音楽論Ⅰ」「初等図工論Ⅰ」、1年次後期「初等音楽論Ⅱ」「初等図工論Ⅱ」「幼児と表現論」において、また2年次前期において「保育内容指導法(表現)」「幼児音楽指導法Ⅰ」で習得し、「教育実習(幼・小)」(4単位)の前半の実習となる幼稚園教育実習2週間に臨む計画であった。その実習での体験を通して自己課題等を大学に持ち帰り「幼児音楽指導法Ⅱ」「幼児造形指導法Ⅰ」において技術を高める学びを深め、さらに、3年次前期に「幼児造形指導法Ⅱ」と後半2週間の実習を同時期に設定することにより、制作設定保育に向けての実習計画に活かすことができ、より良い実践に繋がると構想していた。

しかし、ご指摘のように、「幼児造形指導法Ⅱ」の全15回の授業内容を実習の実践に活かすことも重要であるため、下のように改める。

	(新)	(旧)
「幼児造形指導法Ⅰ」	2年前期	2年後期
「幼児造形指導法Ⅱ」	2年後期	3年前期

この変更によっても、「幼児音楽指導法Ⅱ」「幼児造形指導法Ⅱ」は「教育実習(幼・小)」(4単位)の前半となる幼稚園教育実習2週間の後に設定されることになるが、前述のように「幼児音楽指導法Ⅰ」「幼児造形指導法Ⅰ」での学びを前半実習で実践し、その体験で得た課題を基に大学での学びを深め後半の幼稚園教育実習に臨むことができ、より実践力を高められると考える。

また、ご指摘を受け「教育実習(幼・小)」(4単位)の小学校教育実習に関する科目の配当年次について精査した結果、教育実習における授業実践の可能性を鑑み、「初等道德教育論」を3年次9月の実習前に設定するのがより良いとの結論から、下のように改める。

(新) (旧)

「初等道德教育論」 3 年前期 3 年後期

以上の変更を踏まえ、実習に関して修得すべき科目の体系性を【資料 2-3】に示す。

資料：実習に関して修得すべき科目の体系性を示す表【資料 2-3】

なお、実習を行うための条件の充足については、各期の単位認定会の結果から実習委員会で検討するが、具体的には「教育・保育実習手引き」に記載している通り、次の内容を確認する。

〔各実習前に実習委員会が確認する条件〕

- ・実習の条件として指定されている科目が修得済みであること。
- ・「教育実習事前事後指導」を履修していること。
- ・当該実習までに課されている「実習指導」の全課題が完了していること。（「教育実習（幼・小）」は「教育実習事前事後指導」、「保育実習ⅠA」は「保育実習指導ⅠA」、「保育実習ⅠB」は「保育実習指導ⅠB」）

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（33 ページ）

新	旧
P. 33 4-2 教育学部の教育課程の編成の考え方と特色 3) 教育学部のカリキュラム編成の特色 (略) (2) 科目分類の考え方と、学年進行による科目配置 (略) <u>(3) 実習に関して修得すべき科目の体系性</u> <u>教育学部の幼稚園教諭免許状、小学校教諭免許状、保育士資格取得に必須の実習について、実習前に修得すべき科目を体系的に配置している。実習に関して修得すべき科目の体系性については、【資料29-2：実習に関して修得すべき科目の体系性を示す表】で示す。</u>	P. 33 4-2 教育学部の教育課程の編成の考え方と特色 3) 教育学部のカリキュラム編成の特色 (略) (2) 科目分類の考え方と、学年進行による科目配置 (略) <u>(追加)</u>

(新旧対照表)【資料 48】教育・保育実習手引き (幼児教育コース) (24 ページ)

新	旧
P. 24 4 実習の履修と評価 ① 履修 (1) 「教育実習 (幼・小)」は併せて「教育実習事前事後指導」を履修すること。なお、履修するためには「教育原理」「保育内容総論」「教育心理学」「基礎ゼミ」「教養ゼミ」を修得<u>していること。2 期にわたる幼稚園教育実習に参加するまでに、開講されている領域に関する専門的事項及び保育内容の指導法に関する科目を修得していること。</u>	P. 24 4 実習の履修と評価 ① 履修 (1) 「教育実習 (幼・小)」は併せて「教育実習事前事後指導」を履修すること。なお、履修するためには「教育原理」「保育内容総論」「教育心理学」「基礎ゼミ」「教養ゼミ」を修得<u>済みであること (追加)</u>

(新旧対照表)【資料 29-1】教育学部教育学科 教育課程編成の方針に基づいた学年進行毎の科目配置

新	旧
《初等教育コース》 (略) 3 年後期 学科共通科目の「教育学演習Ⅱ」は「教育学演習Ⅰ」の内容をより深め実力をつける。その主体的な学びを通して小学校教諭としての自分の強みを実践的指導力につなげ、さらに発展させる。 各教科に関する指導法について教育現場の実態を意識しながら学修を深める。また「初等生徒・進路指導論」「<u>初等特別活動指導論</u>」等において、<u>教育現場の</u>諸活動における指導方法を修得する。	《初等教育コース》 (略) 3 年後期 学科共通科目の「教育学演習Ⅱ」は「教育学演習Ⅰ」の内容をより深め実力をつける。その主体的な学びを通して小学校教諭としての自分の強みを実践的指導力につなげ、さらに発展させる。 各教科に関する指導法について教育現場の実態を意識しながら学修を深める。また「初等生徒・進路指導論」「<u>初等道德教育論</u>」等において<u>道德の基本的知識を身に付け、</u>諸活動における指導方法を修得する。

＜教育学部教育学科＞

実習に関して修得すべき科目の体系性を示す表(幼稚園教諭免許状)

具体的な履修カリキュラム

履修年次		科 目 名 称			
年次	時期	教育の基礎的理解に関する科目等	領域及び保育内容の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目
1年次	前期	教育原理	幼児と環境論	初等音楽論Ⅰ	体育講義
			幼児と言葉論	初等図工論Ⅰ	Speaking & Listening
			保育内容総論	教育学概論Ⅰ	情報リテラシーⅠ
				教育学概論Ⅱ	Writing
	後期	教育制度論	幼児と人間関係論	初等国語論	社会と人権(日本国憲法)
		教育心理学	幼児と表現論	初等音楽論Ⅱ	体育実技
		保育・教育課程論		初等図工論Ⅱ	ReadingⅠ
2年次	通年	教育実習事前事後指導		サービスラーニング	
	前期	保育者論	幼児と健康論	初等体育論Ⅰ	
		特別支援教育学	保育内容指導法(環境)		
		幼児の理解	保育内容指導法(言葉)		
			保育内容指導法(人間関係)		
			保育内容指導法(健康)		
			保育内容指導法(表現)		
			幼児音楽指導法Ⅰ		
			幼児造形指導法Ⅰ		
	集中	「教育実習(幼・小)」前半 幼稚園教育実習(9月2週間)			
	後期	教職インターンシップ	幼児音楽指導法Ⅱ		ICT活用演習
			幼児造形指導法Ⅱ		
3年次	通年	教育実習事前事後指導			
	前期	初等教育方法学			
		初等教育相談			
		教職インターンシップ			
	集中	「教育実習(幼・小)」後半 幼稚園教育実習(5月2週間)			
	後期			初等音楽論Ⅲ	
4年次	前期				
	後期	教職実践演習(幼・小)			

＜教育学部教育学科＞

実習に関して修得すべき科目の体系性を示す表(小学校教諭免許状)

具体的な履修カリキュラム

履修年次		科 目 名 称			
年次	時期	教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目
1年次	前期	教育原理	初等音楽論Ⅰ	教育学概論Ⅰ	体育講義
			初等図工論Ⅰ	教育学概論Ⅱ	Speaking & Listening
					情報リテラシーⅠ
					Writing
	後期	教育制度論	初等国語論		社会と人権(日本国憲法)
		教育心理学	初等音楽論Ⅱ		体育実技
		初等教育課程論	初等図工論Ⅱ		ReadingⅠ
2年次	通年	教育実習事前事後指導		サービスラーニング	
	前期	教職論	初等算数論		
		特別支援教育学	初等体育論Ⅰ		
			初等英語論		
	後期		初等国語科教育論		ICT活用演習
			初等社会科教育論		
			初等理科教育論		
			初等家庭科教育論		
3年次	通年	教育実習事前事後指導			
	前期	初等教育方法学	初等算数科教育論		
		初等教育相談	初等生活科教育論		
		初等道德教育論	初等音楽科教育論		
			初等図工科教育論		
			初等体育科教育論		
			初等英語科教育論		
	集中	「教育実習(幼・小)」 小学校教育実習(9月4週間)			
	後期	初等生徒・進路指導論			
		初等特別活動指導論			
		総合的な学習の指導論			
4年次	前期				
	後期	教職実践演習(幼・小)			

＜教育学部教育学科＞

実習に関して修得すべき科目の体系性を示す表(保育士資格)

具体的な履修カリキュラム

履修年次		科 目 名 称		
年次	時期	保育の本質・目的に関する科目	保育の対象の理解に関する科目	保育の内容・方法に関する科目
1年次	前期	保育原理		保育内容総論
		教育原理		初等音楽論Ⅰ
		社会福祉論		初等図工論Ⅰ
				幼児と言葉論
	後期	子ども家庭福祉	教育心理学	保育・教育課程論
		教育制度論		初等国語論
2年次	前期	社会的養護Ⅰ	幼児の理解	保育内容指導法(健康)
		保育者論	子どもの保健	保育内容指導法(人間関係)
			子どもの食と栄養	保育内容指導法(環境)
				保育内容指導法(言葉)
				保育内容指導法(表現)
				初等体育論Ⅰ
				特別支援教育学
				幼児音楽指導法Ⅰ
				幼児造形指導法Ⅰ
	後期	子ども家庭支援論		乳児保育Ⅰ
				社会的養護Ⅱ
	集中	「保育実習ⅠA」 保育所実習(2月下旬2週間)		
3年次	前期		子ども家庭支援の心理学	乳児保育Ⅱ
				子どもの健康と安全
	集中 (いずれか選択)	「保育実習Ⅱ」 保育所実習(9月2週間) 「保育実習Ⅲ」 施設実習(9月2週間)		
	後期			子育て支援
	集中	「保育実習ⅠB」 施設実習(8、12、2月いずれかの2週間)		
4年次	前期			
	後期	教職実践演習(幼・小)		

(改善事項) 教育学部 教育学科

3. 【全体計画審査意見6の回答について】

アクティブ・ラーニングの考え方や取り入れ方について説明があるが、アクティブ・ラーニングにおいて重要な要素である分析やアウトプットといった高次思考力を養う機会に関する説明がないため、各授業においてどのように取り入れ、実施するのか具体的に説明すること。

(対応)

審査意見を踏まえて、次のように対応する。

1. 高次思考力を養う機会について

アクティブ・ラーニングにおいて重要な要素である高次思考力においては、問題解決へ向けて、情報の収集、内容の把握、整理、分析、選別、集約、統合等の情報を処理・活用するプロセスを適切に進めることが重要となる。これらの過程においては ICT の活用が必要となる。問題解決へ向け、個々に行う内容や協働して行う内容を効果的に設定し、問題解決のプロセスと結論だけでなく、今後の課題や更なる問題点を明確にすることも重要である。高次思考力を段階的に培うために、講義、演習、少人数ゼミ等の特性を活かした授業を順次設定している。1年次から段階的に適切な情報の収集、分析、発表や相互評価を可能にする授業を経て、集大成として「卒業研究」に取り組む。

2. 高次思考力を養う機会としての各授業におけるアクティブ・ラーニングの取り入れ方

アクティブ・ラーニングを効果的に行うために、まず、情報の扱いに係る基礎的な知識や技術の習得と解説した情報に関する客観的思考を学習することが必要になる。情報の扱いに関する基礎的な知識と技術については、共通教育科目の「情報リテラシーI」「情報リテラシーII」「データサイエンス」「クリティカル・シンキング」「社会調査法」「文章表現」「基礎ゼミ」「教養ゼミ」等で学ぶ。「データサイエンス」「クリティカル・シンキング」「社会調査法」「文章表現」では、学生が主体的に情報を収集し、客観的な分析や考察を行う内容を設定する。「基礎ゼミ」「教養ゼミ」では、設定したテーマに対して必要な情報を探索し、グループワークにおいて建設的な議論の仕方と発表等アウトプットする力を磨く機会を設ける。

また、少人数ゼミで課題解決に取り組む科目を設定して、情報解説と客観的思考を深めるための学習を行う。前述した1年次の「基礎ゼミ」「教養ゼミ」、3年次の「教育学演習I・II」、4年次の「教育学研究I・II」では、論理的に課題解決へ向けて議論しながら、課題解決の適切なプロセスを進める。課題解決のために収集する情報とその分析の方法については、公表された論文や専門書など、根拠に基づいた情報が記載されている資料を扱う。収集した情報についてはゼミ形式で資料の客観的考察と論拠の確定を行いながら、課

題解決にあたっての内容の適切性や評価等を議論する。同時に未解決の問題点や新たな課題についても議論する。導かれた結論をアウトプットする機会として、パワーポイント等を使用して発表を行い、レビュー形式で報告書をまとめる。発表は複数のグループで行い、活発な質疑ができるように事前に発表内容を把握するための発表要旨を作成する。「教育学演習Ⅰ・Ⅱ」「教育学研究Ⅰ・Ⅱ」ではグループワークに加えオンラインセッション等の方法で互いを評価し、共同作業や互いの能力を培う機会を設ける。これらの過程において高次思考力を養うための機会を十分与えることができる考える。

このように、高次思考力を養うために、1年次から授業や少人数ゼミで段階的にアクティブ・ラーニングの経験を積み重ね、その集大成として「卒業研究」に取り組む。

高次思考力を養うためのアクティブ・ラーニングの具体的な取り入れ方法など、主に情報の扱い方を身に付ける授業や少人数ゼミでの研究・発表の授業を中心に加筆をし、資料3に示す。

資料：アクティブ・ラーニングの考えに基づく教育方法【資料3】

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した書類 (52 ページ)

新	旧
P. 52 6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件 6-1 教育方法 1) 教育学部の教育方法 (1) 教育課程と配当年次の設定 (略) (2) 授業内容に応じた教育方法 (略) そこで、教育学部では講義、演習、実習等いずれの授業形態においてもアクティブ・ラーニングの考え方を取り入れ、主体的な学びの力を育成する。 <u>アクティブ・ラーニングにおいて重要な要素である高次思考力においては、問題解決に向けて、情報の収集、内容の把握、整理、分析、選別、集約、統合等の情報を処理・活用するプロセスを適切に進めることが重要とな</u>	P. 52 6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件 6-1 教育方法 1) 教育学部の教育方法 (1) 教育課程と配当年次の設定 (略) (2) 授業内容に応じた教育方法 (略) そこで、教育学部では講義、演習、実習等いずれの授業形態においてもアクティブ・ラーニングの考え方を取り入れ、主体的な学びの力を育成する。 <u>(追加)</u>

る。これらの過程においては ICT の活用が必要となる。問題解決へ向け、個々に行う内容や協働して行う内容を効果的に設定し、問題解決のプロセスと結論だけでなく、今後の課題や更なる問題点を明確にすることも重要である。高次思考力を段階的に培うために、講義、演習、少人数ゼミ等の特性を活かした授業を順次設定している。1 年次から段階的に適切な情報の収集、分析、発表や相互評価を可能にする授業を経て、集大成として「卒業研究」に取り組む。

アクティブ・ラーニングを効果的に行うために、まず、情報の扱い等に係る基礎的な知識や技術の習得と解説した情報に関する客観的思考を学習することが必要になる。情報の扱いに関する基礎的な知識と技術については、共通教育科目の「情報リテラシーI」「情報リテラシーII」「データサイエンス」「クリティカル・シンキング」「社会調査法」「文章表現」「基礎ゼミ」「教養ゼミ」等で学ぶ。「データサイエンス」「クリティカル・シンキング」「社会調査法」「文章表現」では、学生が主体的に情報を収集し、客観的な分析や考察を行う内容を設定する。「基礎ゼミ」「教養ゼミ」では、設定したテーマに対して必要な情報を探索し、グループワークにおいて建設的な議論の仕方と発表等アウトプットする力を磨く機会を設ける。

また、少人数ゼミで課題解決に取り組む科目を設定して、情報解説と客観的思考を深めるための学習を行う。前述した1年次の「基礎ゼミ」「教養ゼミ」、3年次の「教育学演習Ⅰ・Ⅱ」、4年次の「教育学研究Ⅰ・Ⅱ」では、論理的に課題解決へ向けて議論しながら、課題解決の適切なプロセスを進める。課題解決のために収集する情報とその分析の方

<u>法については、公表された論文や専門書など、根拠に基づいた情報が記載されている資料を扱う。収集した情報についてはゼミ形式で資料の客観的考察と論拠の確定を行いながら、課題解決にあたっての内容の適切性や評価等を議論する。同時に未解決の問題点や新たな課題についても議論する。導かれた結論をアウトプットする機会として、パワーポイント等を使用して発表を行い、レビュー形式で報告書をまとめる。発表は複数のグループで行い、活発な質疑ができるように事前に発表内容を把握するための発表要旨を作成する。「教育学演習Ⅰ・Ⅱ」「教育学研究Ⅰ・Ⅱ」ではグループワークに加えオンラインセッション等の方法で互いを評価し、共同作業や互いの能力を培う機会を設ける。これらの過程において高次思考力を養うための機会を十分与えることができる考える。</u> <u>このように、高次思考力を養うために、1年次から授業や少人数ゼミで段階的にアクティブ・ラーニングの経験を積み重ね、その集大成として「卒業研究」に取り組む。</u> <u>各授業でアクティブ・ラーニングを実施するにあたっては、講義、演習、実習等の特性を生かした教育方法において、上記の内容を効果的に取り入れる。（略）</u>	<u>そのために、教員が講義、演習、実習という教育方法において、反転授業や協同学習を効果的に取り入れる。（略）</u>
---	--

【資料3】 旧

新

教育学部におけるアクティブ・ラーニングの考えに基づく教育方法

教育学部では、アクティブ・ラーニングの考えに基づいた教育を行う。以下に主な科目と具体的な取り入れ方法について示す。

○情報の扱いに関する科目（「情報リテラシーI」「情報リテラシーII」「データサイエンス」「クリティカル・シンキング」「社会調査法」「文章表現」「基礎ゼミ」「教養ゼミ」等）

……これらの科目では、アクティブ・ラーニングを効果的に行うために必要な、情報の扱いに関する基礎的な知識と技術を身に付け、情報の読解や客観的思考を学習する。具体的には、情報機器やアプリケーションの操作方法について学んだ上で、実際にそれらを用いて情報収集、集計、プレゼンテーション資料の作成を行い、最終的にはグループで発表する。文章や映像を基にレジュメやスライドショーを作成し、グループで客観的な検討を行う。

また、情報活用の発展としてプログラミングにおける問題の発見・分解・抽象化・一般化・組み合わせから分析・評価に至るプロセスを通して、問題解決型思考力を育むとともに統計解析の手法についても理解を深める。卒業研究へ向けて関心を高めるため、身近な社会現象の実例や教育事例をテーマに分析手法の基礎とその適用方法を学ぶ。目的に合った適切な方法で社会調査を実施・分析し、結果をまとめる能力を培う。

○領域に関する科目（「幼児と健康論」「幼児と人間関係論」「幼児と環境論」「幼児と言葉論」「幼児と表現論」）子どもの包括的理解に関する科目（「特別支援教育学」「障害児保育論」「幼児の理解」等）

……5領域科目においては、理論を学ぶ際には子どもの理解とともに学習することが必要である。また、子どもの包括的理解に関する科目においても、様々な角度から子どもを理解する力を養うことが必要である。そこで、事例学習を用いてグループディスカッションをしながら、他者の視点を取り入れ、根拠を基に考える学習を取り入れる。

○実践に関する科目（「初等教育課程論」「保育・教育課程論」「初等教育方法学」「ICT活用演習」「初等教育相談」「子ども家庭支援論」「教職実践演習（幼・小）」等）

……これらは実際に即した学習が必要な科目であり、他者と協同して作り上げていくものであるため、事例学習などによる分析や、ディスカッションが必要である。また、教育方法や支援方法についても、個人で進めていくものではなく、他者との議論により客観的な視点を基に、協同して支援策を考えていくものであるため、事例学習、ロールプレイ、ディスカッション、マイクロティーチング等を取り入れる。

教育学部におけるアクティブ・ラーニングの考えに基づく教育方法

教育学部では、アクティブ・ラーニングの考えに基づいた教育を行う。以下に主な科目と具体的な取り入れ方法について示す。

○領域に関する科目（「幼児と健康論」「幼児と人間関係論」「幼児と環境論」「幼児と言葉論」「幼児と表現論」）子どもの包括的理解に関する科目（「特別支援教育学」「障害児保育論」「幼児の理解」等）

……5領域科目においては、理論を学ぶ際には子どもの理解とともに学習することが必要である。また、子どもの包括的理解に関する科目においても、様々な角度から子どもを理解する力を養うことが必要である。そこで、事例学習を用いてグループディスカッションをしながら、他者の視点を取り入れ、根拠を基に考える学習を取り入れる。

○実践に関する科目（「初等教育課程論」「保育・教育課程論」「初等教育方法学」「ICT活用演習」「初等教育相談」「子ども家庭支援論」「教職実践演習（幼・小）」等）

……これらは実際に即した学習が必要な科目であり、他者と協同して作り上げていくものであるため、事例学習などによる分析や、ディスカッションが必要である。また、教育方法や支援方法についても、個人で進めていくものではなく、他者との議論により客観的な視点を基に、協同して支援策を考えていくものであるため、事例学習、ロールプレイ、ディスカッション、マイクロティーチング等を取り入れる。

○教科指導法（「初等国語科教育論」「初等理科教育論」等）・保育内容指導法科目（保育内容指導法（健康）、保育内容指導法（人間関係）、保育内容指導法（環境）等）

……これらの科目では、学習指導要領、幼稚園教育要領や保育所保育指針を基に、子どもの実態を踏まえて、実践へ向けた指導案作成や模擬授業を実践することになるが、教材研究や指導案検討の際にグループワークを取り入れ、模擬授業では相互評価を行うことによって、客観的に授業を見る視点や、他者と協同し教育・保育を探究する力を養う。

○実習に関する科目（「教育実習（幼・小）」「保育実習ⅠA」「保育実習ⅠB」「保育実習Ⅱ」「保育実習Ⅲ」「教職インターンシップ」「教育実習事前事後指導」等）

……これらの科目では、実際の幼稚園、小学校、保育所での観察・参加・指導実習を通して、子どもと直接かわり、子どもの実態を把握する。また、指導案作成、実践、省察、評価を行うことによって、指導教諭のアドバイスを受け試行錯誤することによって、主体的な実践能力を高める。実践後は、自己を振り返り、新たな自己課題を挙げる。

○教科指導法（「初等国語科教育論」「初等理科教育論」等）・保育内容指導法科目（保育内容指導法（健康）、保育内容指導法（人間関係）、保育内容指導法（環境）等）

……これらの科目では、学習指導要領、幼稚園教育要領や保育所保育指針を基に、子どもの実態を踏まえて、実践へ向けた指導案作成や模擬授業を実践することになるが、教材研究や指導案検討の際にグループワークを取り入れ、模擬授業では相互評価を行うことによって、客観的に授業を見る視点や、他者と協同し教育・保育を探究する力を養う。

○実習に関する科目（「教育実習（幼・小）」「保育実習ⅠA」「保育実習ⅠB」「保育実習Ⅱ」「保育実習Ⅲ」「教職インターンシップ」「教育実習事前事後指導」等）

……これらの科目では、実際の幼稚園、小学校、保育所での観察・参加・指導実習を通して、子どもと直接かかわり、子どもの実態を把握する。また、指導案作成、実践、省察、評価を行うことによって、指導教諭のアドバイスを受け試行錯誤することによって、主体的な実践能力を高める。実践後は、自己を振り返り、新たな自己課題を挙げる。

○少人数ゼミで課題解決に取り組む科目（「基礎ゼミ」「教養ゼミ」「教育学演習Ⅰ」「教育学演習Ⅱ」「教育学研究Ⅰ」「教育学研究Ⅱ」「卒業研究」）

……これらの科目では、各自が課題設定、研究計画、先行研究収集、調査、実験、分析、口頭発表、論文執筆を行う。

具体的にはまず、論理的に課題解決へ向けて進めるように議論しながら、課題解決の適切なプロセスを進める。課題解決のために収集する情報とその分析の方法については、公表された論文や専門書など、根拠に基づいた情報が記載されている資料を扱う。収集したものについてはゼミ形式で資料の客観的考察と論拠の確定を行いながら、課題解決にあたっての内容の適切性や評価等を議論する。同時に未解決の問題点や新たな課題についても議論する。導かれた結論をアウトプットする機会として、パワーポイント等を使用して発表を行い、レビュー形式で報告書をまとめる。発表は複数のグループで行い、活発な質疑ができるように事前に発表内容を把握できる発表要旨を作成する。

○研究に関する科目（「教育学演習Ⅰ」「教育学演習Ⅱ」「教育学研究Ⅰ」「教育学研究Ⅱ」「卒業研究」）

……これらの科目では、各自が課題設定、研究計画、先行研究収集、調査、実験、分析、論文執筆、口頭発表を行うことによって、主体的な学習態度を持ち生涯にわたり継続的に学ぶ力を養う。

(改善事項) 教育学部 教育学科

4. 【全体計画審査意見7の回答について】

図で示された実習先との連携体制は、学内のみの体制であり、実習先との関係性が依然として不明確であるため、具体的に説明すること。また、「大学で把握している学生の状況のうち、実習先においても共有しておいた方がよいと考えられる情報については実習先に提供する」旨の説明があるが、どのような情報を提供するのかが具体的に説明すること。

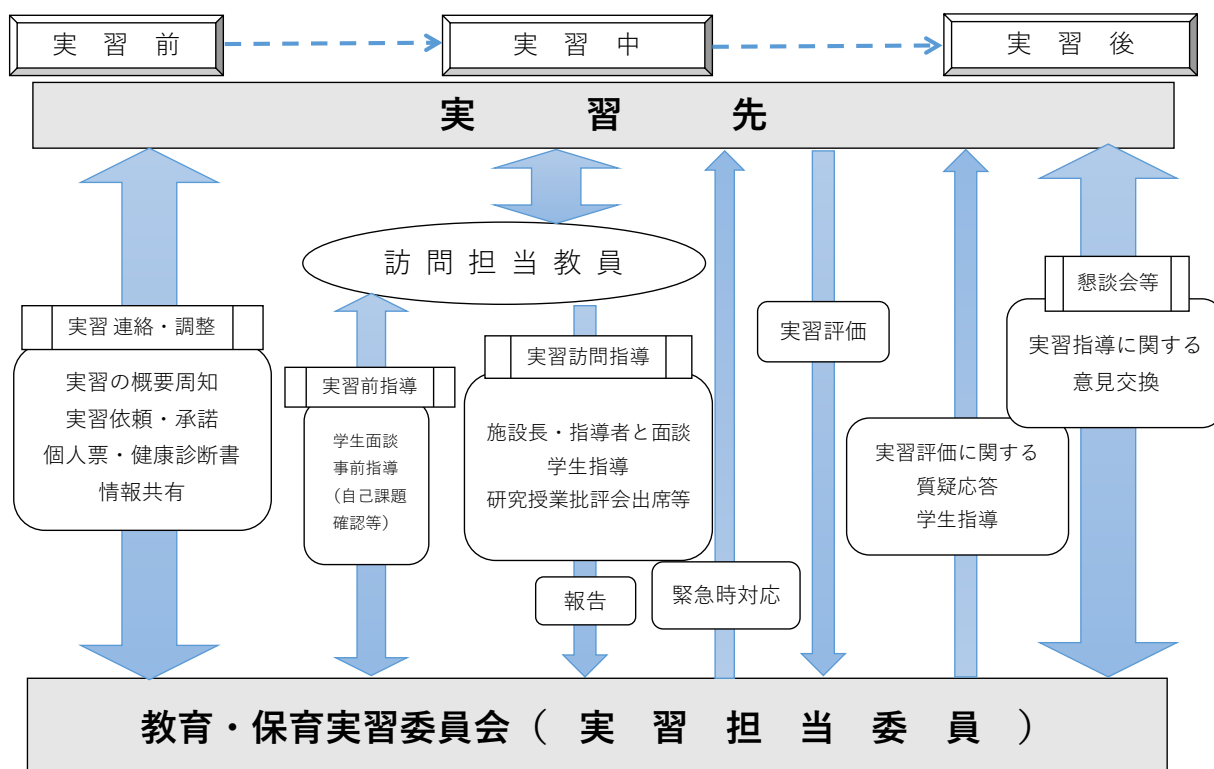
(対応)

ご指摘の通り、審査意見7で示した図は学内のみの体制であった。次に、実習先との連携体制を踏まえた関係性を示し、実習先に提供する情報について具体的に説明する。

【実習先との連携】

学内に配置された、実習生への指導内容及び方法等について実習先と協議する「実習担当委員」および実習期間中に実習先へ巡回訪問する「訪問担当教員」と、実習先との連携については次に示す。

図 大学と実習先との連携



【実習先に提供する情報】

実習にあたって、大学から事前に必ず伝達する情報と、学生の申し出によって伝達する情報がある。

1) 大学から事前に必ず伝達する情報

- ・ 個人票…証明写真、氏名、住所、これまでの実習歴、自己課題、課外活動、趣味等
- ・ 健康診断証明書…身長・体重・既往症、視力、聴力等。基本的には大学での健康診断による証明書を発行するが、実習先より実施直前のものが必要と指示があった場合は、個人で医療機関を受診し証明書を取得する。
- ・ 腸内細菌検査証明書（主に保育実習及び施設実習）…基本5項目について

2) 学生の申し出によって伝達する情報

特別に配慮が必要な内容（食物アレルギーや持病等）について、「実習先希望調査」の中で学生から申し出があれば、実習担当委員より実習先へ提供する。

「実習先希望調査」：1年次後期に教育学部全員に対して、2年次9月・3年次5月に行われる幼稚園教育実習の実習先希望調査を実施する。その際、「実習先にお伝えしておきたい情報（食物アレルギーや持病等）」についても記載欄を設け、記載した学生には実習担当委員が個別に面談し、学生の下承のもとに実習依頼の際に実習先へ伝達する。その後の実習についても、幼稚園実習と同様に希望調査や説明会での提出資料にて記載欄を設け、情報収集を行う。

さらに、訪問担当教員がオリエンテーション前・実習前に実習先ごとに個別に学生指導を行う際に、学生から「実習先に伝えておきたい情報」についての申し出があれば学生の下承を得た上で実習担当委員へ伝達し、個別面談の上、実習先へ伝達することにより、よりよい実習を目指す。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（94 ページ）

新	旧
P. 94 10. 実習の具体的計画 10-1 教育学部の実習計画の概要 （略） 4) 実習先との契約内容 （略） （3）実習生が実習開始時に実習施設に提出する書類等	P. 90 10. 実習の具体的計画 10-1 教育学部の実習計画の概要 （略） 4) 実習先との契約内容 （略） （3）実習生が実習開始時に実習施設に提出する書類等

・個人票…証明写真、氏名、住所、これまでの実習歴、自己課題、課外活動、趣味等 ・誓約書…守秘義務について ・健康診断証明書…身長・体重・既往症、視力、聴力等。基本的には大学での健康診断による証明書を発行するが、実習先より実施直前のものが必要と指示があった場合は、個人で医療機関を受診し証明書を取得する。 ・腸内細菌検査証明書（主に保育実習及び施設実習）…基本5項目について （４）学生の申し出によって伝達する情報 特別に配慮が必要な内容（食物アレルギーや持病等）について、「実習先希望調査」で学生から申し出があれば、実習担当委員より実習先へ提供する。 「実習先希望調査」：1年次後期に、教育学部全員に対して、2年次9月・3年次5月に行われる幼稚園教育実習の実習先希望調査を実施する。その際、「実習先にお伝えしておきたい情報（食物アレルギーや持病等）」についても記載欄を設け、記載した学生には実習担当委員が個別に面談し、学生の上承のもとに実習依頼の際に実習先へ伝達する。その後の実習についても、幼稚園実習と同様に希望調査や説明会での提出資料にて記載欄を設け、情報収集を行う。 さらに、訪問担当教員がオリエンテーション前・実習前に実習先ごとに個別に学生指導を行う際に、学生から「実習先に伝えておきたい情報」についての申し出があれば学生の上承を得た上で実習担当委員へ伝達し、個別	・個人票（追加） ・誓約書（追加） ・健康診断書及び腸内細菌検査証明書（追加）
---	---

面談の上、実習先へ伝達することにより、よりよい実習を目指す。

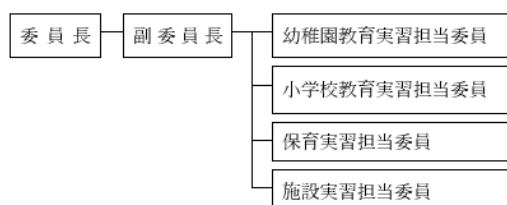
(略)

6) 実習先との連携体制

(1) 実習委員会の設置

教育・保育実習に関して以下のような教育・保育実習委員会を置き、実習に関して実習先と連携する。

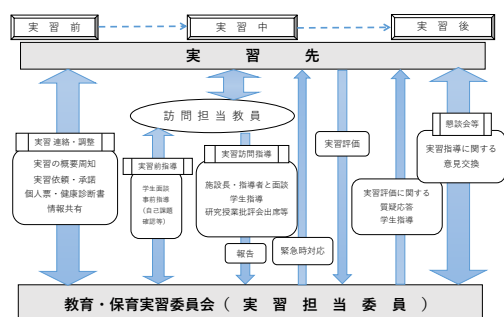
【教育・保育実習委員会の組織図】



実習科目を担当する専任教員（以下、「実習担当委員」）は、実習先との連携・調整、実習の運営、実習生への指導内容及び方法等について協議し、各科目において学生指導等行っていく。実習期間中の巡回指導については、教育学部の専任教員全員でかかわる（以下、「訪問担当教員」）。

大学と実習先との連携については、次に示し、それぞれ具体的に説明する。

【図 大学と実習先との連携】



(2) 「実習担当委員」の役割と実習先との連携体制

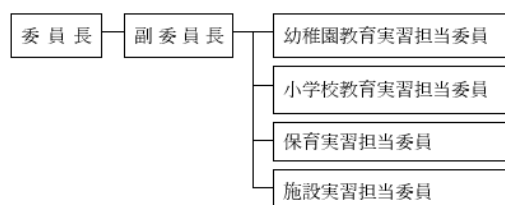
(略)

6) 実習先との連携体制

(1) 実習委員会の設置

教育・保育実習に関して以下のような教育・保育実習委員会を置き、実習に関して実習先と連携する。

【教育・保育実習委員会の組織図】



実習科目を担当する専任教員（以下、「実習担当委員」）は、実習先との連携・調整、実習の運営、実習生への指導内容及び方法等について協議し、各科目において学生指導等行っていく。実習期間中の巡回指導については、教育学部の専任教員全員でかかわる（以下、「訪問担当教員」）。

(追加)

(2) 「実習担当委員」の役割と実習先との連携体制

(改善事項) 教育学部 教育学科

5. 【全体計画審査意見9の回答について】

入学前学修支援について、e-learning を用いる旨の説明があるが、具体的な内容や方法等が不明確であるため明確に説明すること。また、「情報」に関しては入学前学修支援をしない旨の説明があるが、1年次に履修する「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」の学修に当たって必要な「数学」や「情報」の知識をどのように補うのか説明すること。

(対応)

入学前学修支援の目的としては、入学者選抜の時期によって入学決定の時期が異なるが、入学までの間に学習意欲が低下しないよう、また高等学校において習得した知識技能が維持されるように学習機会を提供することである。審査意見を踏まえて、ご指摘のあった部分について具体的に説明する。

1. e-Learning による入学前学修支援の具体的な内容と方法

教育学部では、大学のディプロマ・ポリシー①の「国際的視野」を持つことの達成に向け入学者の資質能力を高めるため、特に英語を受験科目とせずに入学者が決定したものには、入学後の履修に支障がないよう英語学習に関する入学前学修支援を行う。具体的には、入学後の英語必修科目である「Speaking & Listening」や「Writing」「Reading」においてスムーズな学修ができるように、英語の基礎学力として「コミュニケーション英語」「英語表現」の内容から外国語科目担当者が作成した教材を e-learning で提供し、入学前までの学習を必須とする。外国語科目担当者が学習者の進捗を確認し、適宜必要な指導を行う。また受験科目として英語を選択した入学者にも学習を推奨する。

2. 1年次に履修する「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」の学修に当たって必要な知識の補てん

1年次前期開講の「情報リテラシーⅠ」は、情報機器の基礎知識と基本的操作の習得、各アプリケーションの利用等による情報活用能力を養う必修科目である。学生は高等学校段階で全員が情報科を履修しており、学修に当たって必要な知識としての基本的なソフトウェアの使用方法是な程度習得されていると考えられる。しかし、習得状況には個人差があると考えられるため、入学決定後に情報処理機器の操作内容の理解に関するアンケートを行い、授業内容の理解に支障がある学生に対して、ソフトウェア操作マニュアルや操作練習等の情報を e-learning で提供し、個別に取り組みをサポートすることで対応する。

1年次後期開講の「情報リテラシーⅡ」は、統計解析ソフトRを用いて問題解決思考力を養う科目であり、「情報リテラシーⅠ」よりさらに発展的な情報活用について学修する選択科目である。本科目で扱う統計解析ソフトRを活用したデータ分析を行う上で、高等学校で学習する数学・情報の基礎知識が必要となる場合がある。本科目の履修希望者には、表計算ソフトを活用した統計処理と分析で扱われる統計値、データの分散や相関に関する知識に

について夏季休業中などを利用して事前に確認習得できるように、e-learning 教材を提供し、取り組みをサポートする。e-learning 教材の具体的な内容として、数学Ⅰ「データの分析」、数学Ⅱ「確率分布と統計的な推測」に関する内容、情報の科学「問題解決」に関する内容を中心に取り扱うことによって円滑な学修に取り組めるようにする。

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した書類 (55 ページ)

新	旧
P. 55 6-2 履修指導の方法等 1) 入学前の学修支援 (略) 教育学部の学修内容は、大学のディプロマ・ポリシー①の「国際的視野」を持つことの達成に向け <u>(削除)</u>、入学者選抜において英語を選択しなかった学生については、入学後の学修に支障がないよう入学前学修支援において e-learning を用いた英語学習を行う。<u>具体的には、入学後の英語必修科目である「Speaking & Listening」や「Writing」「Reading」においてスムーズな学修ができるように、英語の基礎学力として「コミュニケーション英語」、「英語表現」の内容から外国語科目担当者が作成した教材を e-learning で提供し、入学前までの学習を必須とする。外国語科目担当者が学習者の進捗を確認し、適宜必要な指導を行う。また受験科目として英語を選択した入学者にも学習を推奨する。</u> <u>以上の内容で入学前学修を進め、入学後、英語授業担当者の指導へとつなぐことによって、学生の持続的な学修を促す。</u> 同じくディプロマ・ポリシー①の「高度情報化に対応」することの達成に向け、<u>教育課程では「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」等を配置しているが、それらの科目と入学前に必要な学修について、以下に示す。</u>	P. 54 6-2 履修指導の方法等 1) 入学前の学修支援 (略) 教育学部の学修内容は、大学のディプロマ・ポリシー①の「国際的視野」を持つことの達成に向け <u>入学者の資質能力を高めるため</u>、入学者選抜において英語を選択しなかった学生については、入学後の学修に支障がないよう入学前学修支援において e-Learning を用いた英語学習を行い、<u>(追加)</u> 入学後、英語授業担当者の指導へとつな<u>げ</u>、学生の持続的な学修を促す。 同じくディプロマ・ポリシー①の「高度情報化に対応」することの達成に向け、<u>入学後学生が日常的に ICT を活用できるよう学習環境を整備する。</u> <u>(追加)</u>

<u>1 年次前期開講の「情報リテラシーI」は、情報機器の基礎知識と基本的操作の習得、各アプリケーションの利用等による情報活用能力を養う必修科目である。学生は高等学校段階で全員が情報科を履修しており、学修に当たって必要な知識としての基本的なソフトウェアの使用方法是な程度習得されていると考えられる。しかし、習得状況には個人差があると考えられるため、入学決定後に情報処理機器の操作内容の理解に関するアンケートを行い、授業内容の理解に支障がある学生に対して、ソフトウェア操作マニュアルや操作練習等の情報を e-learning で提供し、個別に取り組みをサポートすることで対応する。</u> <u>1 年次後期開講の「情報リテラシーII」は、統計解析ソフト R を用いて問題解決思考力を養う科目であり、「情報リテラシー I」よりさらに発展的な情報活用について学修する選択科目である。本科目で扱う統計解析ソフト R を活用したデータ分析を行う上で、高等学校で学習する数学・情報の基礎知識が必要となる場合がある。本科目の履修希望者には、表計算ソフトを活用した統計処理と分析で扱われる統計値、データの分散や相関に関する知識について夏季休業中などを利用して事前に確認習得できるように、e-learning 教材を提供し、取り組みをサポートする。e-learning 教材の具体的な内容として、数学 I「データの分析」、数学 B「確率分布と統計的な推測」に関する内容、情報の科学「問題解決」に関する内容を中心に扱うことによって円滑な学修に取り組めるようにする。</u>	
---	--

(改善事項) 教育学部 教育学科

6. 【全体計画審査意見 11 の回答について】

学内の情報環境整備について、主に看護学部が利用する「大学2号館」にはパソコン41台が整備されているが、教育学部の学生に対する情報環境整備状況が明確に示されていないことから、授業や自習等を含め学生に不利益が生じないかという観点から、整備計画を改めて具体的に説明すること。

(対応)

審査意見を受けて、教育学部の学生に対する情報環境整備状況について説明が不足していたので、以下のように説明を加える。

教育学部の学生に対する情報環境整備計画

- a) 本学では、一人一台のノートパソコンを原則必携（自費購入）とし、パソコンの機能の目安例と併せて「入学のしおり」にて周知する。新たに購入する場合は、学生が使いやすい好みに合った情報機器の所有を推奨し、本学提携業者によるスケールメリットを生かした安価で安定稼働する情報機器の販売提供を行う。
- b) 経済的な理由等により学生がノートパソコンを個人的に所有していない場合は、申請をした上で半年間、貸出用パソコンを利用することができる。
- c) 大学1号館、大学2号館、大学本館、図書館など、大学の学舎すべての学習スペースにおいてWi-Fi環境を整備しているため、全学生が自ら所有する情報機器を使用し、ネットワーク環境を利用することが可能である。
- d) 所有の情報機器が故障等により一時的に使用できない場合などに備え、据置型パソコンと貸出用パソコンを整備する。まず、大学1号館のメディアコーナーにデスクトップ型パソコンを8台整備する。これは、ゼミナール形式授業での利用や学生の自学自習に利用する。さらに、大学1号館の情報教室(302教室)に貸出用パソコンを20台整備する。ここで情報機器を利用する科目の授業を実施するとともに、授業で使っていないときは学生の自学自習スペースとして活用する。またパソコンを貸し出して他教室やラーニングコモンズで利用することも可能である。ただし、貸出台数は限られているため、貸出時間は当日中とし、貸出の際に学生証の提示を求め管理を行う。
- e) 図書館にも学生への貸出用パソコンを20台整備する。図書による文献研究等と並行してパソコンで調べたり、レポート課題やプレゼンテーションの準備を行うことができ、学生の自学自習でも、館内ゼミ室を利用したグループワークでも活用可能である。d), e)については主に教育学部の学生が利用するが、看護学部の学生も利用可能である。
- f) 大学2号館に情報教室を整備し、パソコン40台を配置する。ここで情報教育に関する科目の授業を実施するとともに、授業で使っていないときは学生の自学自習スペースとし

て活用する。また、大学2号館には1階メディアスペースに10台のデスクトップ型パソコンを整備する。これらは主に看護学部の学生が利用するが、教育学部の学生も「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」「ICT活用演習」の授業で大学2号館の情報教室を使用することとなり、それ以外の時間にもパソコンを借りて館内で利用することが可能である。

- g) 以上のとおり、学生への貸出用パソコンとして、大学開設年度には80台を整備する。据置型パソコン18台（大学1号館メディアコーナー8台、大学2号館10台）と貸出用パソコンを合わせると98台となる。大学開設年度以降は、パソコンの貸出使用状況等を勘案しながら、大学完成年度には100台から160台の貸出用パソコンを整備する。

〔各館における情報環境整備計画（開設年度）〕

	大学1号館・本館	図書館	大学2号館
情報教室	1号館3階 302教室	-	1階 情報教室
PCを利用した 自習スペース	ラーニングコモンズ 1号館：302教室、メディアコーナー、空き教室	ゼミ室 7室	ラーニングコモンズ メディアスペース 情報教室、空き教室
据置型PC	メディアコーナー8台	-	メディアスペース10台
貸出用PC	20台	20台	40台

主に教育学部の学生が利用

教育学部の学生が情報機器を活用する授業は、大学1号館302教室や大学2号館の情報教室を使用し、学生が自ら所有するパソコンもしくは大学の貸出用パソコンを利用する。学生のレポート作成、グループワーク等の自学自習については、所有パソコンや貸出用パソコンを用いて、ラーニングコモンズ、情報教室、ゼミ室等を利用することができる。

以上のように、教育学部の学生に対して授業や自習等を含め学生に不利益が生じないよう、情報環境の整備計画を立てている。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（68ページ）

新	旧
P. 68 7-3 校舎等施設の整備計画 (略) 7-4 情報学修環境の整備 1) 学内の情報環境整備における具体的な計画Ⅰ（大学学舎におけるパソコンの配置） <u>(1) 本学では、一人一台のノートパソコンを原則必携（自費購入）とし、パソコンの機能の目安例と併せて</u>	P. 66 7-3 校舎等施設の整備計画 (略) 7-4 情報学修環境の整備 1) 学内の情報環境整備における具体的な計画Ⅰ（大学学舎におけるパソコンの配置） <u>a) (追加)</u>

<u>「入学のしおり」にて周知する。新たに購入する場合は、学生が使いやすい好みに合った情報機器の所有を推奨し、本学提携業者によるスケールメリットを生かした安価で安定稼働する情報機器の販売提供を行う。</u> <u>(2) 経済的な理由等により学生がノートパソコンを個人的に所有していない場合は、申請をした上で半年間、貸出用パソコンを利用することができる。</u> <u>(3) 大学1号館、大学2号館、大学本館、図書館など、大学の学舎すべての学習スペースにおいてWi-Fi環境を整備しているため、全学生が自ら所有する情報機器を使用し、ネットワーク環境を利用することが可能である。</u> <u>(4) 所有の情報機器が故障等により一時的に使用できない場合などに備え、据置型パソコンと貸出用パソコンを整備する。まず、大学1号館のメディアコーナーにデスクトップ型パソコンを8台整備する。これは、ゼミナール形式授業での利用や学生の自学自習に利用する。さらに、大学1号館の情報教室(302教室)に貸出用パソコンを20台整備する。ここで情報機器を利用する科目の授業を実施するとともに、授業で使っていないときは学生の自学自習スペースとして活用する。またパソコンを貸し出して他教室やラーニングコモンズで利用することも可能である。ただし、貸出台数は限られているため、貸出時間は当日中とし、貸出の際に学生証の提示を求め管理を行う。</u> <u>(5) 図書館にも学生への貸出用パソコンを20台整備する。図書による文献</u>	大学1号館のメディアコーナーにパソコンを8台整備する。これは、ゼミナール形式での利用や学生の自学自習に運用する。 <u>(追加)</u>
---	--

<u>研究等と並行してパソコンで調べたり、レポート課題やプレゼンテーションの準備を行うことができ、学生の自学自習でも、館内ゼミ室を利用したグループワークでも活用可能である。</u> <u>(6) 大学2号館に情報教室を整備し、パソコン41台を配置する。ここで情報教育に関する科目の授業を実施するとともに、授業で使っていないときは学生の自学自習スペースとして活用する。また、大学2号館には1階メディアスペースに10台のデスクトップ型パソコンを整備する。これらは主に看護学部の学生が利用するが、教育学部の学生も「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」「ICT活用演習」の授業で大学2号館の情報教室を使用することとなっており、それ以外の時間にもパソコンを借りて館内で利用することが可能である。</u> <u>(7) 学生への貸出用パソコンとして、大学開設年度には80台を整備する。大学開設年度以降は、パソコンの貸出使用状況等を勘案しながら、大学完成年度には100台から160台の貸出用パソコンを準備する計画をしている。</u> 2) 学内の情報環境整備における具体的な計画Ⅱ（学生一人ひとりが学内の情報環境を利用するための具体的方策） 学生一人ひとりが、学内においてパソコン等情報機器の環境を利用できるよう整え、これを学生の学修に活用できるようにするための具体的方策は、以下の通り。 <u>(1) 大学開設年度までに、大学1号館、大学2号館、大学本館、図書館など、大学の学舎すべての学習スペース</u>	b) <u>大学2号館に情報教室を整備し、パソコン41台を配置する。ここで情報教育に関する科目を実施するとともに、授業で使っていないときは学生の自学自習スペースとして活用する。情報教室は看護学部だけではなく教育学部においても使用し、1学年4グループ単位（1グループ20名）の授業において使用するため、このパソコン台数で対応が可能である。（追加）</u> c) <u>学生への貸出し用パソコンとして、大学開設年度には定員の25%に相当する40台（追加）を整備する。大学開設年度以降は、パソコンの貸出使用状況等を勘案しながら、大学完成年度には80台から160台の貸出し用パソコンを準備する計画をしている。</u> 2) 学内の情報環境整備における具体的な計画Ⅱ（学生一人ひとりが学内の情報環境を利用するための具体的方策） 学生一人ひとりが、学内においてパソコン等情報機器の環境を利用できるよう整え、これを学生の学修に活用できるようにするための具体的方策は、以下の通り。 a) <u>大学開設年度までに、大学1号館、大学2号館、大学本館、図書館など、大学の学舎すべての学習スペースにおいて</u>
--	--

においてWi-Fi環境を整備する。全学生が自ら所有する情報機器を使用し、ネットワーク環境の利用をできるようにする。 万一、新たにパソコンを購入する際は、目安となる基準を提示して、学生が使いやすい好みに合った情報機器の所有を推奨する。 【パソコンの機能の目安例】 C P U Intel Coreシリーズ（第4世代以降）相当、メモリ8GB以上 ディスプレイ 10インチ以上、解像度1280×720以上（1366×768以上を推奨） O S Windows10（MacOSやiOSの場合は最新のOS） ネットワーク 無線LAN（802.11acを推奨）または、有線LAN（1000Base-T推奨） また、必要に際し、本学の提携業者によりスケールメリットを生かした安価で安定機能を持つ情報機器の販売提供も行う。 <u>（削除）</u> <u>（2）</u> 本学が整備する情報機器だけではなく、学生が所有する機器に対しても技術的サポート体制を構築する。専任の技術職員（SE・System Engineer）を配置し、	Wi-Fi環境を整備する。全学生が自ら所有する情報機器を使用し、ネットワーク環境の利用をできるようにする。 万一、新たにパソコンを購入する際は、目安となる基準を提示して、学生が使いやすい好みに合った情報機器の所有を推奨する。 【パソコンの機能の目安例】 C P U Intel Coreシリーズ（第4世代以降）相当、メモリ8GB以上 ディスプレイ 10インチ以上、解像度1280×720以上（1366×768以上を推奨） O S Windows10（MacOSやiOSの場合は最新のOS） ネットワーク 無線LAN（802.11acを推奨）または、有線LAN（1000Base-T推奨） また、必要に際し、本学の提携会社によりスケールメリットを生かした安価で安定機能を持つ情報機器の販売提供も行う。 b) <u>学生がパソコン等情報機器を個人的に所有していない場合や、所有していた情報機器が故障等により一時的に使用できない場合などに備え、本学に貸出用の情報機器を配置する。貸出用の情報端末は、大学開設年度には定員の25%にあたる40台を準備し、大学完成年度には定員の640名に十分対応できるよう、パソコンの貸出使用状況等を勘案しながら80台から160台のパソコンを計画的に整備する。学内設置のパソコン49台（大学1号館メディアコーナー8台、大学2号館41台）を加えると89台となり、大学開設年度には定員の半数以上が、個人的にパソコン等を所有していなくとも学内の情報機器を同時に利用することが可能である。</u> c) 本学が整備する情報機器だけではなく、学生が所有する機器に対しても技術的サポート体制を構築する。専任の技術職員（SE・System Engineer）を配置し、
---	---

外部委託による技術指導体制「ヘルプデスク」を導入するなど、セキュリティ対策を含め、情報機器に不具合や故障などが発生した場合や、学生が取扱に困った際にも、速やかに対応できるよう継続的かつ適切な運用を実施する。 <u>(3)</u> Word、Excel、Power Point等の技術習得は大学教育のみならず社会に出て必須であるが、情報機器を購入する際に比較的高額負担(約21,000円)となるMicrosoft Officeに関して、本学が必要数量の年間ライセンス契約をおこない、学生に負担をかけることなく使用ができるようにする。	外部委託による技術指導体制「ヘルプデスク」を導入するなど、セキュリティ対策を含め、情報機器に不具合や故障などが発生した場合や、学生が取扱に困った際にも、速やかに対応できるよう継続的かつ適切な運用を実施する。 <u>d)</u> Word、Excel、Power Point等の技術習得は大学教育のみならず社会に出て必須であるが、情報機器を購入する際に比較的高額負担(約21,000円)となるMicrosoft Officeに関して、本学が必要数量の年間ライセンス契約をおこない、学生に負担をかけることなく使用ができるようにする。
---	--

(是正事項) 教育学部教育学科

7. 【補正申請書で新たに説明された内容について】

高校生を対象とした入学意向調査を新たに実施し、その結果をもって学生確保の見通しを説明しているが、入学定員 80 名に対して、学部への進学を希望する者が計 71 名であり、継続的に学生を確保することができる見込みとなっていないため、客観的根拠に基づき、改めて明確に説明すること。

(対応)

審査意見を踏まえて、補正申請以降のデータを加えて、令和 3 年 3 月末までの高校生アンケート調査について説明する。さらに調査結果に基づき、入学定員が確保できる根拠を示す。

2020 年度高校生アンケート調査結果

1) 調査の概要

令和 4 (2022) 年度設置予定の大阪信愛学院大学(仮称)への入学に対する意識調査として、入学定員に照らして、定員が充足する根拠をより明確に示すため、開設初年度受験対象となる高校生 2 年生の進学意向の状況を把握する必要から、第三者機関によるアンケート調査を令和 2 年 12 月から令和 3 年 3 月末までに回収した結果に基づき説明する。

本調査では、高等学校 170 校に対して合計 22,906 票のアンケート調査票を学校法人大阪信愛女学院が送付し、162 校から合計 18,436 票の有効回答票を第三者機関が回収することができた。有効回答票の回収率は、80.49%であった。

2) 調査回答者の状況【資料 7 p. 8-10】

(1) 回答者の性別〔問 1〕(単純集計参照)

回答者の「性別」は、「男性」が 7,470 人(40.8%)、「女性」が 10,861 人(59.2%)であった。回答者の約 6 割が「女性」である。

(2) 居住都道府県〔問 2〕(単純集計参照)

回答者の「居住都道府県」については、「大阪府」が 9,418 人(51.3%)と最も多く、次いで「その他」が 4,681 人(25.5%)、「兵庫県」が 1,562 人(8.5%)、「奈良県」が 1,100 人(6.0%)、「京都府」が 934 人(5.1%)、「滋賀県」が 474 人(2.6%)、「和歌山県」が 188 人(1.0%)、の順に続いている。

回答者の「居住都道府県」については、「大阪府」居住者が全体の約半数強を占めている。

(3) 高校卒業後の進路〔問 3〕(単純集計参照)

回答者の希望する「高校卒業後の進路」は、「大学進学」が 12,216 人(66.7%)、「短期大

学進学」が 832 人 (4.5%)、「専門学校進学」が 3,229 人 (17.6%)、「就職」が 1,487 人 (8.1%)、「その他」が 557 人 (3.0%) であった。回答者の約 3 分の 2 が「大学進学」を希望していた。

3) 大阪信愛学院大学への興味関心・進学意向【資料 7 p.13-15】

(1) 大阪信愛学院大学への興味関心〔問 6〕(単純集計参照)

「大阪信愛学院大学への興味関心」について、「とても興味・関心をもった」が 607 人 (3.9%)、「少し興味・関心を持った」が 6,143 人 (39.1%)、「興味・関心をもたなかった」が 8,966 人 (57.1%) であった。

(2) 大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕(単純集計参照)

「大阪信愛学院大学への進学希望」について、「進学を希望する」が 156 人 (1.0%)、「進学先の候補の一つとして考える」が 1,611 人 (10.3%)、「進学を希望しない」が 9,864 人 (62.8%)、「わからない」が 4,080 人 (26.0%) であった。

(3) 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部〔問 8〕(単純集計参照)

「進学を希望する大阪信愛学院大学の学部」は、「教育学部教育学科」が 955 人 (5.2%)、「看護学部看護学科」が 731 人 (4.0%) であった。

(4) 大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕と進学を希望する学部〔問 8〕のクロス集計【資料 7 p.16】

「大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕」と「進学を希望する大阪信愛学院大学の学部〔問 8〕」のクロス集計を行った結果、問 7 で本学に「進学を希望する」と回答した生徒は、156 人、そのうち問 8 で教育学部教育学科に「進学を希望する」と回答した生徒は、84 人であった。

本学を進学希望またはその一つとする生徒を合わせた 1,767 人の内、教育学部教育学科を希望する生徒は 955 人であった。

大阪信愛学院大学（仮称）教育学部教育学科への進学意向

	令和 2	令和元
進学を希望する	84	117
進学先の一つとして考えたい	871	891
計	955	1008

教育学部教育学科の進学希望者層 955 人の中で、「進学先の 1 つとして考えたい」871 人のうち、問 6 で本学に「とても興味・関心をもった」と 142 人が回答している。

これらを踏まえると、本学を進学先の一つと考える生徒には、教育学部で142人、本学に対する非常に高い関心層がいるので、さらなる入学者につながるものと考えられる。

以上、高校生アンケート調査結果から本学教育学部教育学科に「進学を希望する」と回答した生徒は 84人 いるため、その生徒のみで入学定員に照らして定員を満たすことになる。加えて受験し入学につながる候補生徒が 142 人と入学定員の 2 倍弱いるため、さらなる上乘せは十分に期待できる。

前年の令和元年度当時の高校 2 年生に対して進学意向を調査した際には、本学教育学部教育学科に「進学を希望する」生徒は、117 名であった。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で高校の教育活動に影響を及ぼすアンケート調査の実施依頼は困難であり、特に本学が立地する大阪府には調査期間中に緊急事態宣言が発出され、大阪信愛学院に対して認知度の高い近隣の高校に対する調査の協力や府県跨ぐ移動に対する抵抗から近隣府県の高校の協力が得られないなどの影響を大いに受けたが、2 年連続して入学定員を上回る進学意向の結果を得られたことは、継続的に学生確保の見通しがあること示しているものとする。

(新旧対照表) 学生の確保の見通し等を記載した書類 (13～15 ページ)

新	旧
P. 13 <u>M 令和 2 年度第三者機関による高校生アンケート調査</u> <u>(ア) 調査の概要</u> (略) ii 調査対象・地域・調査方法 学生確保の見通しを測定するために、高校 2 年生を対象として、令和 2 年 12 月初旬より進学ニーズ調査を実施した。通学可能な関西圏を中心に、既設の短期大学において入学実績のある地域である中四国、九州沖縄、北陸、中部の高等学校、さらに本学と同じキリスト教精神に根ざしたカトリック系高等学校に在籍する現役高校 2 年生を対象に教室内調査が実施された【資料 20】。回	P. 15 <u>N 第三者機関による令和 2 年度高校生アンケート調査</u> 調査の概要 (略) ii 調査対象・地域・調査方法 学生確保の見通しを測定するために、高校 2 年生を対象として、令和 2 年 12 月初旬より進学ニーズ調査を実施した。通学可能な関西圏を中心に、既設の短期大学において入学実績のある地域である中四国、九州沖縄、北陸、中部の高等学校、さらに本学と同じキリスト教精神に根ざしたカトリック系高等学校に在籍する現役高校 2 年生を対象に教室内調査が実施された【資料 22】。回

答者に対して調査票以外に新学部学科に関する内容の周知するリーフレットを提供した【資料 21】。 iii 実施期間 令和 2 年 12 月から令和 3 年 <u>3 月</u> (削除) iv 回収状況 本調査では、高等学校 <u>170</u> 校に対して合計 <u>22,906</u> 票のアンケート調査票を学校法人大阪信愛女学院が送付し、<u>162</u> 校から合計 <u>18,436</u> 票の有効回答票を第三者機関が回収することができた。有効回答票の回収率は、<u>80.49%</u>であった。 (削除) v 調査委託先 (略) (イ) 調査項目別結果の概要【資料 20】 i 回答者の性別〔問 1〕(単純集計参照) 回答者の「性別」は、「男性」が <u>7,470</u> 人 (<u>40.8%</u>)、「女性」が <u>10,861</u> 人 (<u>59.2%</u>)であった。回答者の約 6 割が「女性」である。 ii 居住都道府県〔問 2〕(単純集計参照) 回答者の「居住都道府県」については、「大阪府」が <u>9,418</u> 人 (<u>51.3%</u>)と最も多く、次いで「その他」が <u>4,681</u> 人 (<u>25.5%</u>)、「兵	答者に対して調査票以外に新学部学科に関する内容の周知するリーフレットを提供した【資料 23】。 iii 実施期間 令和 2 年 12 月から令和 3 年 <u>2 月</u>に調査を実施した。集計結果は、令和 3 年 3 月 4 日現在である。 iv 回収状況 本調査では、高等学校 <u>130</u> 校に対して合計 <u>17,420</u> 票のアンケート調査票を学校法人大阪信愛女学院が送付し、<u>108</u> 校から合計 <u>13,633</u> 票の有効回答票を第三者機関が回収することができた。有効回答票の回収率は、<u>78.26%</u>であった。 本学が立地する大阪府および近隣の京都府、兵庫県は、令和 3 年 1 月より 2 月末まで緊急事態宣言が発出されていた。そのため配布したアンケート調査票の回収が大幅に遅れている。令和 3 年 3 月末を目処に未回収の調査票を回収できる予定である。 v 調査委託先 (略) (イ) 調査項目別結果の概要【資料 22】 i 回答者の性別〔問 1〕(単純集計参照) 回答者の「性別」は、「男性」が <u>5,520</u> 人 (<u>40.7%</u>)、「女性」が <u>8,035</u> 人 (<u>59.3%</u>)であった。回答者の約 6 割が「女性」である。 (追加)
---	--

庫県」が 1,562 人 (8.5%)、「奈良県」が 1,100 人 (6.0%)、「京都府」が 934 人 (5.1%)、「滋賀県」が 474 人 (2.6%)、「和歌山県」が 188 人 (1.0%)、の順に続いている。 回答者の「居住都道府県」については、「大阪府」が全体の約半数強を占めている。 iii 高校卒業後の希望進路〔問 3〕(単純集計参照) 回答者の「高校卒業後の希望進路」については、「大学」が 12,216 人 (66.7%) と最も多く、次いで「専門学校」が 3,229 人 (17.6%)、「就職」が 1,487 人 (8.1%)、「短期大学」が 832 人 (4.5%)、「その他」が 557 人 (3.0%)、の順となった。 回答者の約 7 割強が「大学」への進学を希望していることがわかった。 (ウ) 大阪信愛学院大学への興味関心・進学意向【資料 20】 i 大阪信愛学院大学への興味関心〔問 6〕(単純集計参照) 回答者に「大阪信愛学院大学への興味・関心」について伺ったところ、「とても興味・関心をもった」が 607 人 (3.9%)、「少し興味・関心をもった」が 6,143 人 (39.1%)、「興味・関心をもたなかった」が 8,966 人 (57.1%)、となった。 「大阪信愛学院大学への興味・関心」については、回答者の約 4 割強が大阪信愛学院大学に何らかの興味を持っていることがわかった。 ii 大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕(単純集計参照) 回答者に「大阪信愛学院大学への進学希	ii 高校卒業後の進路〔問 3〕(単純集計参照) 回答者の希望する「高校卒業後の進路」は、「大学進学」が 9,032 人 (66.7%)、「短期大学進学」が 611 人 (4.5%)、「専門学校進学」が 2,447 人 (18.1%)、「就職」が 1,028 人 (7.6%)、「その他」が 432 人 (3.2%) であった。回答者の約 3 分の 2 が「大学進学」を希望していた。 (ウ) 大阪信愛学院大学への興味関心・進学意向【資料 22】 i 大阪信愛学院大学への興味関心〔問 6〕(単純集計参照) 「大阪信愛学院大学への興味関心」について、「とても興味・関心をもった」が 456 人 (3.9%)、「少し興味・関心を持った」が 4,517 人 (38.7%)、「興味・関心をもたなかった」が 6,705 人 (57.4%) であった。 (追加) ii 大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕(単純集計参照) 「大阪信愛学院大学への進学希望」につ
--	---

望」について伺ったところ、「進学を希望する」が <u>156</u> 人 (1.0%)、「進学先の 1 つとして考えたい」が <u>1,611</u> 人 (10.3%)、「進学を希望しない」が <u>9,864</u> 人 (62.8%)、「わからない」が <u>4,080</u> 人 (26.0%)、となった。 iii 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部〔問 8〕(単純集計参照) 回答者に「進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科」について伺ったところ、「教育学部教育学科」が <u>955</u> 人 (56.6%)、「看護学部看護学科」が <u>731</u> 人 (43.4%)、となった。 iv 大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕と進学を希望する学部〔問 8〕のクロス集計 「大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕」と「進学を希望する大阪信愛学院大学の学部〔問 8〕」のクロス集計を行い、集計結果を学部ごとに見ていくと以下の結果を得ることができた。 問 7 で本学に「進学を希望する」と回答した生徒は、<u>156</u> 人であった。そのうち問 8 で教育学部教育学科に「進学を希望する」と回答した生徒は、<u>84</u> 人、(削除) 看護学部看護学科に「進学を希望する」と回答した生徒は、<u>56</u> 人であった。 本学を進学希望またはその一つとする生徒を合わせた <u>1,767</u> 人の内、教育学部教育学科を希望する生徒は <u>955</u> 人、看護学部看護学科を希望する生徒は <u>731</u> 人であった。 教育学部教育学科の進学希望者層 <u>955</u> 人の中で、「進学先の 1 つとして考えたい」<u>871</u> 人のうち、問 6 で本学に「とても興味・関	いて、「進学を希望する」が <u>133</u> 人 (1.1%)、「進学先の候補の一つとして考える」が <u>1,271</u> 人 (10.9%)、「進学を希望しない」が <u>7,172</u> 人 (61.4%)、「わからない」が <u>3,097</u> 人 (26.5%) であった。 iii 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部〔問 8〕(単純集計参照) 「進学を希望する大阪信愛学院大学の学部」は、「教育学部教育学科」が <u>742</u> 人 (55.3%)、「看護学部看護学科」が <u>600</u> 人 (44.7%) であった。 iv 大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕と進学を希望する学部〔問 8〕のクロス集計 「大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕」と「進学を希望する大阪信愛学院大学の学部〔問 8〕」のクロス集計を行い、集計結果を学部ごとに見ていくと以下の結果を得ることができた。 問 7 で本学に「進学を希望する」と回答した生徒は、<u>133</u> 人であった。そのうち問 8 で教育学部教育学科に「進学を希望する」と回答した生徒は、<u>71</u> 人であった。また問 7 で本学に「進学を希望する」と回答した生徒 <u>133</u> 人のうち、問 8 で看護学部看護学科に「進学を希望する」と回答した生徒は、<u>47</u> 人であった。 本学を進学希望またはその一つとする生徒を合わせた <u>1,404</u> 人の内、教育学部教育学科を希望する生徒は <u>742</u> 人、看護学部看護学科を希望する生徒は <u>600</u> 人であった。 教育学部教育学科の進学希望者層 <u>742</u> 人の中で、「進学先の 1 つとして考えたい」<u>671</u> 人のうち、問 6 で本学に「とても興味・関
--	--

心をもった」と <u>142</u> 人が回答している。また看護学部看護学科の進学希望者層 <u>731</u> 人の中では、「進学先の1つとして考えたい」<u>675</u> 人のうち、問6で本学に「とても興味・関心をもった」と <u>136</u> 名が回答している。 以上から本学<u>教育学部教育学科に「進学を希望する」と回答した生徒は84人</u>いるため、その生徒のみで入学定員に照らして<u>定員を満たすことになる</u>。加えて受験し入学につながる関心の高い生徒が <u>142</u> 人と入学定員の2倍弱いるため、さらなる上乗せは十分に期待できる。	心をもった」と <u>101</u> 人が回答している。また看護学部看護学科の進学希望者層 <u>600</u> 人の中では、「進学先の1つとして考えたい」<u>553</u> 人のうち、問6で本学に「とても興味・関心をもった」と <u>107</u> 名が回答している。 これらを踏まえると、<u>本学を進学先の1つと考える生徒には、教育学部で101人、看護学部107人、本学に対する高い関心層がいるので、さらなる入学者につながるものと考えられる。</u> さらに上述の本学教育学部に「進学を希望する」<u>71</u> 人のうち、<u>57</u> 人（80%）が、また本学看護学部「進学を希望する」<u>47</u> 人のうち、<u>43</u> 人（91%）が大阪府内在住である。 そこで大阪府内の本調査回答者 <u>8,803</u> 人のうち、<u>教育学部教育学科に「進学を希望する」57人（0.647%〔教育学部教育学科進学希望率〕、看護学部看護学科への「進学を希望する」43人（0.488%〔看護学部看護学科進学希望率〕）</u>の回答から、この標本比率をもとに信頼区間95%で母比率の推定を行って、大阪府内の「進学を希望する」人数を推計する。 大学開設時の受験対象者となる <u>2021</u> 年度大阪府の <u>18</u> 歳人口は、<u>79,549</u> 人である【資料 24】。大阪府の大学進学率の残留率は <u>2019</u> 年 <u>56.4%</u>であることから <u>44,865</u> 人の地元大学進学者が推計される。さらに本調査の対象となった大阪府下の高校は、偏差値 <u>57</u> を上限としていることから上位 <u>25%</u> の高校生は除外する（母集団を小さくすることで誤差は小さく信頼性は高まる）ことで大学進学者は <u>33,649</u> 人となる。 上記サンプル調査結果に基づいて、大阪信
--	---

	<u>愛学院大学（仮称）教育学部教育学科への</u> <u>「進学を希望する」人数を、上述の自（府）</u> <u>県進学者 33,649 人を母集団として母比率の</u> <u>推定（信頼区間 95%）から算出すると、下</u> <u>限で 161 人、上限で 271 人と推計される。</u>
--	--

【資料7】

学校法人大阪信愛女学院における大阪信愛学院大学の設置に係る
高校生アンケート調査結果報告書

令和3年4月
一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

1. アンケート調査の概要.....	1
1. 1. 調査目的	1
1. 2. 調査対象	1
1. 3. 実施時期	1
1. 4. 調査票回収状況	1
1. 5. 調査票発送・回収高等学校一覧	2
2. 調査結果要旨.....	7
3. アンケート調査結果.....	8
3. 1. 単純集計	8
3. 2. クロス集計	16
3. 3. 自由回答	20
4. アンケート調査票.....	29

1. アンケート調査の概要

1. 1. 調査目的

学校法人大阪信愛女学院が令和4年4月に開設を予定している大阪信愛学院大学に関して、高校生が期待する教育内容、進学意向等を的確に把握することを調査目的とする。

1. 2. 調査対象

大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・滋賀県・和歌山県の近畿圏2府4県を中心に、大阪信愛学院大学の母体となる大阪信愛学院短期大学への進学実績のある高等学校が所在する地域も含め、合計170校に在籍する高校2年生を対象にアンケート調査を実施した。

アンケート調査の実施に当たっては、学校法人大阪信愛女学院が990校のリストアップを行い、そのうちアンケート実施の承諾を得られた170校宛に学校法人大阪信愛女学院がアンケート調査票を送付した。その後、当研究所が実施高等学校162校よりアンケート調査票を回収し、集計分析を行った。

1. 3. 実施時期

令和2年12月から令和3年3月にかけて調査を実施した。

1. 4. 調査票回収状況

本調査では、高等学校170校に対して合計22,906票のアンケート調査票を学校法人大阪信愛女学院が送付した。その結果、162校から合計18,436票の有効回答票を回収することができた。有効回答票の回収率は、80.49%であった。

1. 5. 調査票発送・回収高等学校一覧

No	道府県	高等学校名	調査票 発送枚数	調査票 回収枚数	回収日
1	大阪府	上宮太子高等学校	40	39	12. 23
2	大阪府	清明学院高等学校	25	20	12. 24
3	大阪府	城南学園高等学校	19	19	2. 8
4	大阪府	香里ヌヴェール学院高等学校	175	131	12. 18
5	大阪府	好文学園女子高等学校	120	84	1. 15
6	大阪府	金光藤蔭高等学校	100	100	12. 21
7	大阪府	梅花高等学校	110	98	12. 7
8	大阪府	常翔啓光学園高等学校	84	79	12. 17
9	大阪府	大阪学芸高等学校	180	161	12. 21
10	大阪府	大阪国際滝井高等学校	27	26	12. 21
11	大阪府	あべの翔学高等学校	20	17	12. 15
12	大阪府	金蘭会高等学校	130	107	1. 5
13	大阪府	常翔学園高等学校	45	41	12. 14
14	大阪府	明浄学院高等学校	90	75	12. 24
15	大阪府	大阪電気通信大学高等学校	360	278	12. 14
16	大阪府	プール学院高等学校	140	120	1. 25
17	大阪府	履正社高等学校	100	39	1. 5
18	大阪府	宣真高等学校	120	—	—
19	大阪府	大阪高等学校	440	250	12. 23
20	大阪府	昇陽高等学校	30	18	1. 5
21	大阪府	大阪緑涼高等学校	230	174	1. 26
22	大阪府	東大阪大学敬愛高等学校	200	166	12. 24
23	大阪府	大阪夕陽丘学園高等学校	520	465	1. 18
24	大阪府	阪南大学高等学校	80	71	1. 5
25	大阪府	帝塚山学院高等学校	150	120	1. 29
26	大阪府	大阪商業大学堺高等学校	460	327	2. 1
27	大阪府	大阪学院大学高等学校	70	—	—
28	大阪府	羽衣学園高等学校	240	214	1. 5
29	大阪府	東海大学付属大阪仰星高等学校	400	368	12. 11
30	大阪府	大阪国際大和田高等学校	80	76	12. 25
31	大阪府	賢明学院高等学校	180	—	—
32	大阪府	樟蔭高等学校	70	63	12. 18
33	大阪府	城星学園高等学校	60	48	1. 12
34	大阪府	精華高等学校	20	18	1. 8
35	大阪府	大阪信愛学院高等学校	150	139	12. 24
36	大阪府	四條畷学園高等学校	400	323	12. 21
37	大阪府	アサンプション国際高等学校	140	101	12. 18
38	大阪府	大阪府立北摂つばさ高等学校	80	—	—

No	道府県	高等学校名	調査票 発送枚数	調査票 回収枚数	回収日
39	大阪府	大阪府立島本高等学校	108	94	1. 18
40	大阪府	大阪府立吹田東高等学校	40	40	12. 21
41	大阪府	大阪府立堺西高等学校	80	75	1. 5
42	大阪府	大阪府立日根野高等学校	40	40	2. 18
43	大阪府	大阪府教育センター附属高等学校	240	218	1. 5
44	大阪府	大阪府立成城高等学校	216	181	1. 18
45	大阪府	大阪府立汎愛高等学校	42	40	12. 21
46	大阪府	東大阪府立日新高等学校	80	78	12. 17
47	大阪府	大阪府立枚岡樟風高等学校	198	172	1. 15
48	大阪府	大阪府立山本高等学校	80	—	—
49	大阪府	大阪府立八尾翠翔高等学校	210	198	1. 5
50	大阪府	大阪府立桜塚高等学校	40	36	12. 24
51	大阪府	大阪府立芦間高等学校	40	—	—
52	大阪府	大阪府立西寝屋川高等学校	80	72	1. 8
53	大阪府	大阪府立緑風冠高等学校	240	218	2. 17
54	大阪府	大阪府立枚方津田高等学校	320	279	1. 5
55	大阪府	大阪府立高等学校	120	114	1. 12
56	大阪府	大阪府立門真西高等学校	120	90	1. 20
57	大阪府	大阪府立北かわち阜が丘高等学校	40	37	12. 23
58	大阪府	大阪府立枚方なぎさ高等学校	250	224	12. 21
59	大阪府	大阪府立門真なみはや高等学校	80	78	12. 15
60	和歌山県	和歌山信愛高等学校	210	65	2. 8
61	福岡県	久留米信愛高等学校	160	155	2. 4
62	熊本県	熊本信愛女学院高等学校	150	137	1. 15
63	京都府	ノートルダム女学院高等学校	120	98	2. 18
64	京都府	京都聖母学院高等学校	220	203	2. 26
65	京都府	京都聖カタリナ高等学校	30	27	2. 26
66	京都府	日星高等学校	150	87	2. 26
67	兵庫県	仁川学院高等学校	150	115	2. 9
68	兵庫県	百合学院高等学校	90	83	2. 24
69	兵庫県	兵庫県立尼崎高等学校	280	253	1. 25
70	兵庫県	園田学園高等学校	80	69	12. 21
71	奈良県	奈良県立高円高等学校	40	35	12. 24
72	奈良県	奈良県立西の京高等学校	80	76	1. 20
73	奈良県	奈良県立高取国際高等学校	120	113	1. 12
74	奈良県	奈良県立磯城野高等学校	40	37	2. 9
75	奈良県	奈良女子高等学校	80	59	2. 8
76	奈良県	育英西高等学校	90	73	1. 25
77	奈良県	奈良育英高等学校	111	96	1. 12
78	奈良県	奈良大学附属高等学校	35	33	12. 23
79	奈良県	奈良文化高等学校	90	63	3. 1
80	奈良県	橿原学院高等学校	140	117	1. 28

No	道府県	高等学校名	調査票 発送枚数	調査票 回収枚数	回収日
81	京都府	京都西山高等学校	200	182	12. 17
82	大阪府	大阪府立刀根山高等学校	120	113	1. 5
83	大阪府	大阪府立高槻北高等学校	40	36	12. 25
84	大阪府	岸和田市立産業高等学校	280	250	1. 19
85	大阪府	大阪府立港高等学校	270	242	2. 18
86	大阪府	大阪府立平野高等学校	35	27	2. 18
87	大阪府	大阪市立扇町総合高等学校	200	187	1. 25
88	大阪府	大阪府立東淀川高等学校	30	24	2. 24
89	大阪府	大阪府立渋谷高等学校	280	246	2. 26
90	大阪府	大阪府立泉大津高等学校	40	29	2. 19
91	大阪府	大阪府立高石高等学校	40	40	2. 17
92	大阪府	大阪府立守口東高等学校	240	203	1. 25
93	大阪府	大阪府立長尾高等学校	80	71	1. 29
94	大阪府	大阪府立貝塚南高等学校	42	42	1. 12
95	大阪府	大阪府立河南高等学校	80	72	2. 15
96	大阪府	大阪府立大塚高等学校	250	206	1. 25
97	大阪府	初芝立命館高等学校	220	—	—
98	大阪府	アナン学園高等学校	40	39	1. 29
99	大阪府	大阪体育大学浪商高等学校	100	87	1. 15
100	大阪府	大阪府立福井高等学校	210	143	1. 18
101	島根県	松徳学院高等学校	75	—	—
102	岡山県	清心女子高等学校	60	47	1. 13
103	山口県	サビエル高等学校	80	50	3. 11
104	愛媛県	聖カタリナ学園高等学校	70	57	1. 22
105	福岡県	福岡雙葉高等学校	180	156	2. 17
106	福岡県	上智福岡高等学校	140	136	3. 1
107	福岡県	福岡海星女子学院高等学校	120	95	3. 5
108	福岡県	明光学園高等学校	70	17	2. 15
				41	3. 1
109	長崎県	純心女子高等学校	150	127	2. 26
110	長崎県	長崎南山学園高等学校	210	190	2. 22
111	長崎県	海星高等学校	400	307	2. 24
112	長崎県	聖和女子学院高等学校	120	101	3. 1
113	熊本県	熊本マリスト学園高等学校	200	159	3. 16
114	熊本県	八代白百合学園高等学校	100	52	3. 18
115	宮崎県	日向学院高等学校	140	124	2. 15
116	宮崎県	聖心ウルスラ学園高等学校	140	121	3. 8
117	宮崎県	都城聖ドミニコ学園高等学校	50	47	1. 21
118	鹿児島県	鹿児島純心女子高等学校	100	89	3. 4
119	沖縄県	沖縄カトリック高等学校	60	54	1. 12
120	岐阜県	聖マリア女学院高等学校	90	78	3. 5
121	三重県	四日市メリノール学院高等学校	140	134	3. 4

No	道府県	高等学校名	調査票 発送枚数	調査票 回収枚数	回収日
122	三重県	セントヨゼフ女子学園高等学校	80	73	3.12
123	大阪府	大阪商業大学高等学校	150	110	1.18
124	大阪府	箕面自由学園高等学校	135	118	2.12
125	京都府	大谷高等学校	200	146	3.23
126	京都府	京都外大西高等学校	90	60	3.1
127	京都府	京都文教高等学校	250	235	3.9
128	京都府	華頂女子高等学校	68	54	2.1
129	大阪府	興國高等学校	200	171	3.4
130	大阪府	大阪桐蔭高等学校	110	82	3.8
131	大阪府	四天王寺東高等学校	110	97	3.23
132	兵庫県	神港学園高等学校	40	32	3.4
133	兵庫県	神戸星城高等学校	40	39	2.2
134	兵庫県	育英高等学校	100	80	3.4
135	兵庫県	神戸国際大学附属高等学校	280	218	2.10
136	兵庫県	夙川高等学校	30	15	3.4
137	兵庫県	蒼開高等学校	40	35	3.15
138	兵庫県	日ノ本学園高等学校	130	101	3.5
139	奈良県	天理高等学校	270	249	3.18
140	奈良県	関西中央高等学校	70	66	3.10
141	和歌山県	高野山高等学校	50	38	3.2
142	滋賀県	綾羽高等学校	140	61	3.19
143	滋賀県	滋賀学園高等学校	120	107	3.5
144	滋賀県	彦根総合高等学校	220	181	3.9
145	香川県	藤井学園寒川高等学校	170	114	3.18
146	岐阜県	済美高等学校	90	81	2.16
147	愛媛県	帝京第五高等学校	100	82	2.22
148	愛媛県	済美高等学校	135	122	2.2
149	山口県	高川学園高等学校	144	137	2.15
150	岐阜県	多治見西高等学校	250	237	2.19
151	岐阜県	高山西高等学校	150	145	3.12
152	愛知県	誉高等学校	150	120	2.18
153	愛知県	豊田大谷高等学校	40	34	2.17
154	岡山県	就実高等学校	160	149	2.10
155	岡山県	岡山商科大学附属高等学校	56	54	2.12
156	大阪府	大阪府立岬高等学校	128	82	3.18
157	兵庫県	兵庫県立高砂高等学校	246	229	3.8
158	兵庫県	兵庫県立社高等学校	120	117	3.12
159	奈良県	智辯学園奈良カレッジ高等部	120	100	3.2
160	和歌山県	和歌山県立和歌山北高等学校	80	75	2.22
161	大阪府	箕面学園高等学校	192	172	3.5
162	大阪府	建国高等学校	75	48	2.22
163	香川県	香川県立高瀬高等学校	140	128	3.8

No	道府県	高等学校名	調査票 発送枚数	調査票 回収枚数	回収日
164	北海道	旭川藤星高等学校	150	125	3. 8
165	宮城県	仙台白百合学園高等学校	100	70	3. 12
166	福島県	桜の聖母学院高等学校	120	109	3. 10
167	秋田県	聖霊女子短期大学付属高等学校	200	157	3. 15
168	静岡県	静岡雙葉高等学校	130	125	3. 16
169	静岡県	静岡サレジオ高等学校	160	124	3. 15
170	山口県	萩光塩学院高等学校	70	58	3. 8
合 計			22906	18436	162 校

2. 調査結果要旨

(性別：問 1)

○回答者 (18,436 名) のうち、40.8%が「男性」、59.2%が「女性」である。

(居住都道府県：問 2)

○回答者の 51.3%が「大阪府」に居住し、以下、「その他」(25.5%)、「兵庫県」(8.5%)、と続いている。

(高校卒業後の希望進路：問 3)

○回答者の 66.7%が「大学」への進学を希望している。次いで回答者の 17.6%が「専門学校」への進学を希望している。

(学びたい学問分野・興味のある学問分野：問 4)〔複数回答〕

○「経済・経営・商学」が最も多く、以下、「教育・保育」、「語学・国際関係」、「その他」、「看護」、「芸術・デザイン」と続いている。

(進学先決定時に重視する事項：問 5)〔複数回答〕

○「興味・関心のあることが学べる」が最も多く、以下、「目標資格や免許が取れる」、「交通の便の良さ」、「就職実績」、「学習環境や施設・設備の充実度」と続いている。

(大阪信愛学院大学への興味・関心：問 6)

○「とても興味・関心をもった」が 607 人 (3.9%)、「少し興味・関心をもった」が 6,143 人 (39.1%)、「興味・関心をもたなかった」が 8,966 人 (57.1%) となった。

(大阪信愛学院大学への進学希望：問 7)

○回答者に「大阪信愛学院大学への進学希望」について伺ったところ、「進学を希望する」が 156 人 (1.0%)、「進学先の 1 つとして考えたい」が 1,611 人 (10.3%)、「進学を希望しない」が 9,864 人 (62.8%)、「わからない」が 4,080 人 (26.0%)、となった。

大阪信愛学院大学の入学定員合計は 160 名であり、「進学を希望する」のみで、入学定員の 0.98 倍の実数が得られた。

(進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科：問 8)

○回答者に「進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科」について伺ったところ、「教育学部教育学科」が 955 人 (56.6%)、「看護学部看護学科」が 731 人 (43.4%)、となった。

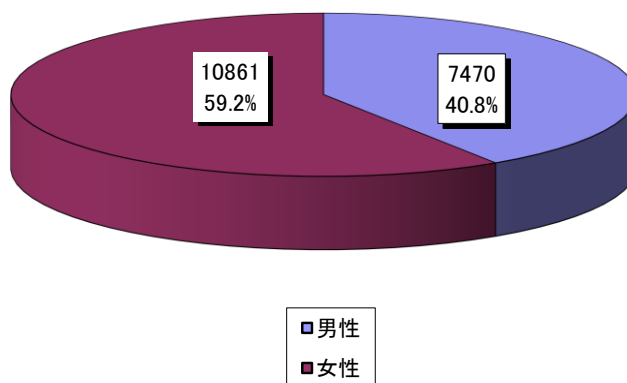
3. アンケート調査結果

3. 1. 単純集計

問1：性別

回答者の「性別」については、「男性」が7,470人（40.8％）であり、他方で「女性」が10,861人（59.2％）となった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	男性	7470	40.5	40.8
2	女性	10861	58.9	59.2
	不明	105	0.6	
	サンプル数（%ベース）	18436	100.0	100.0

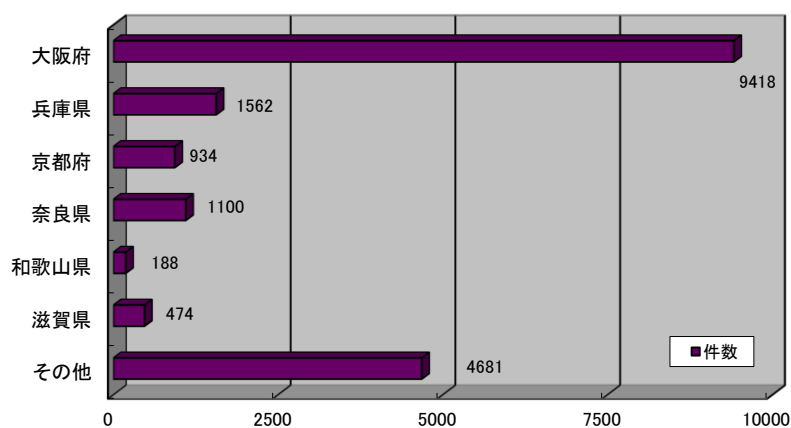


問 2：居住都道府県

回答者の「居住都道府県」については、「大阪府」が 9,418 人（51.3％）と最も多く、次いで「その他」が 4,681 人（25.5％）、「兵庫県」が 1,562 人（8.5％）、「奈良県」が 1,100 人（6.0％）、「京都府」が 934 人（5.1％）、「滋賀県」が 474 人（2.6％）、「和歌山県」が 188 人（1.0％）、の順に続いている。

回答者の「居住都道府県」については、「大阪府」が全体の約半数強を占めている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	大阪府	9418	51.1	51.3
2	兵庫県	1562	8.5	8.5
3	京都府	934	5.1	5.1
4	奈良県	1100	6.0	6.0
5	和歌山県	188	1.0	1.0
6	滋賀県	474	2.6	2.6
7	その他	4681	25.4	25.5
	不明	79	0.4	
	サンプル数（％ベース）	18436	100.0	100.0

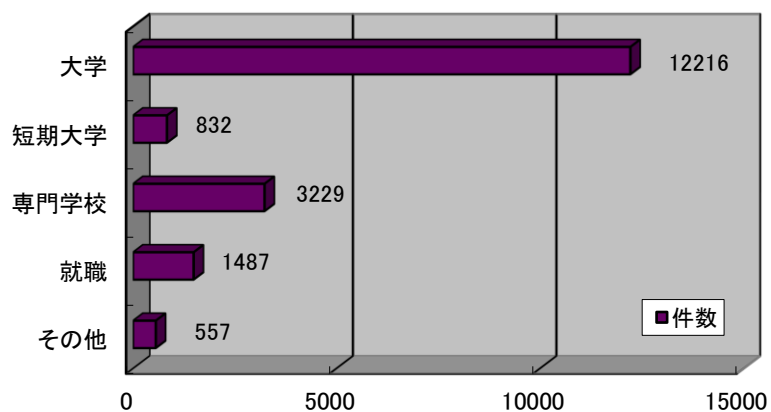


問 3 : 高校卒業後の希望進路

回答者の「高校卒業後の希望進路」については、「大学」が 12,216 人 (66.7%) と最も多く、次いで「専門学校」が 3,229 人 (17.6%)、「就職」が 1487 人 (8.1%)、「短期大学」が 832 人 (4.5%)、「その他」が 557 人 (3.0%)、の順となった。

回答者の約 7 割弱が「大学」への進学を希望していることがわかった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	大学	12216	66.3	66.7
2	短期大学	832	4.5	4.5
3	専門学校	3229	17.5	17.6
4	就職	1487	8.1	8.1
5	その他	557	3.0	3.0
	不明	115	0.6	
	サンプル数 (%ベース)	18436	100.0	100.0

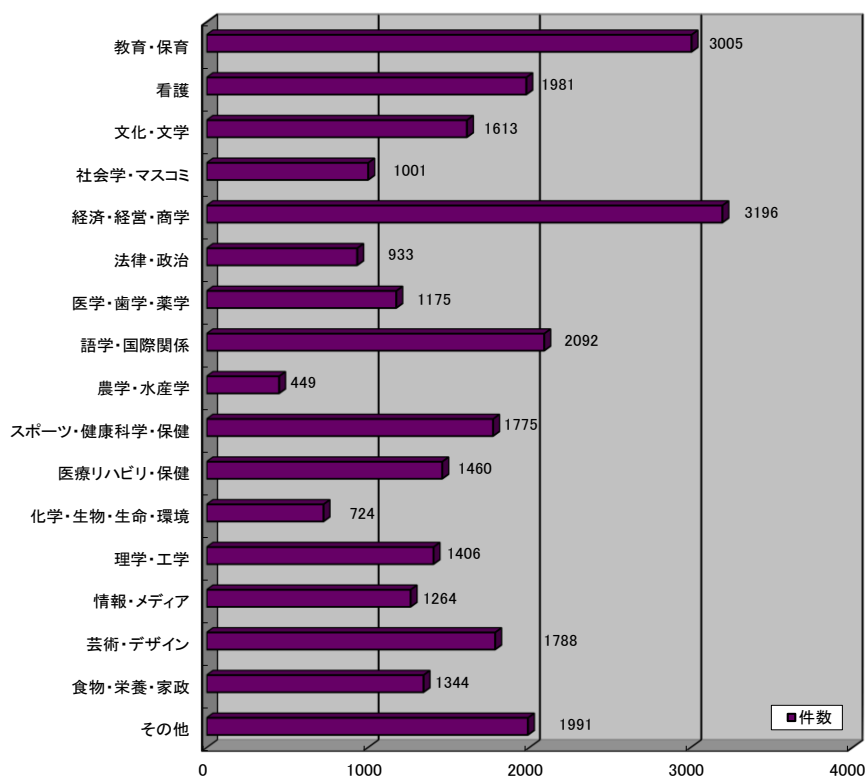


問4：学びたい学問分野・興味のある学問分野〔複数回答〕

回答者に「学びたい学問分野・興味のある学問分野」について伺ったところ、「経済・経営・商学」が3,196人（19.8%）と最も多く、次いで「教育・保育」が3,005人（18.6%）、「語学・国際関係」が2,092人（13.0%）、「その他」が1,991人（12.3%）、「看護」が1,981人（12.3%）、「芸術・デザイン」が1,788人（11.1%）の順が続いている。

「学問分野・興味のある学問分野」については、「経済・経営・商学」が最も多かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	教育・保育	3005	16.3	18.5	18.6
2	看護	1981	10.7	12.2	12.3
3	文化・文学	1613	8.7	9.9	10.0
4	社会学・マスコミ	1001	5.4	6.1	6.2
5	経済・経営・商学	3196	17.3	19.6	19.8
6	法律・政治	933	5.1	5.7	5.8
7	医学・歯学・薬学	1175	6.4	7.2	7.3
8	語学・国際関係	2092	11.3	12.9	13.0
9	農学・水産学	449	2.4	2.8	2.8
10	スポーツ・健康科学・保健	1775	9.6	10.9	11.0
11	医療リハビリ・保健	1460	7.9	9.0	9.0
12	化学・生物・生命・環境	724	3.9	4.4	4.5
13	理学・工学	1406	7.6	8.6	8.7
14	情報・メディア	1264	6.9	7.8	7.8
15	芸術・デザイン	1788	9.7	11.0	11.1
16	食物・栄養・家政	1344	7.3	8.3	8.3
17	その他	1991	10.8	12.2	12.3
	不明	137	0.7	0.8	
	非該当	2159	11.7		
	サンプル数（%ベース）	18436	100.0	100.0	100.0

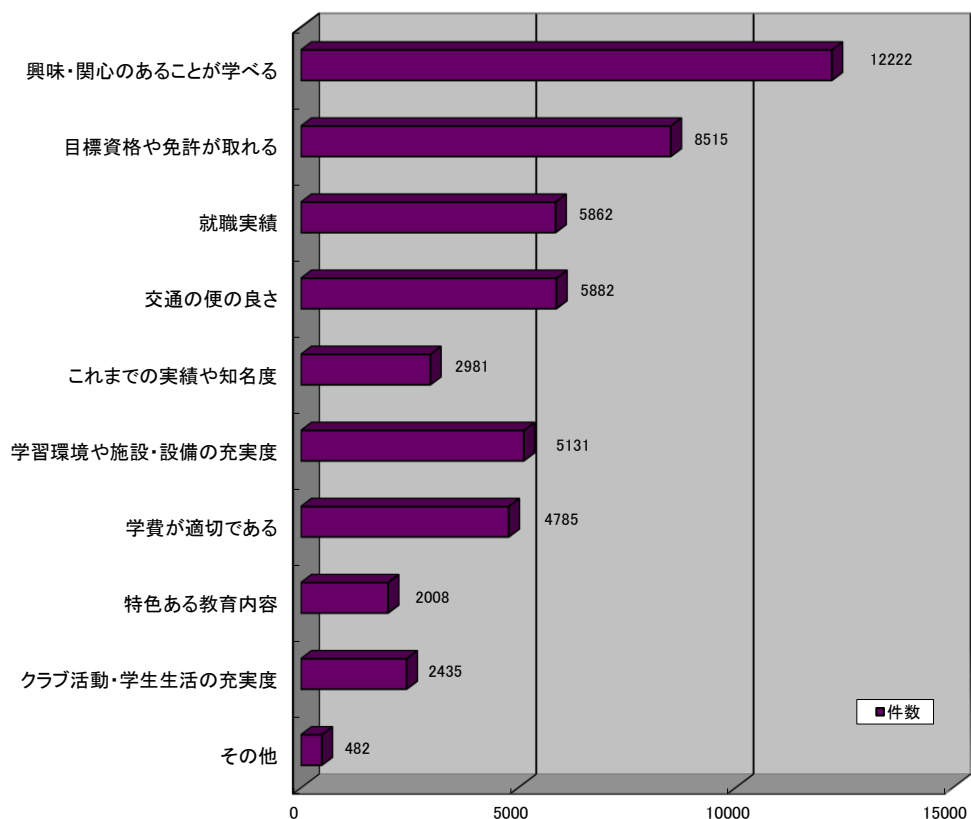


問5：進学先決定時に重視する事項〔複数回答〕

回答者に「進学先決定時に重視する事項」について伺ったところ、「興味・関心のあることが学べる」が 12,222 人（75.7%）と最も多く、次いで「目標資格や免許が取れる」が 8,515 人（52.7%）、「交通の便の良さ」が 5,882 人（36.4%）、「就職実績」が 5,862 人（36.3%）、「学習環境や施設・設備の充実度」が 5,131 人（31.8%）の順に続いている。

「進学先決定時に重視する事項」については、「興味・関心のあることが学べる」が最も多かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	興味・関心のあることが学べる	12222	66.3	75.1	75.7
2	目標資格や免許が取れる	8515	46.2	52.3	52.7
3	就職実績	5862	31.8	36.0	36.3
4	交通の便の良さ	5882	31.9	36.1	36.4
5	これまでの実績や知名度	2981	16.2	18.3	18.5
6	学習環境や施設・設備の充実度	5131	27.8	31.5	31.8
7	学費が適切である	4785	26.0	29.4	29.6
8	特色ある教育内容	2008	10.9	12.3	12.4
9	クラブ活動・学生生活の充実度	2435	13.2	15.0	15.1
10	その他	482	2.6	3.0	3.0
	不明	131	0.7	0.8	
	非該当	2159	11.7		
	サンプル数（%ベース）	18436	100.0	100.0	100.0

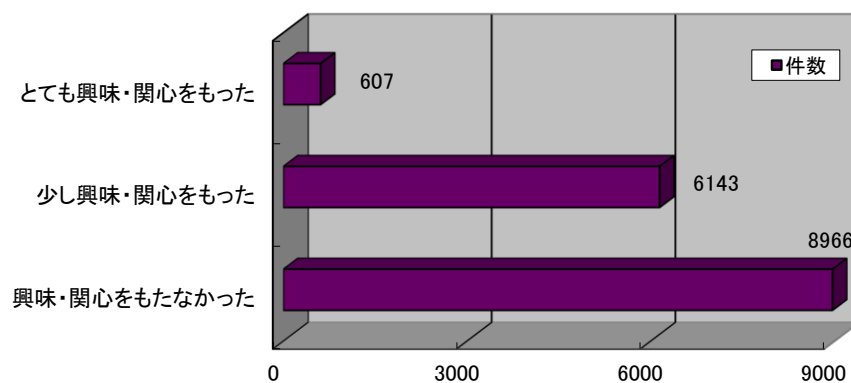


問 6：大阪信愛学院大学への興味・関心

回答者に「大阪信愛学院大学への興味・関心」について伺ったところ、「とても興味・関心をもった」が 607 人 (3.9%)、「少し興味・関心をもった」が 6,143 人 (39.1%)、「興味・関心をもたなかった」が 8,966 人 (57.1%)、となった。

「大阪信愛学院大学への興味・関心」については、回答者の約 4 割強が大阪信愛学院大学に何らかの興味を持っていることがわかった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	とても興味・関心をもった	607	3.3	3.7	3.9
2	少し興味・関心をもった	6143	33.3	37.7	39.1
3	興味・関心をもたなかった	8966	48.6	55.1	57.1
	不明	561	3.0	3.4	
	非該当	2159	11.7		
	サンプル数 (パーセント)	18436	100.0	100.0	100.0

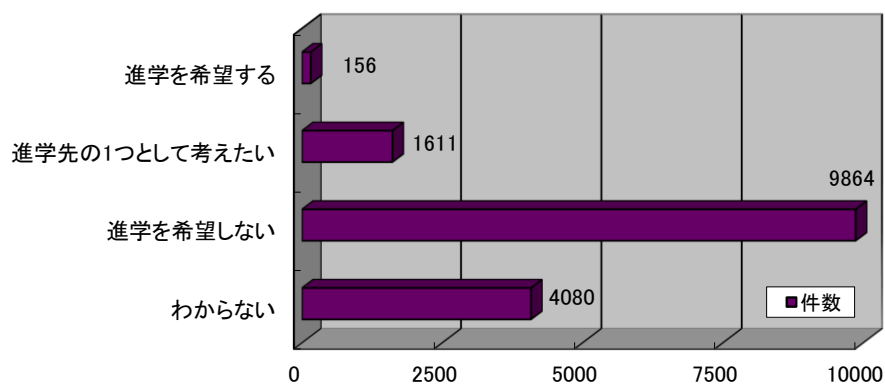


問 7：大阪信愛学院大学への進学希望

回答者に「大阪信愛学院大学への進学希望」について伺ったところ、「進学を希望する」が 156 人（1.0%）、「進学先の 1 つとして考えたい」が 1,611 人（10.3%）、「進学を希望しない」が 9,864 人（62.8%）、「わからない」が 4,080 人（26.0%）、となった。

大阪信愛学院大学の入学定員合計は 160 名であり、「進学を希望する」のみで、入学定員の 0.98 倍の実数が得られた。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	進学を希望する	156	0.8	1.0	1.0
2	進学先の1つとして考えたい	1611	8.7	9.9	10.3
3	進学を希望しない	9864	53.5	60.6	62.8
4	わからない	4080	22.1	25.1	26.0
	不明	566	3.1	3.5	
	非該当	2159	11.7		
	サンプル数（%ベース）	18436	100.0	100.0	100.0

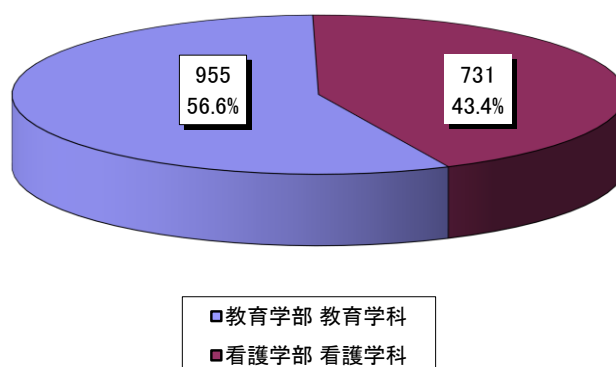


問 8 : 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科

回答者に「進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科」について伺ったところ、「教育学部教育学科」が 955 人 (56.6%)、「看護学部看護学科」が 731 人 (43.4%)、となった。

回答者の「進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科」については、「教育学部教育学科」が全体の約 6 割弱、「看護学部看護学科」が全体の約 4 割強を占めるに至った。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	教育学部 教育学科	955	5.2	54.0	56.6
2	看護学部 看護学科	731	4.0	41.4	43.4
	不明	81	0.4	4.6	
	非該当	16669	90.4		
	サンプル数 (%ベース)	18436	100.0	100.0	100.0



3. 2. クロス集計

3. 2. 1. 「問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科」と「問7 大阪信愛学院大学への進学希望」のクロス集計

上段:度数		問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科			
下段:%		合計	教育学部 教育学科	看護学部 看護学科	不明
問7 大阪信愛学院 大学への進学希望	全体	1767 100.0	955 54.0	731 41.4	81 4.6
	進学を希望する	156 100.0	84 53.8	56 35.9	16 10.3
	進学先の1つとして 考えたい	1611 100.0	871 54.1	675 41.9	65 4.0
	進学を希望しない	- -	- -	- -	- -
	わからない	- -	- -	- -	- -
	不明	- -	- -	- -	- -

3. 2. 2. 「問2 居住都道府県」の各選択肢別にみた、「問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科」と「問7 大阪信愛学院大学への進学希望」のクロス集計

大阪府

大阪府 上段:度数		問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科			
下段:%		合計	教育学部 教育学科	看護学部 看護学科	不明
問7 大阪信愛学院 大学への進学希望	全体	1097 100.0	576 52.5	471 42.9	50 4.6
	進学を希望する	115 100.0	60 52.2	42 36.5	13 11.3
	進学先の1つとして 考えたい	982 100.0	516 52.5	429 43.7	37 3.8
	進学を希望しない	- -	- -	- -	- -
	わからない	- -	- -	- -	- -
	不明	- -	- -	- -	- -

兵庫県

兵庫県		上段:度数	問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科			
		下段:%	合計	教育学部 教育学科	看護学部 看護学科	不明
問7 大阪信愛学院 大学への進学希望	全体		120 100.0	67 55.8	41 34.2	12 10.0
	進学を希望する		5 100.0	3 60.0	2 40.0	- -
	進学先の1つとし て考えたい		115 100.0	64 55.7	39 33.9	12 10.4
	進学を希望しない		- -	- -	- -	- -
	わからない		- -	- -	- -	- -
	不明		- -	- -	- -	- -
			- -	- -	- -	- -

京都府

京都府		上段:度数	問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科			
		下段:%	合計	教育学部 教育学科	看護学部 看護学科	不明
問7 大阪信愛学院 大学への進学希望	全体		72 100.0	43 59.7	28 38.9	1 1.4
	進学を希望する		7 100.0	4 57.1	3 42.9	- -
	進学先の1つとし て考えたい		65 100.0	39 60.0	25 38.5	1 1.5
	進学を希望しない		- -	- -	- -	- -
	わからない		- -	- -	- -	- -
	不明		- -	- -	- -	- -
			- -	- -	- -	- -

奈良県

奈良県		上段:度数	問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科			
		下段:%	合計	教育学部 教育学科	看護学部 看護学科	不明
問7 大阪信愛学院 大学への進学希望	全体		102 100.0	62 60.8	34 33.3	6 5.9
	進学を希望する		6 100.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7
	進学先の1つとし て考えたい		96 100.0	59 61.5	32 33.3	5 5.2
	進学を希望しない		- -	- -	- -	- -
	わからない		- -	- -	- -	- -
	不明		- -	- -	- -	- -

和歌山県

和歌山県		上段:度数	問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科			
		下段:%	合計	教育学部 教育学科	看護学部 看護学科	不明
問7 大阪信愛学院 大学への進学希望	全体		29 100.0	20 69.0	8 27.6	1 3.4
	進学を希望する		- -	- -	- -	- -
	進学先の1つとし て考えたい		29 100.0	20 69.0	8 27.6	1 3.4
	進学を希望しない		- -	- -	- -	- -
	わからない		- -	- -	- -	- -
	不明		- -	- -	- -	- -

滋賀県

滋賀県		上段:度数	問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科			
		下段:%	合計	教育学部 教育学科	看護学部 看護学科	不明
問7 大阪信愛学院 大学への進学希望	全体		32 100.0	20 62.5	12 37.5	- -
	進学を希望する		2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -
	進学先の1つとし て考えたい		30 100.0	19 63.3	11 36.7	- -
	進学を希望しない		- -	- -	- -	- -
	わからない		- -	- -	- -	- -
	不明		- -	- -	- -	- -
			- -	- -	- -	- -

その他

その他		上段:度数	問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科			
		下段:%	合計	教育学部 教育学科	看護学部 看護学科	不明
問7 大阪信愛学院 大学への進学希望	全体		314 100.0	166 52.9	137 43.6	11 3.5
	進学を希望する		21 100.0	13 61.9	6 28.6	2 9.5
	進学先の1つとし て考えたい		293 100.0	153 52.2	131 44.7	9 3.1
	進学を希望しない		- -	- -	- -	- -
	わからない		- -	- -	- -	- -
	不明		- -	- -	- -	- -
			- -	- -	- -	- -

3. 3. 自由回答

本調査では問 9 の設問を自由回答方式とし、回答者に対して大阪信愛学院大学に係る一般的な意見を聞いている。

その結果、集計対象とした全 18,436 票のうち 229 票において意見の記述が見られた。この 229 票の記述内容は次頁～28 頁の通りである。

◎自由回答（問 9）の記述内容一覧

No	問1 性別	問9 大阪信愛学院大学についての意見
61	女性	共学にしたのはとてもいいと思います。
310	男性	理学療法があれば行きたかったです。
390	男性	がんばれ。
401	男性	いいと思います。
472	男性	もっと知りたい。
483	男性	興味なし。
485	男性	がんばって下さい。
518	男性	パンフレットの内容をもう少し多くしても良いと思います。
629	女性	指定校ください。
841	女性	中学校の免許・資格もいれてほしい。
882	男性	薬学部ないの？
977	女性	ありがとうございました。
1173	女性	交通が不便。家から通える距離ではないです。
1245	女性	共学にするなら工学系の学部があったほうが良いと思う。
1250	男性	免許を取るのに特化されてますか。
1349	男性	中学の先生の免許も取れるなら行ってみたい。
1454	女性	良いと思う。
1477	男性	カトリックの大学でいいと思う。
1652	男性	授業料が高い。遠い。
1736	女性	数学の教師になれるのか。
1808	女性	見やすかったです。
1947	女性	信愛まで共学になったら、日本に女子校・男子校は残るのか。
2223	女性	とてもきれい。
2350	女性	大学がきれいそう。
2536	男性	学びたいと思っている学習が決まってないのでまだわかりません。
2928	女性	食堂がおいしければよし。
2965	女性	楽しみです。
3004	女性	幼児体育は取れますか？
3013	男性	学校きれいですね。

No	問1 性別	問9 大阪信愛学院大学についての意見
3106	女性	見学に行きたい。
3117	男性	進学したいです。
3159	女性	スターバックス、コンビニなど買い物が出来る場所がほしい。
3161	女性	大学・高校・共につかえるコンビニを入れてほしい。
3164	女性	初等部だけでなく、中等部、高等部の各教科のどれかの免許がとれたら良いなあと思います。
3219	女性	文学部などもっと学部が欲しいです。
3225	女性	女子短大のままの方が、良かったと思いました。
3236	女性	中高校舎の近くに男性がいるのは嫌です。大学のみが使う講堂を作り、中高校舎の前の講堂を使わないでほしいです。
3314	男性	募集人数はどれくらいですか。
3517	男性	少し家から離れているので時間内に着くのは難しいと感じました。
3670	男性	がんばってください。
3812	男性	学費が高い。
3873	女性	大阪駅や難波駅から大阪信愛学院大学さんにつながるバスが出たらとても便利だなと思いました。
3947	女性	良いと思う。
4000	男性	良いですね。
4147	男性	色が良い感じに使い分けられていたと思います。
4196	男性	なぜ仮称なのですか？
4280	男性	名前が宗教みたい。
4539	女性	看護学科で取得できる免許・資格に、保健師も一緒に取れないのがひっかかりました。
4749	女性	名前がステキだと思います。
4769	女性	教育学部に進学したいと思うが、交通の便が悪い。
4824	男性	まだ、なにも調べてないので調べます。
4916	男性	男女比はどれくらいですか？
4940	男性	名前の由来は何ですか。
4989	男性	少し女子校のイメージがありました。
5061	男性	頑張ってください。
5147	女性	パンフレットがよかった。
5289	女性	男女平等よろしくおねがいします。
5297	男性	コロナに気をつけよう。

No	問1 性別	問9 大阪信愛学院大学についての意見
5364	女性	少し興味をひかれました。たのしみです。
5634	女性	学生寮を設けて欲しい。
5672	女性	学科が増えると選択肢として考えやすいかなと思います。2つの学部自体はとても良いと思います。
5711	女性	教育学部と看護以外にも学部学科があると良いなと思いました。
6023	女性	進学しないと思います。
6056	男性	大学名が女子校っぽい。
6171	男性	定員を多くしてほしい。
6177	男性	看護学校は少ないので、良いと思う。
6438	女性	マークがかわいいです。
6650	男性	僕は行かない。
6928	女性	校章がダサい。
6983	女性	学校で勉強を教えてくださいる教師の方にどんな方がいらっしゃるか、知りたかった。
7103	男性	よくわからない。
7128	女性	4年制しかないですか？
7186	男性	良いと思う。
7218	男性	チューター制は国家試験がある看護学部にはとても良いと思う。
7225	男性	経営・経済学科がほしい。
7277	女性	施設がきれいだなと思いました。
7326	女性	看護学部に入っても部活動を充実してできる環境が良いと思う。
7647	男性	僕たち受験生にとっては、とてもプラスになると思います。
7653	男性	どういう所か知りたい。
7789	女性	2つは学びたい人が多いかなと思います。
7793	女性	詳しいカリキュラムの内容を知りたいです。
7804	女性	看護に興味があったので気になった。
7907	男性	法学を作って欲しい。
7924	女性	信愛の近くに住んでいるので楽しみです。
7990	男性	良いと思う。
8185	男性	4年間しっかりと勉強できる環境で良いと思った。
8522	女性	とても良いと思います。

No	問1 性別	問9 大阪信愛学院大学についての意見
8650	男性	教育や看護に力を入れていて、とても良い大学と思いました。
8655	男性	定員数を増やしてほしい。
8824	-	女学校から共学になるなら当然男子は入りづらいと感じる。男性がどのようにキャンパスライフを送るのか。
8891	男性	少し興味を持ったので、一度オープンキャンパスに行ってみたいです。
9037	男性	中学・高等学校の教員免許を取れるようにしたい。
9039	男性	中学校、高等学校のコースも欲しい。
9078	男性	ゲームの分野を追加してほしい。
9097	男性	お金が高い。
9100	男性	行きたいとは思わない。
9178	男性	すごくいいところ。
9462	女性	心理学も入れてほしい。
9521	男性	京都に移動して下さい。
9538	女性	実習のできる病院など、どこでできるのかをはっきりさせた方がいいと思いました。
9571	男性	名前を変えたほうがよいと思う。
9600	女性	文学部を是非お願いします。
9620	女性	もうちょっと学科を増やした方がいいと思います。
9623	女性	インテリア等をお洒落にすると良いと思う。
9778	女性	駅から遠いのももう少し近い場所がいい。
9804	女性	駅から遠いので行きたくないです。
9805	女性	交通の便が少し悪いですが、免許や環境はすごく良いので、興味を持ちました。
9838	女性	国家試験の合格率をパンフレットにのせてほしかったです。
10104	男性	もっと学部を増やした方がいい。
10374	女性	教育学科の学生で、2年次に初等教育コースを選択したとして、幼児教育コースの授業は受けられないのでしょうか。
10539	女性	大阪の中心に近く、とても立地がいいと思います。
10641	男性	頑張って下さい。
10649	男性	とてもいい名称だと思います。
10699	男性	いいと思う。
10798	男性	行ってみたい。
10821	女性	マークをもう少し良い感じにしたほうがいい。

No	問1 性別	問9 大阪信愛学院大学についての意見
10878	女性	良いと思う。
11136	女性	がんばってください
11184	女性	カトリックそのものを学習ができる環境や神様を感じられる空間が欲しい。
11249	女性	専門性に特化していて良いと思いました。
11399	女性	助産科もあれば最高。
11405	女性	もっと学部を増やした方が良い。
11428	女性	コースの特色をもう少し詳しく知りたい。
11554	女性	ぜひ行きたいです。よろしくおねがいします。
11561	男性	パンフレット欲しい。課題少なくして欲しい。
11568	男性	学部をもっと増やしてほしい。
11604	男性	初年度納付金が高すぎる。信愛という名前とてもかっこいいですね。
11634	女性	オープンキャンパスに行きたいです。
12165	男性	とてもいいです。
12226	女性	もっと詳しく学校について知りたいと思ったのでパンフレットなどがほしいです。
12383	男性	最寄り駅の新森古市駅は実際に行ったことがあるので、行き方は大体分かりました。
12389	男性	名前が長いのでみんなに覚えてもらえるよう、短くするか工夫した方がいいと思う。
12420	男性	学費が高い。
12425	男性	いい点がたくさんあり、興味をもった。
12503	男性	偏差値はどのくらいか。部活は何かあるか。
12505	男性	名前がちょっと。アピールが少ないから進学したいと思わないし、知名度が低い。
12506	男性	名前から変えた方が良く、進学しようと思わない。
12509	男性	応援してます。
12798	男性	いい場所にありますね。
12845	男性	とてもいいと思います。
12940	女性	助産師の資格取得を目指すコースがあってほしい。
12948	女性	実習の様子などの写真があれば、もっと良いパンフレットになると思います。
12956	女性	お年寄りで動物を飼う人が増えてきたから、生物の学科に興味がある人がいるかもしれない。
13050	男性	精進して頂きたい。
13216	女性	頑張ってください。

No	問1 性別	問9 大阪信愛学院大学についての意見
13220	女性	頑張ってください。興味が沸きました。
13221	女性	がんばってください。
13222	女性	がんばってください。
13224	女性	進学先の候補として考えていきたいと思いました。
13225	女性	がんばってください。
13227	女性	がんばってください。
13238	-	蔵書等の設備に関する情報がパンフレットにもなく、気になった。
13254	女性	サークルの数を増やしてほしい。設備に期待している。
13645	男性	どんな事を学ぶのか教えてもらえる機会がほしい。
13680	男性	入学金の安さはとてもいいことだと思った。
13701	男性	頑張ってください。
13703	男性	デザインがんばって！
13708	女性	全授業を通信にしてほしい。
13772	女性	いい名前だと思います。がんばってください。
13773	女性	愛という字が含まれている所がすごくすてきです。応援してます。
13793	女性	授業料を安くしてほしい。
13869	女性	他の学科もいいなと思った。
13979	女性	すごくキレイだと思った。
13998	女性	はじめてきいた。
14042	男性	キリスト教系に興味はないです。
14075	男性	中等教育も入れてほしい。
14099	男性	宗教精神に基づいた人間教育を基礎としている点は、より社会に適応した人物を育てられそうに感じた。
14105	男性	学費が高い。
14118	男性	入学金が安いのは良いと思う。
14122	男性	いいと思います。
14124	男性	思っていたよりも創立が早いと思いました。
14126	女性	頑張ってください。
14128	男性	やはり金銭面できついです。
14153	男性	頑張ってください。

No	問1 性別	問9 大阪信愛学院大学についての意見
14361	男性	共学にしなくて良いと思います。
14412	男性	とても楽しそうです。
14465	男性	がんばってください。
14524	女性	クラブ活動の内容を記載したら、もっと関心を持つ人が増えると思う。
14537	女性	取得できる資格に助産・保健師があればいいと思います。
14545	女性	大学名があまり信頼できない。
14546	女性	すてきな人を育ててください。
14579	女性	もう少し学部学科を増やしてほしい。
14587	女性	卒業後の就職があれば嬉しいと思う。
14597	女性	奨学金制度はありますか？
14598	女性	近くに寮はあるんですか？
14691	男性	頑張ってください。
14737	女性	車で登校できますか。
14742	女性	マークがいいと思う。
15010	女性	すてきな学校です。
15086	男性	とても楽しそう、学べそう。
15148	男性	大学名を旧字体にすべき。「大阪信愛学院大學」
15215	男性	行きたいなって思いました。
15319	-	なぜ共学にしようと思ったんですか？私は経済を学びたいので進学は希望しません。
15516	女性	看護だけのパンフレットが見たい。
15538	男性	頑張ってください。
15539	男性	いいと思います。
15667	女性	私は夢が幼稚園教諭なので、ちょっと考えてみるのも良いかなと思いました。
15681	女性	看護学科だけでなくリハビリ系の資格が取れるようにしたほうがいいと思う。
15709	男性	教育学部教育学科で中学・高校の教育免許が取れば良いと思います。
15711	男性	もう少し安くしてください。
16025	女性	もっと看護学について調べたいです。
16173	女性	ありがとうございました。
16226	男性	いい大学やと思います。

No	問1 性別	問9 大阪信愛学院大学についての意見
16325	男性	応援しています。
16337	男性	がんばってください。
16349	女性	他の学科も開設してほしいです。
16451	男性	ソフトテニスサークルがあればうれしいです。
16498	女性	保健師国家試験受験資格も取得できたらいいなと思いました。
16677	女性	養護教諭1種免許状を取るためには制限人数があるのか。
16829	女性	教育についてたくさん学べそうなので、完成が楽しみです。
16891	女性	看護について詳しく細かいことまで学べそうだったので良い大学だなと思いました。
16898	男性	看護や教育に進む人にとっては素晴らしい場所だと思います。
16954	男性	共学になったことは素晴らしいことだと思います。
16985	女性	教育学部というのはすごくひかれました。
17050	男性	キリスト系の大学でしょうか？
17122	女性	助産師の資格がとれる学部であれば、進学先の1つとして考えたい。
17149	女性	取得できる免許・資格が多くていいなと思った。
17218	女性	学費をもう少し安くしてください。
17258	男性	工学部を追加してほしい。
17325	男性	読み方がわからない。
17421	男性	頑張ってください。
17429	男性	学部をもっと増やしたらいいと思います。
17460	男性	楽しみです。
17487	男性	頑張って下さい。
17513	女性	養護教諭の勉強をしたい。
17573	女性	教育学部の取得可能な免許の中に、中学校や養護教諭などもあれば素敵だと思います。
17816	男性	いろいろ大変だと思いますが頑張ってください。
17980	女性	他の学科もつくるべき。
18251	男性	中等教育の免許をカリキュラムに入れて欲しい。

4. アンケート調査票

大阪信愛学院大学（仮称）【共学】教育学部・看護学部 設置に係るアンケート調査（高校2年生対象）

学校法人大阪信愛学院では、2022年4月に大阪信愛学院大学（仮称）【共学】の開設を計画しています。

大阪信愛学院大学（仮称）では、教育学部教育学科と看護学部看護学科の2学部を開設し、他者を成長へと支援するヒューマンケアを実践する教育・保育職や看護職として、教育や保健・医療・福祉の分野で活躍できる人材の養成を目的とし、第1期生を募集する予定です。

このアンケート調査は、高校生の皆様の卒業後の進路等に関する意向や開設予定の新大学・学部への興味・関心等についておたずねし、開設のための基礎資料とするものです。このアンケートは無記名方式で、アンケート結果は統計資料としてのみ使用し、他の目的のために使用することはありません。なお本調査は一般財団法人日本開発構想研究所に集計・分析等を委託します。

※新大学・学部開設は計画中であり、名称や授業料等は正式に決定したものではなく変更されることがあります。

【下記の質問にお答えください。】

問1 あなたの性別を選び、番号に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたがお住まいの都道府県を次の中から1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 大阪府 2. 兵庫県 3. 京都府 4. 奈良県 5. 和歌山県
6. 滋賀県 7. その他 ※都道府県名をご記入ください（ ）

問3 高校を卒業後、進みたいと考えている進路を次の中から1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 大学 2. 短期大学 3. 専門学校 4. 就職 5. その他

問4以降は、問3で「大学」、「短期大学」、「専門学校」と答えた方への質問です。

問3で「就職」「その他」と答えた方はこれでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

問4 あなたが高校を卒業後、学びたいと考えている・興味のある学問分野を次の中からすべて選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|------------------|---------------|-----------------|
| 1. 教育・保育 | 2. 看護 | 3. 文化・文学 | 4. 社会学・マスコミ |
| 5. 経済・経営・商学 | 6. 法律・政治 | 7. 医学・歯学・薬学 | 8. 語学・国際関係 |
| 9. 農学・水産学 | 10. スポーツ・健康科学・保健 | 11. 医療リハビリ・保健 | 12. 化学・生物・生命・環境 |
| 13. 理学・工学 | 14. 情報・メディア | 15. 芸術・デザイン | 16. 食物・栄養・家政 |
| 17. その他 | | | |

問5 あなたが進学先を決定する際に重視することは何ですか？ 次の中からすべてを選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|----------------|-------------------|
| 1. 興味・関心のあることが学べる | 2. 目標資格や免許が取れる | 3. 就職実績 |
| 4. 交通の便の良さ | 5. これまでの実績や知名度 | 6. 学習環境や施設・設備の充実度 |
| 7. 学費が適切である | 8. 特色ある教育内容 | 9. クラブ活動・学生生活の充実度 |
| 10. その他 | | |

裏面につづく

ここからは【大阪信愛学院大学(仮称)の案内をご覧いただき、質問にお答えください。】

問6 あなたは、**大阪信愛学院大学(仮称)【共学】**に興味・関心をもちましたか？

一番近いものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. とても興味・関心をもった 2. 少し興味・関心をもった 3. 興味・関心をもちなかった

問7 あなたは、**大阪信愛学院大学(仮称)【共学】**に進学したいと思いますか？

一番近いものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 進学を希望する 2. 進学先の1つとして考えたい 3. 進学を希望しない 4. わからない

問8 問7で「進学を希望する」または「進学先の1つとして考えたい」と答えた方への質問です。

あなたは**大阪信愛学院大学(仮称)【共学】教育学部 教育学科**と**看護学部 看護学科**のどちらに進学を希望しますか。

1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 教育学部 教育学科 2. 看護学部 看護学科

問9 開設予定の**大阪信愛学院大学(仮称)**について、ご意見・ご要望があれば、ご自由にお書きください。

***** 質問はこれで終了です。ご協力いただきありがとうございました。 *****

◆このアンケートに関する問い合わせ先

■学校法人大阪信愛女学院 大阪信愛学院大学 大学設置準備室 担当：本吉・市川

〒536-8585 大阪市城東区古市 2-7-30 TEL:06-6939-4391 FAX:06-6931-0373

■一般財団法人 日本開発構想研究所 高等教育研究部 担当：長島

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目16番4号 アーバン虎ノ門ビル 7階 TEL:03-3504-1767 FAX:03-3504-0752

【参考資料：大阪信愛学院大学(仮称)および同分野大学の初年度納付金】

■教育学部(仮称)※1

※1 大阪信愛学院大学(仮称)教育学部の初年度納付金は予定です。変更になる可能性があります。

また他大学の初年度納付金は各大学のホームページ掲載情報に基づきます(2020年9月現在)。

大学名	学科等	入学金	授業料	施設設備・実習費・諸費	初年度納付金
大阪信愛学院大学(仮称)	教育学科(仮称)	170,000	880,000	260,000	1,310,000
四天王寺大学	教育学科幼児教育保育コース	300,000	837,000	348,000	1,485,000
大和大学	教育学科初等幼児教育専攻	180,000	1,140,000	—	1,320,000
桃山学院教育大学	教育学科小学校教育コース、初等教育コース	230,000	1,150,000	—	1,380,000
大阪成蹊大学	初等教育専攻幼児教育コース、初等教育コース	250,000	870,000	352,160	1,472,160

■看護学部(仮称)※2

※2 大阪信愛学院大学(仮称)看護学部の初年度納付金は予定です。変更になる可能性があります。

また他大学の初年度納付金は各大学のホームページ掲載情報に基づきます(2020年9月現在)。

大学名	学科等	入学金	授業料	施設設備・実習費・諸費	初年度納付金
大阪信愛学院大学(仮称)	看護学科(仮称)	170,000	1,140,000	440,000	1,750,000
京都橘大学	看護学科	250,000	1,200,000	280,000	1,730,000
摂南大学	看護学科	250,000	1,550,000	100,000	1,900,000
千里金蘭大学	看護学科	300,000	980,000	616,000	1,896,000
森ノ宮医療大学	看護学科	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000

審査意見への対応を記載した書類（6月）

（目次） 看護学部 看護学科

1. 【全体計画審査意見1の回答について】

新たに示されたカリキュラム・ツリーに関する以下について、明確に説明すること。

（1）ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーと、関連する科目の内容について、例えば、DP2・CP2に配置されている「専門基礎科目」の「学校保健」「養護学概説」の科目は養護教諭一種免許状取得に係る必修科目であるが、一般的にDP3・CP3に対応する「看護の基盤」に関連する科目と考えられるなど、整合していない部分があるように見受けられる。このため、改めてDP・CPに対応する科目について網羅的に確認の上、必要に応じて修正するとともに、その整合性について明確に説明すること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・・・91

1. 【全体計画審査意見1の回答について】

新たに示されたカリキュラム・ツリーに関する以下について、明確に説明すること。

（2）「疾病治療論」に関する科目の配当年次について、「疾病治療論Ⅰ」が2年次前期、「疾病治療論Ⅱ」が1年次後期、「疾病治療論Ⅲ」が2年次後期となっていて、科目のナンバリングと配当年次が逆転しているものがあるため、これらの科目の体系性について明確に説明するか、必要に応じて適切に修正すること。

（是正事項）・・・・・・・・・・・・・96

2. 【全体計画審査意見4の回答について】

養護教諭一種免許状取得に係る科目を、新たにカリキュラム・ツリーや履修モデルに基づき説明されたが、当該課程の必修科目の多くを1名の専任教員が担当する計画であり、過度な負担とならないか懸念がある。また、当該課程を履修する学生の人数制限の有無を含め、周知方法や履修指導等体制が不明確であることから、これらを明確にした上で、教員の負担やそれによる教育効果の最適化について説明すること。

（改善事項）・・・・・・・・・・・・・97

3. 【全体計画審査意見9の回答について】

「生活機能支援論Ⅲ－①（急性）」のシラバスの評価方法に、「原則全出席を前提とする。」と記載があり、いわゆる出席点を評価項目としているように誤解を招く可能性があるため、適切に改めること。

（改善事項）・・・・・・・・・・・・・101

4. 【全体計画審査意見 13 の回答について】

高校生を対象とした入学意向調査を新たに実施し、その結果をもって学生確保の見通しを説明しているが、入学定員 80 名に対して、学部への進学を希望する者が計 47 名であり、継続的に学生を確保することができる見込みとなっていないため、客観的根拠に基づき、改めて明確に説明すること。

(是正事項) 103

(是正事項) 看護学部 看護学科

1. 【全体計画審査意見1の回答について】

新たに示されたカリキュラム・ツリーに関する以下について、明確に説明すること。

- (1) ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーと、関連する科目の内容について、例えば、DP2・CP2に配置されている「専門基礎科目」の「学校保健」「養護学概説」の科目は養護教諭一種免許状取得に係る必修科目であるが、一般的にDP3・CP3に対応する「看護の基盤」に関連する科目と考えられるなど、整合していない部分があるように見受けられる。このため、改めてDP・CPに対応する科目について網羅的に確認の上、必要に応じて修正するとともに、その整合性について明確に説明すること。

(対応)

ご指摘を踏まえて、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに対応する科目を「学校保健」「養護学概説」を含めて網羅的に確認し、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに対応する科目と科目区分の整合性を明確にし、修正した。

(説明)

1. ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーと「学校保健」「養護学概説」科目の関連性と科目区分の見直し

「学校保健」「養護学概説」は一般的にはDP3・CP3に対応する「看護の基盤」に関連する科目とも考えられるが、本学の「看護の基礎」は「科学的根拠に基づいた看護の知識・技術を修得するために基礎的な理論や技術、看護の展開方法を学ぶ」内容であり、「学校保健」「養護学概説」は「看護の基盤」に配当する科目として妥当ではないと考える。

以下の表1において、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーと「学校保健」「養護学概説」の関連性を示す。DP4の目標を達成するために、CP5「地域で生活する人々の健康課題を解決するために、継続的に、保健医療福祉チームの一員として多職種と連携・協働して行う看護を理解する科目」を配置している。「学校保健」は「幼児・児童・生徒・学生の発達過程に応じた健康ニーズを把握し、学校集団における幼児・児童・生徒・学生の健康問題を通して、学校保健の仕組みや健康管理について理解できる」科目、「養護学概説」は「学校における養護教諭の専門性と役割を理解できる」科目であり、幼児・児童・生徒・学生の健康問題において多職種と連携・協働して看護を行うために必要な科目である。また、共生社会形成に向けたインクルーシブ教育を構築する上では、保健・医療・福祉・教育がより密に連携・協働する必要がある。看護師は学校を含めた多様な場で、多職種と連携・協働する必要があるため「学校保健」「養護学概説」はCP5に配置することが適切である。「看護学部のカリキュラム・ツリー」を改めて作成した。

【資料1：看護学部カリキュラム・ツリー】

表1. ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーと「学校保健」「養護学概説」の関連性

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	科目到達目標
DP4 多職種と連携・協働し、地域の人々の健康	CP5 地域で生活する人々の健康課題を解決するた	【学校保健】 1. 学校保健の意義や目的、実際の活動について説

課題を解決する能力を有する	めに、継続的に、保健医療福祉チームの一員として多職種と連携・協働して行う看護を理解する科目を【専門教育科目】として『専門科目』『コミュニティと看護』に配置する。	明できる。 2. 幼児・児童・生徒・学生の発達過程に応じた健康ニーズについて説明できる。 3. 学校集団における幼児・児童・生徒・学生の健康問題を通して、学校保健の仕組みや健康管理について説明できる。 【養護学概説】 1. 学校における養護教諭の専門性と役割を説明できる。 2. 自己の養護教諭観を説明できる。
---------------	--	---

また、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーと「学校保健」「養護学概説」科目の整合性を図ったことに伴い、これらの科目は、専門基礎科目から専門科目「コミュニティと看護」に配当し直すこととする。

2. ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーと各科目の関連性と科目区分の見直し

ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに対応する科目と科目区分について網羅的に確認を行い、「看護研究Ⅰ」「看護研究Ⅱ」の科目区分を改めた。「看護研究Ⅰ」「看護研究Ⅱ」は、DP5の目標を達成するために、CP6「多様化する社会に対応する看護専門職の役割を理解し、看護学の発展を探究する姿勢を養うための科目」として配置している。科目の到達目標から、科目区分を「看護の発展」である「多様化する社会に対応する看護専門職の役割を理解し、看護学の発展を探究する姿勢を養うための科目」に配当し直すこととする。

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した書類 (39 ページ)

新	旧
P. 39 5) 各科目区分の科目構成 (略) (2) 【専門教育科目】 ① 『専門基礎科目』 (26 科目、必修 28 単位、選択 3 単位 (削除)) (略) ② 『専門科目』 「看護の基盤」「ライフサイクルと看護」「コミュニティと看護」「看護の発展」を専門科目とした。 i) 看護の基盤 (13 科目、必修 18 単位)	P. 39 5) 各科目区分の科目構成 (略) (2) 【専門教育科目】 ① 『専門基礎科目』 (28 科目、必修 28 単位、選択 3 単位、自由 4 単位) (略) ② 『専門科目』 「看護の基盤」「ライフサイクルと看護」「コミュニティと看護」「看護の発展」を専門科目とした。 i) 看護の基盤 (15 科目、必修 20 単位)

「看護の基盤」では、科学的根拠に基づいた看護の知識・技術を修得するために基礎的な理論や技術、看護の展開方法を学ぶ内容として <u>13 科目</u> 配置した。 (略) <u>(削除)</u> iii) コミュニティと看護 (<u>16 科目</u>、必修 17 単位、自由 4 単位) 「コミュニティと看護」は、地域で生活する人々とその家族を理解し、地域における様々な場での看護の基礎を学び、地域で提供する看護の基礎的な技術を身につけ、多職種と協働する中での看護の役割を理解し、地域の健康課題に取り組む能力を養うための科目として <u>16 科目</u> を配置した。「コミュニティと看護」の科目においては、講義、演習、実習、実習の振り返り演習を体系的に配当している。 (略) また、地域包括ケア時代において、看護師としての役割やチームの一員として他職種の専門性や役割を理解するために「チーム医療論」<u>「養護学概説」</u>を配置した。多様な場で看護を必要とする地域で生活する人々の健康と QOL 向上を踏まえ、地域で療養する人と家族のセルフケア能力の維持・向上のための看護支援方法や地域のヘルスニーズに対応した地域看護活動の展開と実践方法、地域における児童生徒の健康の保持増進、保健管理、保健教育を理解するために「地域包括ケア論Ⅱ（在宅・地域）」「地域包括ケア論Ⅲ（地域・学校）」<u>「学校保健」</u>を配置し、学んだ知識・技術を看護実践の場で展開するために病院、グループホーム、小規模多機能施設、訪問看護ステーション、地域包括支援センターなどで行われている個人、集団、コミュニティへの支援方法を体験的に学ぶ「地域包括ケア論実習Ⅰ（老年）」「地域包括ケア論実習Ⅱ（在宅）」「地域包括ケア論実習Ⅲ－②（統合：地域）」を配置し、看護師や看護	「看護の基盤」では、科学的根拠に基づいた看護の知識・技術を修得するために基礎的な理論や技術、看護の展開方法を学ぶ内容として <u>15 科目</u> 配置した。 (略) さらに、4 年次科目である「看護研究Ⅲ・Ⅳ」の基盤となり、研究テーマを明確化できるための「看護研究Ⅰ・Ⅱ」を配置した。 iii) コミュニティと看護 (<u>14 科目</u>、必修 17 単位、<u>(追加)</u>) 「コミュニティと看護」は、地域で生活する人々とその家族を理解し、地域における様々な場での看護の基礎を学び、地域で提供する看護の基礎的な技術を身につけ、多職種と協働する中での看護の役割を理解し、地域の健康課題に取り組む能力を養うための科目として <u>14 科目</u> を配置した。「コミュニティと看護」の科目においては、講義、演習、実習、実習の振り返り演習を体系的に配当している。 (略) また、地域包括ケア時代において、看護師としての役割やチームの一員として他職種の専門性や役割を理解するために「チーム医療論」<u>(追加)</u>を配置した。多様な場で看護を必要とする地域で生活する人々の健康と QOL 向上を踏まえ、地域で療養する人と家族のセルフケア能力の維持・向上のための看護支援方法や地域のヘルスニーズに対応した地域看護活動の展開と実践方法、地域における児童生徒の健康の保持増進、保健管理、保健教育を理解するために「地域包括ケア論Ⅱ（在宅・地域）」「地域包括ケア論Ⅲ（地域・学校）」<u>(追加)</u>を配置し、学んだ知識・技術を看護実践の場で展開するために病院、グループホーム、小規模多機能施設、訪問看護ステーション、地域包括支援センターなどで行われている個人、集団、コミュニティへの支援方法を体験的に学ぶ「地域包括ケア論実習Ⅰ（老年）」「地域包括ケア論実習Ⅱ（在宅）」「地域包括ケア論実習Ⅲ－②（統合：地域）」を配置し、看護師や看護管理者の看
--	--

管理者の看護実践を通して、看護師としての役割やチームの一員として他職種の専門性や役割を理解するために「地域包括ケア論実習Ⅲ－①（統合：管理）」を配置した。 （略） iv) 看護の発展（<u>14</u>科目、必修<u>9</u>単位、選択6単位） 「看護の発展」では、多様化する社会に対応する看護専門職の役割を理解し、看護学の発展を探究する姿勢を養うための科目として <u>14</u>科目を配置した。 （略） また、看護学の発展を探究する能力を培うために「看護研究 <u>I・II・III・IV</u>」を配置した。さらに、学生自身がキャリアデザイン形成につながるができる「キャリアデザインII」科目を配置した。	看護実践を通して、看護師としての役割やチームの一員として他職種の専門性や役割を理解するために「地域包括ケア論実習Ⅲ－①（統合：管理）」を配置した。 （略） iv) 看護の発展（<u>12</u>科目、必修<u>7</u>単位、選択6単位） 「看護の発展」では、多様化する社会に対応する看護専門職の役割を理解し、看護学の発展を探究する姿勢を養うための科目として <u>12</u>科目を配置した。 （略） また、看護学の発展を探究する能力を培うために「看護研究 <u>(追加) III・IV</u>」を配置した。さらに、学生自身がキャリアデザイン形成につながることができる「キャリアデザインII」科目を配置した。
---	---

—審查意見(6月)—95—

(是正事項) 看護学部 看護学科

1. 【全体計画審査意見1の回答について】

新たに示されたカリキュラム・ツリーに関する以下について、明確に説明すること。

(2) 「疾病治療論」に関する科目の配当年次について、「疾病治療論Ⅰ」が2年次前期、「疾病治療論Ⅱ」が1年次後期、「疾病治療論Ⅲ」が2年次後期となっていて、科目のナンバリングと配当年次が逆転しているものがあるため、これらの科目の体系性について明確に説明するか、必要に応じて適切に修正すること。

(対応)

ご指摘を踏まえて、疾病治療論の科目のナンバリングと配当年次が逆転していた科目について、配当年次の順にナンバリングを修正した。

(説明)

次の通り科目名の修正を行い、カリキュラム・ツリーの表記も修正した。

修正前	修正後
「疾病治療論Ⅱ」1年次後期	「疾病治療論Ⅰ」1年次後期
「疾病治療論Ⅰ」2年次前期	「疾病治療論Ⅱ」2年次前期

【資料1：看護学部カリキュラム・ツリー】

(改善事項) 看護学部 看護学科

2. 【全体計画審査意見4の回答について】

養護教諭一種免許状取得に係る科目を、新たにカリキュラム・ツリーや履修モデルに基づき説明されたが、当該課程の必修科目の多くを1名の専任教員が担当する計画であり、過度な負担とならないか懸念がある。また、当該課程を履修する学生の人数制限の有無を含め、周知方法や履修指導等体制が不明確であることから、これらを明確にした上で、教員の負担やそれによる教育効果の最適化について説明すること。

(対応)

ご指摘を踏まえて、担当教員の負担への対応や履修する学生の人数制限などの考え方の説明を追加する。

(説明)

1. 学生への周知方法と履修指導体制について

1) 履修する学生の人数制限の有無について

履修する学生数に制限は設けていない。

2) 履修指導について

選抜方式はとらないが、当該科目を履修するための要件を設定しており、入学時ガイダンスより、意思確認と履修要件の確認を丁寧に行っていく。

学生への周知および履修指導については、担当教員が中心となり、表1に示すとおり、免許取得の機会を逃さないように時期を追って説明を行う。

表1. 養護教諭一種免許状取得希望学生へのガイダンスの時期と履修指導内容

時期	意思確認、要件の確認等の内容	説明対象者と履修指導体制
入学時 ガイダンス	1年次履修登録が必要な科目、卒業に必要な単位数に追加して取得しなければならない科目・単位数及び4年間のカリキュラムを説明する。 履修計画（履修要件含む）・登録状況の確認 ・上位学年の科目には履修要件があり必要な科目の単位取得が求められるなど情報を提供する。	入学生全員 に対して周知する。 (1)養教担当教員が 希望者を把握 し、履修計画を説明する。 (2)養教担当教員は教務部・チューターと連携して履修登録状況を把握し、必要時、該当学生に 確認 を行う。
3年次前期 ガイダンス	意思確認：履修希望の確認 要件：2年次までの養護教諭一種免許状	希望学生 に対して周知する。 養教担当教員は教務部・チューターと

	取得に係る科目及び卒業に必要な科目は全て単位を修得していることを原則とする。	連携して履修登録状況を把握し、必要時、該当学生に 確認 を行う。
3 年次後期 ガイダンス	意思確認：履修希望の確認 要件：3 年前期の養護教諭一種免許状取得に係る科目及び卒業に必要な科目は全て単位を修得していることを原則とする。	希望学生 に対して周知する。 養教担当教員は教務課・チューターと連携して履修登録状況を把握し、必要時、該当学生に 確認 を行う。
4 年次 ガイダンス	意思確認：履修希望の確認 要件：3 年後期の養護教諭一種免許状取得に係る科目及び卒業に必要な科目は全て単位を修得していることを原則とする。	希望学生 に対して周知する。 養教担当教員は教務課・チューターと連携して履修登録状況を把握し、必要時、該当学生に 確認 を行う。
養護教諭一種免許状取得希望者のうち、単位修得ができない不測の事態が発生しても、看護学科の卒業要件となる 132 単位以上の単位を修得していれば、看護師国家試験受験資格は満たす。		

2. 当該課程の必修科目担当教員の負担への対応について

養護教諭一種免許状取得に係る必修科目のうち 3 年次後期以降に開講される科目を履修する学生数が 10 名超と見込まれる場合は、担当補助者を配置し、負担軽減を図る。また、他の教職科目担当の教員（教育学部の教員含め）やキャリア支援センターと情報共有して連携して指導する体制をとることで、担当教員への負担を軽減する。

1) 担当補助者

看護学部として採用する助手 9 名の中で、配置計画を検討する。

2) 補助内容

他科目では担当者（グループ）が行うものであるが、

①授業で使用する教材の準備（配布物の印刷 等）

②提出物の確認（レポート提出のチェック）

③実習施設ごとの学生の配置スケジュールの作成 等を補助する。

科目別補助内容は次の表のとおり

授業科目	配当年次	単位数	授業形態	補助内容
学校保健	3 年前期	2 単位	講義	上記 1) (2) ①②
養護学概説	3 年前期	2 単位	講義(オムニバス)	上記 1) (2) ①②
教職インターンシップ	3 年後期～4 年前期	1 単位	実習	上記 1) (2) ①②③
事前及び事後指導（養護）	4 年通年	2 単位	実習（学内）	上記 1) (2) ①②③
養護実習	4 年通年	2 単位	実習	上記 1) (2) ①②③
教職実践演習	4 年後期	2 単位	演習	上記 1) (2) ①②③

3. 教育効果について

同じ教員が重点的に関わることにより、学生の学修状況に応じて適時学修支援を行うことが容易であるが、複数の教員が関わることで、学生を多方面から支援することができる。担当教員は、他の教職科目担当の教員（教育学部の教員含め）との連携やキャリア支援センターと情報共有し、履修指導方法の工夫について検討する機会を設けて連携して学生と関わることにより教育効果を最適化する。

（新旧対照表）設置の趣旨を記載した書類（P. 59 ページ）

新	旧
P. 59 6-2 履修指導の方法等 2) 入学後の学修支援 (2) 看護学部における学修支援 ① 履修指導方法 入学時には、入学ガイダンスを実施し、カリキュラム編成の考え方、履修方法、学修方法などについて指導し、学生が自身の学修目標に沿った授業科目の履修計画を立てられるように、履修モデルを提示し【資料 38-①：看護師国家試験受験資格履修モデル】、卒業・看護師国家試験受験資格等に必要な科目について理解を促す。（削除） また、学年ごとにガイダンスを行い、学生が自身の学修目標に沿った授業科目の履修計画を立てられるように支援する。各学年のガイダンス内容は以下の通りである。 （ガイダンスの内容） ・ 1 年次から 4 年次までの履修計画の全体像について説明する。 ・ 各年次において必要な履修科目について説明し、履修の指導を行う。 ・ 選択科目の履修の助言を行う。 ・ 実習科目の履修に必要な講義科目、演習科目について説明する。 ・ 看護研究科目の履修方法や取り組みなどを	P. 57 6-2 履修指導の方法等 2) 入学後の学修支援 (2) 看護学部における学修支援 ① 履修指導方法 入学時には、入学ガイダンスを実施し、カリキュラム編成の考え方、履修方法、学修方法などについて指導し、学生が自身の学修目標に沿った授業科目の履修計画を立てられるように、履修モデルを提示し【資料 38-①：看護師国家試験受験資格履修モデル】、卒業・看護師国家試験受験資格等に必要な科目について理解を促す。<u>同時に、養護教諭一種免許状取得についても履修モデル【資料 38-②看護師国家試験受験資格・養護教諭一種免許状取得 履修モデル】を示して、各年度の開講科目や履修登録に係る指導助言をする。</u> また、学年ごとにガイダンスを行い、学生が自身の学修目標に沿った授業科目の履修計画を立てられるように支援する。各学年のガイダンス内容は以下の通りである。 （ガイダンスの内容） ・ 1 年次から 4 年次までの履修計画の全体像について説明する。 ・ 各年次において必要な履修科目について説明し、履修の指導を行う。

説明する。 ・実習科目については、実習前に実習ガイダンスを行う。 ・看護師国家試験と試験準備に必要な学修内容について説明する <u>②養護教諭一種免許状取得を希望する学生への履修指導</u> <u>履修モデル【資料 38－②看護師国家試験受験資格・養護教諭一種免許状取得 履修モデル】を示して、各年度の開講科目や履修登録に係る指導助言をする。</u> <u>ガイダンス時期と内容</u> <u>i 入学時ガイダンス（入学生全員に周知）</u> <u>1 年次履修登録が必要な科目、看護師国家試験受験資格に必要な単位数に追加して取得しなければならない単位数及び 4 年間のカリキュラムを説明する。</u> <u>・養教担当教員が希望者を把握し、履修計画を説明する。</u> <u>・養教担当教員は教務・チューターと連携して履修登録状況を把握し、必要な支援を行う。</u> <u>ii 3 年次前期・3 年次後期・4 年次ガイダンス（希望学生）</u> <u>履修した養護教諭一種免許状取得に係る科目及び卒業に必要な科目は原則全て単位を修得していることを確認する。</u> <u>③ チューター制による個別指導</u> (略) <u>④ 学習支援サポート</u> (略)	・選択科目の履修の助言を行う。 ・実習科目の履修に必要な講義科目、演習科目について説明する。 ・看護研究科目の履修方法や取り組みなどを説明する。 ・実習科目については、実習前に実習ガイダンスを行う。 ・卒業後の看護師国家試験と試験準備に必要な学修内容について説明する <u>② チューター制による個別指導</u> (略) <u>③ 学習支援サポート</u> (略)
--	--

(改善事項) 看護学部 看護学科

3. 【全体計画審査意見9の回答について】

「生活機能支援論Ⅲ－①（急性）」のシラバスの評価方法に、「原則全出席を前提とする。」と記載があり、いわゆる出席点を評価項目としているように誤解を招く可能性があるため、適切に改めること。

(対応)

ご指摘を踏まえ、「生活機能支援論Ⅲ－①（急性）」のシラバスの評価方法に記載の「原則全出席を前提とする。」を削除した。

【資料3：シラバス「生活機能支援論Ⅲ－①（急性）」新・旧】

科目名		生活機能支援論Ⅲ－①（急性）							
科目担当者		○松井幸子、桑原唯							
履修 学年	2 年	期間	後期	必・選 の別	必修	単位数	1	授業 形式	演習
テーマ		救急看護・周術期看護							
授業概要		急性期看護に必要な実践的な援助技術の修得と、周手術期患者の回復援助に必要な看護アセスメント、看護診断の抽出、具体的な援助の立案、退院指導立案までを演習する。手術を受けた患者 2 事例を基に、看護問題を導き適切な看護を展開する能力を身につける。 （オムニバス方式・共同（一部）／全 15 回） （5 松井幸子／7 回） ガイダンス及び事例提示を行う。手術前期の看護、手術期の看護、手術後期の看護及びクリティカルケア（救急看護の特徴・看護師の役割）について学ぶ。事例展開のまとめ及び健康教育・退院指導のパンフレット作成指導について学修する。 （5 松井幸子・30 桑原唯／8 回） 麻酔の知識と手術侵襲メカニズム、救急看護技術演習、技術演習「術直後の全身観察」シミュレーション学修などグループワークにより体験学修を行う。							
到達目標		1. 麻酔の知識と生体に及ぼす影響を説明できる。 2. 周手術期患者の看護問題を抽出し、回復に必要な具体的看護が立案できる。 3. 患者の健康教育・退院指導案が作成できる。 4. 急性期看護に必要な援助技術の知識が事前学習から説明できる。 5. 急性期看護に必要な援助技術がチェックリストの通り実施できる。							
授業計画									
1	テーマ 内容	授業ガイダンス 1) 授業概要（授業の進め方等） 2) 事例提示（呼吸器・消化器機能障害を持つ患者 A・B 氏紹介、術前・術中・術後の経過概要、急性期看護の視点等解説）事例のイメージ化のための視聴覚教材活用 3) グループ編成提示、グループワークの方法、事前学修の提示							
（ 略 ）									
評価方法		定期試験 50 点、事例 50 点（事前学習含む）、両者とも 60%以上の得点で合格とする							
（ 略 ）									
備考									

科目名		生活機能支援論Ⅲ－①（急性）							
科目担当者		○松井幸子、桑原唯							
履修 学年	2 年	期間	後期	必・選 の別	必修	単位数	1	授業 形式	演習
テーマ		救急看護・周術期看護							
授業概要		急性期看護に必要な実践的な援助技術の修得と、周手術期患者の回復援助に必要な看護アセスメント、看護診断の抽出、具体的な援助の立案、退院指導立案までを演習する。手術を受けた患者 2 事例を基に、看護問題を導き適切な看護を展開する能力を身につける。 （オムニバス方式・共同（一部）／全 15 回） （5 松井幸子／7 回） ガイダンス及び事例提示を行う。手術前期の看護、手術期の看護、手術後期の看護及びクリティカルケア（救急看護の特徴・看護師の役割）について学ぶ。事例展開のまとめ及び健康教育・退院指導のパンフレット作成指導について学修する。 （5 松井幸子・30 桑原唯／8 回） 麻酔の知識と手術侵襲メカニズム、救急看護技術演習、技術演習「術直後の全身観察」シミュレーション学修などグループワークにより体験学修を行う。							
到達目標		1. 麻酔の知識と生体に及ぼす影響を説明できる。 2. 周手術期患者の看護問題を抽出し、回復に必要な具体的看護が立案できる。 3. 患者の健康教育・退院指導案が作成できる。 4. 急性期看護に必要な援助技術の知識が事前学習から説明できる。 5. 急性期看護に必要な援助技術がチェックリストの通り実施できる。							
授業計画									
1	テーマ 内容	授業ガイダンス 1) 授業概要（授業の進め方等） 2) 事例提示（呼吸器・消化器機能障害を持つ患者 A・B 氏紹介、術前・術中・術後の経過概要、急性期看護の視点等解説）事例のイメージ化のための視聴覚教材活用 3) グループ編成提示、グループワークの方法、事前学修の提示							
（ 略 ）									
評価方法		原則全出席を前提とする。 定期試験 50 点、事例 50 点（事前学習含む）、両者とも 60%以上の得点で合格とする							
（ 略 ）									
備考									

(是正事項) 看護学部看護学科

4. 【全体計画審査意見 13 の回答について】

高校生を対象とした入学意向調査を新たに実施し、その結果をもって学生確保の見通しを説明しているが、入学定員 80 名に対して、学部への進学を希望する者が計 47 名であり、継続的に学生を確保することができる見込みとなっていないため、客観的根拠に基づき、改めて明確に説明すること。

(回答)

審査意見を踏まえて、令和 3 年 3 月末までの高校生アンケート調査について説明する。さらに入学志願動向および調査結果に基づき、入学定員が確保できる根拠を説明する。

始めに看護学部看護学科への進学意向について実施した調査の概要をまとめると以下の通りとなる。

大阪信愛学院大学（仮称）看護学科看護学科への進学意向

	令和 2 年度 高校生アンケート調査	初夏の 大学見学会	高等学校 訪問調査	併設 高等学校	信愛系列 高等学校
進学を希望する	56	7	13	10	4

令和 2 年度高校生アンケート調査に加えて、イベント参加者の進学意向や高等学校教員から得られた生徒の進学意向、併設高等学校および設立母体と同じ系列高等学校の進学意向から総合的に判断すると、入学定員に照らして本学看護学部看護学科の定員確保は十分に可能であると考ええる。なお高校生アンケート調査以外の進学希望者数は、重複の可能性を避けるため高校生アンケート調査において進学意向があった高等学校の進学希望者数を減じた人数とした。

以下で上記内容の詳細を説明する。

1 令和 2 年度高校生アンケート調査結果

1) 調査の概要

令和 4（2022）年度設置予定の大阪信愛学院大学（仮称）への入学に対する意識調査として、入学定員に照らして、定員が充足する根拠をより明確に示すため、開設初年度受験対象となる現高校生 2 年生の進学意向の状況を把握する必要から、第三者機関によるアンケート調査を実施した。

(1) 調査目的

本調査は、令和 4（2022）年 4 月に開設を計画している学校法人大阪信愛女学院 大阪信愛学院大学（仮称）教育学部教育学科および看護学部看護学科の新設計画に伴い、高校生が期待する教育内容、進学意向等を的確に把握することを調査目的とする。

(2) 調査対象・地域・調査方法

学生確保の見通しを測定するために、高校2年生を対象として、令和2年12月初旬より進学ニーズ調査を実施した。通学可能な関西圏を中心に、既設の短期大学において入学実績のある地域である中四国、九州沖縄、北陸、中部の高等学校、さらに本学と同じキリスト教精神に根ざしたカトリック系高等学校に在籍する高校2年生を対象に教室内調査が実施された。回答者に対して調査票以外に新学部学科に関する内容の周知するリーフレットを提供した。

(3) 実施期間

令和2年12月から令和3年3月

(4) 回収状況

本調査では、高等学校170校に対して合計22,906票のアンケート調査票を学校法人大阪信愛女学院が送付し、162校から合計18,436票の有効回答票を第三者機関が回収することができた。有効回答票の回収率は、80.49%であった。

(5) 調査委託先

調査の客観性を担保する観点から、本調査は第三者機関に委託の上、実施した。委託先は、一般財団法人日本開発構想研究所（東京都港区）である。

2) 調査回答者の状況【資料4-1 p.8-10】

(1) 回答者の性別〔問1〕（単純集計参照）

回答者の「性別」は、「男性」が7,470人（40.8%）、「女性」が10,861人（59.2%）であった。回答者の約6割が「女性」である。

(2) 居住都道府県〔問2〕（単純集計参照）

回答者の「居住都道府県」については、「大阪府」が9,418人（51.3%）と最も多く、次いで「その他」が4,681人（25.5%）、「兵庫県」が1,562人（8.5%）、「奈良県」が1,100人（6.0%）、「京都府」が934人（5.1%）、「滋賀県」が474人（2.6%）、「和歌山県」が188人（1.0%）、の順に続いている。

回答者の「居住都道府県」については、「大阪府」居住者が全体の約半数強を占めている。

(3) 高校卒業後の進路〔問3〕（単純集計参照）

回答者の希望する「高校卒業後の進路」は、「大学進学」が12,216人（66.7%）、「短期大学進学」が832人（4.5%）、「専門学校進学」が3,229人（17.6%）、「就職」が1,487人（8.1%）、「その他」が557人（3.0%）であった。回答者の約3分の2が「大学進学」を希望していた。

3) 大阪信愛学院大学への興味関心・進学意向【資料4-1 p.13-15】

(1) 大阪信愛学院大学への興味関心〔問6〕（単純集計参照）

「大阪信愛学院大学への興味関心」について、「とても興味・関心をもった」が607人（3.9%）、「少し興味・関心を持った」が6,143人（39.1%）、「興味・関心をもたなかった」が8,966人（57.1%）であった。

(2) 大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕（単純集計参照）

「大阪信愛学院大学への進学希望」について、「進学を希望する」が 156 人（1.0%）、「進学先の候補の一つとして考える」が 1,611 人（10.3%）、「進学を希望しない」が 9,864 人（62.8%）、「わからない」が 4,080 人（26.0%）であった。

(3) 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部〔問 8〕（単純集計参照）

「進学を希望する大阪信愛学院大学の学部」は、「教育学部教育学科」が 955 人（5.2%）、「看護学部看護学科」が 731 人（4.0%）であった。

(4) 大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕と進学を希望する学部〔問 8〕のクロス集計【資料 4-1 p.16】

「大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕」と「進学を希望する大阪信愛学院大学の学部〔問 8〕」のクロス集計を行った結果、

問 7 で本学に「進学を希望する」と回答した生徒は、156 人であった。そのうち問 8 で看護学部看護学科に「進学を希望する」と回答した生徒は、56 人であった。

本学を進学希望またはその一つとする生徒を合わせた 1,767 人の内、教育学部教育学科を希望する生徒は 955 人、看護学部看護学科を希望する生徒は 731 人であった。

看護学部看護学科の進学希望者層 731 人の中に「進学先の 1 つとして考えたい」生徒が 675 人存在する。そのうち問 6 で本学に「とても興味・関心をもった」と 136 人が回答している。

これらを踏まえると、本学を進学先の一つと考える生徒には、看護学部で 136 人、入学定員の 2 倍近く本学に対する非常に高い関心層がいるので、56 人に加えてさらなる入学者につながるものと十分考えられる。

大阪信愛学院大学（仮称）看護学部看護学科への進学意向

	令和 2	令和元
進学を希望する	56	83
進学先の一つとして考えたい	675	704
計	731	787

4) 看護学部看護学科への進学希望者が減少した要因

前年の令和元年度当時の高校 2 年生に対して進学意向を調査した際には、本学看護学部看護学科に「進学を希望する」生徒は、83 人であった。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で高等学校の教育活動に影響を及ぼすアンケート調査の実施依頼は困難であり、特に本学が立地する大阪府には調査期間中に緊急事態宣言が発出され、大阪信愛学院に対して認知度の高い近隣の高等学校に調査の協力が得られなかった。このことが「進学を希望する」生徒数の減少の要因であったと考えられる。

令和２年度高校生アンケート調査の対象とならなかった高等学校の令和元年度調査における
看護学部看護学科へ「進学を希望する」人数

	学校数	人数
全体	18	33
大阪府	10	20
大阪府を除く近畿圏	4	5
近畿圏外	4	8

令和元年度高校生アンケート調査では、令和２年度の高校生アンケート調査に含まれない近畿圏の学校【資料４-２】に、看護学部への「進学を希望する」者が25人いた。仮にこの希望者数を令和２年度の調査で「進学を希望する」と回答した人数56人に加えると81人となり、令和元年度調査における進学希望者数とほぼ同数になる。このことから新型コロナウイルス感染拡大の影響が、高校生アンケート調査にも著しく影響を及ぼしたものと考えられる。

２ 本学看護学部看護学科が入学定員を満たす根拠

令和２年度高校生アンケート調査結果から入学定員に照らして本学看護学部看護学科に「進学を希望する」と回答した生徒数は、入学定員80人を満たしていないため、以下に入学定員を満たす根拠を示す。

１) 全国の18歳人口と大学進学率から見た学生の確保の見通し

中央教育審議会将来構想部会によると、2017年度の18歳人口は120万人と、18歳人口が減少する中であって、大学への進学率は上昇しており、18歳人口120万人のうち63万人が大学に入学している【資料４-３】。

大学への進学者数の将来推計について2017年度の大阪府の大学への進学率は、55.3%で、全国平均の52.6%を2.7ポイント上回っている【資料４-４】。また地元の大学に入学する自県進学率をみると、近隣府県より大阪府（57.1%）は高い。

近隣府県である京都府・兵庫県・奈良県の大学進学率は、64.7%・55.0%・57.0%と大阪府の55.3%と同等以上である。大阪府は、大学進学者の府外からの流入者が流出者を上回っており、近隣府県からの入学者も広く期待できる。

2017年に対する2040年の推計大学進学率は、大阪府が55.3%から59.5%へと4.2ポイント上昇すると考えられている。また、いずれの近隣府県の大学進学率推計でも上昇が見込まれている（京都府：9.1%増、兵庫県：2.1%増、奈良県：4.4%増）。

次に進学需要の動向を長期的にみるため、18歳人口の推移を調査した。調査には、文部科学省「学校基本調査」を用いた。この推計人口を進学需要の目安とすれば、全国の18歳推計人口は長期的な減少傾向となる【資料４-５】。しかし、18歳人口を2020年比でみると、全国（10年後（開設8年後）：89.8%）で10%程度の減少にとどまる。近畿圏も全国をやや下回るが、同様に10%程度にとどまる（10年後：88.0%）。また、本学が立地する大阪府も同程度の減少となる（10年後：87.3%）。近隣では奈良県や和歌山県の減少率は全国よりもやや高いが、滋賀県や兵庫県の減少率は全国をやや下回ることが推測されている。そのため、長期的に見ても近畿圏では大学志願者数や入学者数が大きく減少することはないと考えられる。

これら人口及び進学率の推移と既設の大阪信愛学院短期大学における看護専門職育成の実績、

さらに4年制大学の設置による専門性の高い知識と技術の獲得に対するニーズを考え合わせると、学生の確保に繋がるものと考えている。

2) 全国私立大学看護学部・入学状況

日本私立学校振興・共済事業団によれば、全国の私立大学における看護学部の入学志願者数は、増加傾向を辿り平成26年度37,965人に対して令和2年度54,346人と43%増である。看護学部を設置する大学数は、平成26年度の66大学から令和2年度には100大学に増加しているが、入学者の充足率は、102.8%と堅調である。また志願者倍率も約6倍を維持している【資料4-6】。

従って全国的に看護学部の人気は高く、看護学部を設置する大学数の大幅な増加にもかかわらず、入学生を確保している状況である。

3) 近畿圏私立大学看護学部および保健学系看護学科の志願・入学状況

近畿圏6府県に所在する私立大学のうち看護学部もしくは保健学系看護学科を設置する大学は、2020年度39大学ある。そのうち大阪府下に所在する大学は15大学である。入学定員は15大学すべてで本学の入学定員数80人以上であるが、入学者数は15大学すべてで入学定員以上の入学生を確保している【資料4-7】。そのため大阪府下における看護学部及び保健学系看護学科の入学状況は極めて好調といえる。

本学の立地や交通機関の沿線、既設の短期大学への入学生の地域等を勘案して、近隣府県を含めた競合校の状況をさらに分析した。競合校の入学定員充足率は、過去5年単年度で見た場合に3校に100%を下回る年度がある【資料4-8】。しかし100%を下回る場合でもいずれも90%以上であり、入学辞退者等の兼ね合いから生じた状況であると考えられる。過去5年間の平均で定員充足率を見るとすべての競合校で100%以上となっている。また本学と入学定員を比較した場合、すべての競合校が本学の入学定員80人以上であるため、本学が入学定員を充足させることは十分可能と考える。

4) 大阪府における看護師等学校養成所入学状況（大学）

厚生労働省によれば大阪府下看護師養成系の4年制大学の入学状況は極めて好調である。2020年度入学試験の状況で見ると、大阪府では14,533人の受験者に対して合格者3,657人、実質倍率4.0で全国平均よりかなり高い（表1）。そのため本学看護学部の入学定員80人が加わったとしても、進学需要が十二分に存在することは明白である。さらに近隣の京都府、兵庫県、奈良県の受験倍率も3.4～5.0と高倍率であるため、近隣府県からの受験者流入も十分見込める。

表1 看護師等学校養成所入学状況、都道府県別（大学）

	入学試験状況								
	学校数	総定員	1学年定員	応募者数	受験者数	合格者数	倍率	入学者数	充足率
全国	293	100,006	25,048	147,359	135,888	49,683	2.7	25,815	103.1
滋賀県	3	860	210	587	431	284	1.5	210	100.0
京都府	9	2,780	695	6,343	6,165	1,824	3.4	745	107.2
大阪府	18	6,450	1,615	15,431	14,533	3,657	4.0	1,708	105.8
兵庫県	15	5,400	1,350	10,713	10,028	2,935	3.4	1,405	104.1
奈良県	4	1,316	329	4,392	4,335	860	5.0	345	104.9
和歌山県	2	640	170	594	507	267	1.9	185	108.8

（出所：厚生労働省 看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査 令和2（2020）年度より作成）

5) 既設の短期大学看護学科の入学志願状況

既設の短期大学看護学科は、2012年度から10年間2019年度と2020年度の入学生を除き、入学定員を満たしている。近年入学直前に辞退者があることが影響して合格者数から入学者数を予測することが難しい。そのため定員充足率が100%を下回った年が2年あるが、いずれも90%以上であり、志願倍率も2倍前後である。直近10年間の平均入学者数は85.4人と入学定員を上回る状況である（表2）。

大学設置認可申請の結果により既設の短期大学は廃止を前提としていたので、2021年度入学者選抜は実施しない予定であった。そのため2020年度は10月まで短期大学の学生募集広報活動を全く実施していなかった。しかし11月から短期大学の2021年度学生募集広報を開始した。学生募集広報は極めて短期間であったが、12月より入学者選抜を実施した結果、2021年度は90人の入学者を確保した。

表2 既設の短期大学看護学科の入学志願状況

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	平均入学者数
入学定員	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	
志願者数	289	349	249	213	189	241	251	212	178	151	
合格者数	100	102	103	118	106	112	105	106	99	107	
志願倍率	2.9	3.4	2.4	1.8	1.8	2.2	2.4	2.0	1.8	1.4	
入学者数	85	83	83	93	85	93	91	78	73	90	85.4
定員充足率(%)	106.3	103.8	103.8	116.3	106.3	116.3	113.8	97.5	91.3%	112.5	

6) 大阪府在住高校生の回答結果による看護学部看護学科への進学希望者推計

高校生アンケート調査は、全数ではなくサンプル調査であることを踏まえて、上述の高校生アンケート調査回答者では、本学看護学部「進学を希望する」56人のうち、大阪府在住者が42人（75%）と最も多い【資料4-1 p.16】。

多くの大学では看護学部学生の男女比に差がある。そこで大阪府に在住する本調査回答者9,418人（51.1%）のうち、看護学部看護学科への「進学を希望する」42人の回答から、男女別の標本比率をもとに信頼区間95%で母比率の推定を行って「進学を希望する」人数を推計した。

	計	男	女	無回答
大阪府在住の回答者	9,418	4,126	5,275	17
看護学部への進学希望者	42	9	33	0

文部科学省の令和2年度学校基本調査によれば、大阪府の高校2年生は、男子35,123人、女子35,469人である【資料4-9】。また同じく令和2年度学校基本調査によれば、大阪府の男子の大学進学率は58.91%、女子の大学進学率は54.05%である。推計にあたって母集団を小さくすることで誤差は小さく信頼性は高まることから母集団を以下に絞ることとする。まず前述の進学率で高校2年生の大学進学者数を絞ると、大阪府の高校2年生の大学進学者は男子20,690人、女子19,170人となる。さらに本調査の対象となった大阪府公立高等学校は、偏差値57を上限【資料4-10】としていることから上位25%の高校生は除外することで大学進学者は、男子15,517人、女子14,377人となり、これを母集団とする。

上記サンプル調査結果に基づいて、大阪信愛学院大学（仮称）看護学部看護学科への「進学を希望する」人数を、男女別に前述の大学進学者を母集団として母比率の推定（信頼区間95%）から算出した。

	下限	上限
男	16	65
女	63	126
計	79	191

※小数点以下切り捨て

本学看護学部看護学科に「進学を希望する」生徒は、男女計から大阪府に在住する高校生のみで下限79人、上限191人と推計される。高校生アンケート調査結果では大阪府外に在住し本学看護学部「進学を希望する」生徒が10人以上いるので、看護学部「進学を希望する」生徒が推計値の下限の人数であっても入学定員を満たすことになる。

以上の推計から判断すると、入学定員に照らして本学看護学部看護学科の定員確保は十分に可能であることを示している。

7) 学生募集広報活動における近況

(1) 資料請求者数

2022年度卒の現高校3年生は、本学に対して2021年1月から5月までに実数で1,167人が資料請求している。資料請求者の内訳を見ると看護学部志望者448人に加えて、学部学科未定者が

457人おり、本学に対する関心は非常に高いもの考える。

(2) 来校型大学見学会

本学が所在する大阪府には新型コロナウイルス感染拡大から令和3年4月25日より緊急事態宣言が発出されたが、それ以前より感染防止の観点から事前予約制で対象を現高校3年生限定（含既卒生）でかつ人数制限した来校型大学見学会を実施している。

春のキャンパス見学会（令和3年3月23日～30日）には看護学部にて7日間で述べ42人枠に38人の参加者があった。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも、本学看護学部が開催するイベントには高校生から非常に高い関心があり、参加者数は極めて好調であることから大いに学生確保に結びつくものと考えている。

また初夏のキャンパス見学会（令和3年6月5日・12日）では看護学部にて2日間で述べ24人枠に24人の参加申込者があり、23人の参加者があった。その参加者に本学看護学部への進学意向をアンケート調査し、21人から回答を得た。参加者の在籍校には高校生アンケート調査回答の高等学校8校が含まれるため、対象となった高等学校から進学意向のあった2校3人を除くと、少なくとも7人の進学希望者がいる結果となった。またこの参加者には「受験を検討し、合格なら入学する」回答者が7人いるので、入学につながる候補生徒として期待できる。

大阪信愛学院大学（仮称）看護学部看護学科への進学意向

	人数
受験し、合格なら入学する	10
受験を検討し、合格なら入学する	7
受験を検討する	3
わからない	1
計	21

8) 高等学校訪問調査による進学意向

学生確保の見通しをさらに明確に示すため、本学看護学部に対する進学意向を既設の短期大学に入学実績のある高等学校から聞き取り調査を実施した。

実施期間：令和3年6月9日（水）～6月15日（火）

調査対象：既設の短期大学に入学実績のある大阪府および兵庫県の高等学校20校【資料4-11】

調査方法：訪問面接調査

聴取対象：進路指導担当者

大阪信愛学院大学（仮称）看護学部看護学科への進学意向

	人数
専願で受験する	17～32

大学開設年度に進学対象となる高校3年生で、本学看護学部にて「専願」で受験を希望する者は、

20 校中下限で 17 人であった。高等学校により本学看護学部「専願」で受験を希望する人数を「1～2 人」「2～3 人」と幅を持った回答があったため、「専願」受験希望者の合計は最少 17 人から最多 32 人となり、上記表においては「17～32」とした。また「専願」受験希望者が不明の場合は、0 人で計算した。本調査では、令和 2 年度の高校生アンケート調査対象校が 18 校含まれており、その調査で本学看護学部「進学を希望する」回答者が 2 校 3 人含まれている。また初夏の大学見学会に参加した生徒が 1 校 1 人含まれている。そのため重複の可能性を考慮すると、「進学を希望する」者は少なくとも 13 人となる。

また複数の学校の受験を検討している生徒がおり、既設の短期大学における入学実績から認知度があること、交通機関の沿線で通学が便利であることなどがその理由としてあげられている。そのため調査対象校の進路指導担当者からは高い関心と期待を抱かれているものとする。

9) 併設高等学校における看護学部への進学希望者

併設の大阪信愛学院高等学校では、令和 3 年 6 月 7 日～11 日に生徒と学級担任との進路懇談が実施された。進路希望調査が行われ、その結果 3 年生において本学看護学部への「進学を希望する」者は、12 人であった。令和 2 年度高校生アンケート調査では、併設高等学校から本学看護学部へ進学を希望する生徒は 2 人であったので、「進学を希望する」者は 10 人になる。

併設高等学校の大阪信愛学院大学（仮称）看護学部看護学科への進学意向

	人数
進学を希望する	12
進学先の一つと考える	10

10) 設立母体と同じ信愛系列高等学校における看護学部への進学意向

学校法人大阪信愛女学院と同じ設立母体の系列高等学校が和歌山、久留米、熊本に合わせて 3 校ある【資料 4-12】。これらの高等学校は併設大学および短期大学に看護学部を設置していない。それを踏まえて令和 3 年 6 月 11 日～15 日、本学看護学部への進学希望者を調査し進路指導担当者から回答を得た。その結果 3 年生において本学看護学部へ「進学を希望する」者は 4 名であった。令和 2 年度高校生アンケート調査では、系列高等学校から本学看護学部へ進学を希望する生徒はいなかったため、「進学を希望する」者は 4 人になる。

信愛系列高等学校の大阪信愛学院大学（仮称）看護学部看護学科への進学意向

	人数
進学を希望する	4
進学先の一つと考える	16

(新旧対照表) 学生の確保の見通し等を記載した書類 (13 ページ)

新	旧
P. 13 <u>M (削除)</u> <u>M 令和 2 年度第三者機関による高校生アンケート調査</u> <u>(ア) 調査の概要</u> (略) ii 調査対象・地域・調査方法 学生確保の見通しを測定するために、高校 2 年生を対象として、令和 2 年 12 月初旬より進学ニーズ調査を実施した。通学可能な関西圏を中心に、既設の短期大学において入学実績のある地域である中四国、九州沖縄、北陸、中部の高等学校、さらに本学と同じキリスト教精神に根ざしたカトリック系高等学校に在籍する現役高校 2 年生を対象に教室内調査が実施された【資料 20】。回答者に対して調査票以外に新学部学科に関する内容の周知するリーフレットを提供した【資料 21】。 iii 実施期間 令和 2 年 12 月から令和 3 年 3 月 <u>(削除)</u> iv 回収状況 本調査では、高等学校 <u>170</u> 校に対して合計 <u>22,906</u> 票のアンケート調査票を学校法人大阪信愛女学院が送付し、<u>162</u> 校から合計 <u>18,436</u> 票の有効回答票を第三者機関が回収することができた。有効回答票の回収率は、<u>80.49%</u>であった。	P. 12 <u>M 第三者機関による高校生アンケート調査 大阪府下高等学校抽出</u> <u>N 第三者機関による令和 2 年度高校生アンケート調査</u> 調査の概要 (略) ii 調査対象・地域・調査方法 学生確保の見通しを測定するために、高校 2 年生を対象として、令和 2 年 12 月初旬より進学ニーズ調査を実施した。通学可能な関西圏を中心に、既設の短期大学において入学実績のある地域である中四国、九州沖縄、北陸、中部の高等学校、さらに本学と同じキリスト教精神に根ざしたカトリック系高等学校に在籍する現役高校 2 年生を対象に教室内調査が実施された【資料 22】。回答者に対して調査票以外に新学部学科に関する内容の周知するリーフレットを提供した【資料 23】。 iii 実施期間 令和 2 年 12 月から令和 3 年 <u>2 月に調査を実施した。集計結果は、令和 3 年 3 月 4 日現在である。</u> iv 回収状況 本調査では、高等学校 <u>130</u> 校に対して合計 <u>17,420</u> 票のアンケート調査票を学校法人大阪信愛女学院が送付し、<u>108</u> 校から合計 <u>13,633</u> 票の有効回答票を第三者機関が回収することができた。有効回答票の回収率は、<u>78.26%</u>であった。

<u>(削除)</u> v 調査委託先 (略) (イ) 調査項目別結果の概要【資料 20】 i 回答者の性別〔問 1〕(単純集計参照) 回答者の「性別」は、「男性」が <u>7,470 人 (40.8%)</u>、「女性」が <u>10,861 人 (59.2%)</u> であった。回答者の約 6 割が「女性」である。 ii <u>居住都道府県〔問 2〕(単純集計参照)</u> <u>回答者の「居住都道府県」については、「大阪府」が 9,418 人 (51.3%) と最も多く、次いで「その他」が 4,681 人 (25.5%)、「兵庫県」が 1,562 人 (8.5%)、「奈良県」が 1,100 人 (6.0%)、「京都府」が 934 人 (5.1%)、「滋賀県」が 474 人 (2.6%)、「和歌山県」が 188 人 (1.0%)、の順に続いている。</u> <u>回答者の「居住都道府県」については、「大阪府」が全体の約半数強を占めている。</u> iii <u>高校卒業後の希望進路〔問 3〕(単純集計参照)</u> <u>回答者の「高校卒業後の希望進路」については、「大学」が 12,216 人 (66.7%) と最も多く、次いで「専門学校」が 3,229 人 (17.6%)、「就職」が 1487 人 (8.1%)、「短期大学」が 832 人 (4.5%)、「その他」が 557 人 (3.0%)、の順となった。</u>	<u>本学が立地する大阪府および近隣の京都府、兵庫県は、令和 3 年 1 月より 2 月末まで緊急事態宣言が発出されていた。そのため配布したアンケート調査票の回収が大幅に遅れている。令和 3 年 3 月末を目処に未回収の調査票を回収できる予定である。</u> v 調査委託先 (略) (イ) 調査項目別結果の概要【資料 22】 i 回答者の性別〔問 1〕(単純集計参照) 回答者の「性別」は、「男性」が <u>5,520 人 (40.7%)</u>、「女性」が <u>8,035 人 (59.3%)</u> であった。回答者の約 6 割が「女性」である。 <u>(追加)</u> ii <u>高校卒業後の進路〔問 3〕(単純集計参照)</u> <u>回答者の希望する「高校卒業後の進路」は、「大学進学」が 9,032 人 (66.7%)、「短期大学進学」が 611 人 (4.5%)、「専門学校進学」が 2,447 人 (18.1%)、「就職」が 1,028 人 (7.6%)、「その他」が 432 人 (3.2%) であった。回答者の約 3</u>
--	---

<u>回答者の約 7 割弱が「大学」への進学を希望していることがわかった。</u> (ウ) 大阪信愛学院大学への興味関心・進学意向 <u>【資料 20】</u> i 大阪信愛学院大学への興味関心〔問 6〕(単純集計参照) <u>回答者に「大阪信愛学院大学への興味・関心」について伺ったところ、「とても興味・関心をもった」が 607 人 (3.9%)、「少し興味・関心をもった」が 6,143 人 (39.1%)、「興味・関心をもたなかった」が 8,966 人 (57.1%)、となった。</u> <u>「大阪信愛学院大学への興味・関心」については、回答者の約 4 割強が大阪信愛学院大学に何らかの興味を持っていることがわかった。</u> ii 大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕(単純集計参照) <u>回答者に「大阪信愛学院大学への進学希望」について伺ったところ、「進学を希望する」が 156 人 (1.0%)、「進学先の 1 つとして考えたい」が 1,611 人 (10.3%)、「進学を希望しない」が 9,864 人 (62.8%)、「わからない」が 4,080 人 (26.0%)、となった。</u> iii 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部〔問 8〕(単純集計参照) <u>回答者に「進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科」について伺ったところ、「教育学部教育学科」が 955 人 (56.6%)、「看護学部看護学科」が 731 人 (43.4%)、となった。</u> iv 大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕と進学を希望する学部〔問 8〕のクロス集計 <u>「大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕」と「進</u>	<u>分の 2 が「大学進学」を希望していた。</u> (ウ) 大阪信愛学院大学への興味関心・進学意向 <u>【資料 22】</u> i 大阪信愛学院大学への興味関心〔問 6〕(単純集計参照) <u>「大阪信愛学院大学への興味関心」について、「とても興味・関心をもった」が 456 人 (3.9%)、「少し興味・関心を持った」が 4,517 人 (38.7%)、「興味・関心をもたなかった」が 6,705 人 (57.4%) であった。</u> <u>(追加)</u> ii 大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕(単純集計参照) <u>「大阪信愛学院大学への進学希望」について、「進学を希望する」が 133 人 (1.1%)、「進学先の候補の一つとして考える」が 1,271 人 (10.9%)、「進学を希望しない」が 7,172 人 (61.4%)、「わからない」が 3,097 人 (26.5%) であった。</u> iii 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部〔問 8〕(単純集計参照) <u>「進学を希望する大阪信愛学院大学の学部」は、「教育学部教育学科」が 742 人 (55.3%)、「看護学部看護学科」が 600 人 (44.7%) であった。</u> iv 大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕と進学を希望する学部〔問 8〕のクロス集計 <u>「大阪信愛学院大学への進学希望〔問 7〕」と「進学を希望する大阪信愛学院大学の学部〔問</u>
---	---

学を希望する大阪信愛学院大学の学部〔問 8〕のクロス集計を行い、集計結果を学部ごとに見ていくと以下の結果を得ることができた。

問 7 で本学に「進学を希望する」と回答した生徒は、156 人であった。そのうち問 8 で教育学部教育学科に「進学を希望する」と回答した生徒は、84 人、(削除)看護学部看護学科に「進学を希望する」と回答した生徒は、56 人であった。

本学を進学希望またはその一つとする生徒を合わせた 1,767 人の内、教育学部教育学科を希望する生徒は 955 人、看護学部看護学科を希望する生徒は 731 人であった。

教育学部教育学科の進学希望者層 955 人の中で、「進学先の 1 つとして考えたい」871 人のうち、問 6 で本学に「とても興味・関心をもった」と 142 人が回答している。また看護学部看護学科の進学希望者層 731 人の中では、「進学先の 1 つとして考えたい」675 人のうち、問 6 で本学に「とても興味・関心をもった」と 136 名が回答している。

以上から本学教育学部教育学科に「進学を希望する」と回答した生徒は 84 人いるため、その生徒のみで入学定員に照らして定員を満たすことになる。加えて受験し入学につながる関心の高い生徒が 142 人と入学定員の 2 倍弱いるため、さらなる上乗せは十分に期待できる。

高校生アンケート調査結果から入学定員に照らして本学看護学部看護学科に「進学を希望する」と回答した生徒数は 56 名であったが、前年の令和元年度当時の高校 2 年生に対して進学意向を調査した際には、本学看護学部看護学科に「進学を希望する」生徒は、83 人であった。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で高等学校の教育活動に影響を及ぼすアンケート調査の実施依頼は困難であり、特に本学が立地す

8]」のクロス集計を行い、集計結果を学部ごとに見ていくと以下の結果を得ることができた。

問 7 で本学に「進学を希望する」と回答した生徒は、133 人であった。そのうち問 8 で教育学部教育学科に「進学を希望する」と回答した生徒は、71 人であった。また問 7 で本学に「進学を希望する」と回答した生徒 133 人のうち、問 8 で看護学部看護学科に「進学を希望する」と回答した生徒は、47 人であった。

本学を進学希望またはその一つとする生徒を合わせた 1,404 人の内、教育学部教育学科を希望する生徒は 742 人、看護学部看護学科を希望する生徒は 600 人であった。

教育学部教育学科の進学希望者層 742 人の中で、「進学先の 1 つとして考えたい」671 人のうち、問 6 で本学に「とても興味・関心をもった」と 101 人が回答している。また看護学部看護学科の進学希望者層 600 人の中では、「進学先の 1 つとして考えたい」553 人のうち、問 6 で本学に「とても興味・関心をもった」と 107 名が回答している。

これらを踏まえると、本学を進学先の一つと考える生徒には、教育学部で 101 人、看護学部 107 人、本学に対する高い関心層がいるので、さらなる入学者につながるものと考えられる。

さらに上述の本学教育学部に「進学を希望する」71 人のうち、57 人 (80%) が、また本学看護学部看護学科に「進学を希望する」47 人のうち、43 人 (91%) が大阪府内在住である。

そこで大阪府内の本調査回答者 8,803 人のうち、教育学部教育学科に「進学を希望する」57 人 (0.647%〔教育学部教育学科進学希望率〕)、看護学部看護学科への「進学を希望する」43 人 (0.488%〔看護学部看護学科進学希望率〕) の回答から、この標本比率をもとに信頼区間 95%で母比率の推定を行って、大阪府内の「進学を希望

る大阪府には調査期間中に緊急事態宣言が発出され、大阪信愛学院に対して認知度の高い近隣の高等学校に調査の協力が得られなかった。このことが「進学を希望する」生徒数の減少の要因であったと考えられる。

令和元年度高校生アンケート調査では、令和2年度の高校生アンケート調査に含まれない近畿圏の学校に、看護学部への「進学を希望する」者が25人いた。仮にこの希望者数を令和2年度の調査で「進学を希望する」と回答した人数56人に加えると81人となり、令和元年度調査における進学希望者数とほぼ同数になる。このことから新型コロナウイルス感染拡大の影響が、高校生アンケート調査にも著しく影響を及ぼしたものと考えられる。

令和2年度高校生アンケート調査の対象とならなかった高等学校の令和元年度調査における看護学部看護学科へ「進学を希望する」人数

	学校数	人数
全体	18	33
大阪府	10	20
大阪府を除く近畿圏	4	5
近畿圏外	4	8

N 看護学部看護学科の学生の確保の見通しの根拠

(1) 近畿圏私立大学看護学部および保健学系看護学科の志願・入学状況

近畿圏6府県に所在する私立大学のうち看護学部もしくは保健学系看護学科を設置する大学は、2020年度39大学ある。そのうち大阪府下に所在する大学は15大学である。入学定員は15大学すべてで本学の入学定員数80名以上であるが、入学者数は15大学すべてで入学定員以上の入学生を確保している【資料22】。そのため大阪府下における看護学部及び保健学系看護学科の

する」人数を推計する。

大学開設時の受験対象者となる2021年度大阪府の18歳人口は、79,549人である【資料24】。大阪府の大学進学率の残留率は2019年56.4%であることから44,865人の地元大学進学者が推計される。さらに本調査の対象となった大阪府下の高校は、偏差値57を上限としていることから上位25%の高校生は除外する(母集団を小さくすることで誤差は小さく信頼性は高まる)ことで大学進学者は33,649人となる。

上記サンプル調査結果に基づいて、大阪信愛学院大学(仮称)教育学部教育学科への「進学を希望する」人数を、上述の自(府)県進学者33,649人を母集団として母比率の推定(信頼区間95%)から算出すると、下限で161人、上限で271人と推計される。また大阪信愛学院大学(仮称)看護学部看護学科への「進学を希望する」人数を、上述の自(府)県進学者33,649人を母集団として母比率の推定(信頼区間95%)から算出すると、下限で117人、上限で213人と推計される。

以上の推計から判断すると、入学定員に照らして入学定員確保は十分に可能であると推定される。

(追加)

入学状況は極めて好調といえる。

本学の立地や交通機関の沿線、既設の短期大学への入学生の地域等を勘案して、近隣府県を含めた競合校の状況をさらに分析した。競合校の入学定員充足率は、過去5年単年度で見た場合に3校に100%を下回る年度がある【資料23】。しかし100%を下回る場合でもいずれも90%以上であり、入学辞退者等の兼ね合いから生じた状況であると考えられる。過去5年間の平均で定員充足率を見るとすべての競合校で100%以上となっている。また本学と入学定員を比較した場合、すべての競合校が本学の入学定員80人以上であるため、本学が入学定員を充足させることは十分可能と考える。

(2) 大阪府における看護師等学校養成所入学状況（大学）

厚生労働省によれば大阪府下看護師養成系の4年制大学の入学状況は極めて好調である。2020年度入学試験の状況で見ると、大阪府では14,533人の受験者に対して合格者3,657人、実質倍率4.0で全国平均よりかなり高い（表1）。そのため本学看護学部の入学定員80名が加わったとしても、進学需要が十二分に存在することは明白である。さらに近隣の京都府、兵庫県、奈良県の受験倍率も3.4～5.0と高倍率であるため、近隣府県からの受験者流入も十分見込める。

表1 看護師等学校養成所入学状況、都道府県別（大学）

	入学試験状況 [※]							
	学校数 [※]	総定員 [※]	1学年定員 [※]	応募者数 [※]	受験者数 [※]	合格者数 [※]	倍率 [※]	入学者数 [※]
全国 [※]	293 [※]	100,008 [※]	25,043 [※]	147,359 [※]	135,883 [※]	49,883 [※]	2.7 [※]	25,815 [※]
滋賀県 [※]	3 [※]	880 [※]	210 [※]	587 [※]	431 [※]	284 [※]	1.5 [※]	210 [※]
京都府 [※]	9 [※]	2,780 [※]	885 [※]	8,343 [※]	8,185 [※]	1,824 [※]	3.4 [※]	745 [※]
大阪府 [※]	18 [※]	8,450 [※]	1,615 [※]	15,431 [※]	14,533 [※]	3,657 [※]	4.0 [※]	1,708 [※]
兵庫県 [※]	15 [※]	5,400 [※]	1,360 [※]	10,713 [※]	10,023 [※]	2,935 [※]	3.4 [※]	1,405 [※]
奈良県 [※]	4 [※]	1,318 [※]	329 [※]	4,392 [※]	4,335 [※]	880 [※]	5.0 [※]	345 [※]
和歌山県 [※]	2 [※]	840 [※]	170 [※]	594 [※]	507 [※]	287 [※]	1.9 [※]	185 [※]

（出所：厚生労働省「看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査 令和2（2020）年度より作成」[※]）

(3) 既設の短期大学看護学科の入学志願状況

既設の短期大学看護学科は、2012年度から10年間2019年度と2020年度の入学生を除き、入学

定員を満たしている。近年入学直前に辞退者があ
ることが影響して合格者数から入学者数を予測
することが難しい。そのため定員充足率が 100%
を下回った年が 2 年あるが、いずれも 90%以上
であり、志願倍率も 2 倍前後である。直近 10 年
間の平均入学者数は 85.4 人と入学定員を上回る
状況である（表 2）。

大学設置認可申請の結果により既設の短期大
学は廃止を前提としていたので、2021 年度入学
者選抜は実施しない予定であった。そのため
2020 年度は 10 月まで短期大学の学生募集広報活
動を全く実施していなかった。しかし 11 月から
短期大学の 2021 年度学生募集広報を開始した。
学生募集広報は極めて短期間であったが、12 月
より入学者選抜を実施した結果、2021 年度は 90
人の入学者を確保した。

表 2 既設の短期大学看護学科の入学志願状況

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	平均 入学者数
入学定員	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80
志願者数	209	349	249	213	189	241	251	212	178	151	
合格者数	100	102	103	118	106	112	105	106	99	107	
志願倍率	2.9	3.4	2.4	1.8	1.8	2.2	2.4	2.0	1.8	1.4	
入学者数	85	88	88	93	85	89	91	78	79	90	85.4
定員 充足率(%)	106.3	108.8	108.8	116.3	106.3	116.3	113.8	97.5	91.3	112.5	

(4) 大阪府在住高校生の回答結果による看護学部 看護学科への進学希望者推計

高校生アンケート調査は、全数ではなくサンプ
ル調査であることを踏まえて、上述の高校生アン
ケート調査回答者では、本学看護学部「進学を
希望する」56 人のうち、大阪府在住者が 42 人
(75%) と最も多い【資料 20 p.16】。

多くの大学では看護学部学生の男女比に差があ
る。そこで大阪府に在住する本調査回答者 9,418
人 (51.1%) のうち、看護学部看護学科への「進
学を希望する」42 人の回答から、男女別の標本
比率をもとに信頼区間 95%で母比率の推定を行
って「進学を希望する」人数を推計した。

	計	男	女	無回答
大阪府在住の回答者	9,418	4,126	5,275	17
看護学部への進学希望者	42	9	33	0

文部科学省の令和 2 年度学校基本調査によれば、大阪府の高校 2 年生は、男子 35,123 人、女子 35,469 人である【資料 24】。また同じく令和 2 年度学校基本調査によれば、大阪府の男子の大学進学率は 58.91%、女子の大学進学率は 54.05% である。推計にあたって母集団を小さくすることで誤差は小さく信頼性は高まることから母集団を以下に絞ることとする。まず前述の進学率で高校 2 年生の大学進学者数を絞ると、大阪府の高校 2 年生の大学進学者は男子 20,690 人、女子 19,170 人となる。さらに本調査の対象となった大阪府公立高等学校は、偏差値 57 を上限【資料 25】としていることから上位 25%の高校生は除外することで大学進学者は、男子 15,517 人、女子 14,377 人となり、これを母集団とする。

上記サンプル調査結果に基づいて、大阪信愛学院大学（仮称）看護学部看護学科への「進学を希望する」人数を、男女別に前述の大学進学者を母集団として母比率の推定（信頼区間 95%）から算出した。

	下限	上限
男	16	65
女	63	126
計	79	191

※小数点以下切り捨て

本学看護学部看護学科に「進学を希望する」生徒は、男女計から大阪府に在住する高校生のみで下限 79 人、上限 191 人と推計される。高校生アンケート調査結果では大阪府外に在住し本学看護学部「進学を希望する」生徒が 10 人以上いるので、看護学部「進学を希望する」生徒が推計値の下限の人数であっても入学定員を満たすことになる。

以上の推計から判断すると、入学定員に照らして本学看護学部看護学科の定員確保は十分に可能であることを示している。

(5) 来校型大学見学会参加者の状況と看護学部への進学意向

本学が所在する大阪府には新型コロナウイルス感染拡大から令和3年4月25日より緊急事態宣言が発出されたが、それ以前より感染防止の観点から事前予約制で対象を現高校3年生限定(含既卒生)でかつ人数制限した来校型大学見学会を実施した。

春のキャンパス見学会(令和3年3月23日～30日)には看護学部にて7日間で述べ42人枠に38人の参加者があった。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも、本学看護学部が開催するイベントには高校生から非常に高い関心があり、参加者数は極めて好調であることから大いに学生確保に結びつくものとする。

また初夏のキャンパス見学会(令和3年6月5日・12日)では看護学部にて2日間で述べ24人枠に24人の参加申込者があり、23人の参加者があった。その参加者に本学看護学部への進学意向をアンケート調査し、21人から回答を得た。参加者の在籍校には受容性調査回答の高等学校8校が含まれるため、対象となった高等学校から進学意向のあった2校3人を除くと、少なくとも7人の進学希望者がいる結果となった。またこの参加者には「受験を検討し、合格なら入学する」回答者が7名いるので、入学につながる候補生徒として期待できる。

大阪信愛学院大学(仮称)看護学部看護学科への進学意向

	人数
受験し、合格なら入学する	10
受験を検討し、合格なら入学する	7
受験を検討する	3
わからない	1
計	21

(6) 高等学校訪問調査による進学意向

学生確保の見通しをさらに明確に示すため、本学看護学部に対する進学意向を既設の短期大学で入学実績のある高等学校から聞き取り調査した。

実施期間：令和3年6月9日（水）～6月15日（火）

調査対象：既設の短期大学で入学実績のある大阪府および兵庫県の高等学校20校【資料26】

調査方法：訪問面接調査

聴取対象：進路指導担当者

大阪信愛学院大学（仮称）看護学部看護学科への進学意向

	人数
専願で受験する	17～32

大学開設年度に進学対象となる高校3年生で、本学看護学部「専願」で受験を希望する者は、20校中下限で17人であった。高等学校により本学看護学部「専願」で受験を希望する人数を「1～2人」「2～3人」と幅を持った回答があったため、「専願」受験希望者の合計は最少17人から最多32人となり、上記表においては「17～32」とした。また「専願」受験希望者が不明の場合は、0人で計算した。本調査では、令和2年度の高校生アンケート調査対象校が18校含まれており、その調査で本学に「進学を希望する」回答者が2校3人含まれている。また初夏の大学見学会に参加した生徒が1校1人含まれている。そのため重複の可能性を考慮すると、「進学を希望する」者は少なくとも13人となる。

また複数の学校の受験を検討している生徒がおり、既設の短期大学における入学実績から認知度があること、交通機関の沿線で通学が便利であることなどがその理由としてあげられている。そのため調査対象校の進路指導担当者からは高い

関心と期待を抱かれているものとする。

(7) 併設高等学校における看護学部への進学希望者

併設の大阪信愛学院高等学校では、令和3年6月7日～11日に生徒と学級担任との進路懇談が実施された。進路希望調査が行われ、その結果3年生において本学看護学部への「進学を希望する」者は、12人であった。令和2年度高校生アンケート調査では、併設高等学校から本学看護学部へ進学を希望する生徒は2人であったので、「進学を希望する」者は10人になる。

併設高等学校の大阪信愛学院大学（仮称）看護学部
看護学科への進学意向

	人数
進学を希望する	12
進学先の一つと考える	10

(8) 設立母体が同じ信愛系列高等学校における看護学部への進学意向

学校法人大阪信愛女学院と同じ設立母体の系列高等学校が和歌山、久留米、熊本に合わせて3校ある【資料27】。これらの高等学校は併設大学および短期大学に看護学部を設置していない。それを踏まえて令和3年6月11日～15日、本学看護学部への進学希望者を調査し進路指導担当者から回答を得た。その結果3年生において本学看護学部へ「進学を希望する」者は4名であった。令和2年度高校生アンケート調査では、系列高等学校から本学看護学部へ進学を希望する生徒はいなかったため、「進学を希望する」者は4人になる。

信愛系列高等学校の大阪信愛学院大学（仮称）看護学部看護学科への進学意向

	人数
進学を希望する	4
進学先の一つと考える	16

(9) 看護学部看護学科への進学意向の総括

看護学部看護学科への進学意向について実施した調査の概要をまとめると以下の通りとなる。

大阪信愛学院大学（仮称）看護学科看護学科への進学意向

[※]	令和２年度 高校生アンケート調査 [※]	初夏の [※] 大学見学会 [※]	高等学校 [※] 訪問調査 [※]	併設 [※] 高等学校 [※]	信愛系列 [※] 高等学校 [※]
進学を希望する [※]	58 [※]	7 [※]	13 [※]	10 [※]	4 [※]

令和２年度高校生アンケート調査に加えて、イベント参加者の進学意向や高等学校教員から得られた生徒の進学意向、併設高等学校および信愛系列高等学校の進学意向から総合的に判断すると、入学定員に照らして本学看護学部看護学科の定員確保は十分に可能であると考える。

学校法人大阪信愛女学院における大阪信愛学院大学の設置に係る
高校生アンケート調査結果報告書

令和3年4月
一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

1. アンケート調査の概要.....	1
1. 1. 調査目的	1
1. 2. 調査対象	1
1. 3. 実施時期	1
1. 4. 調査票回収状況	1
1. 5. 調査票発送・回収高等学校一覧	2
2. 調査結果要旨.....	7
3. アンケート調査結果.....	8
3. 1. 単純集計	8
3. 2. クロス集計	16
3. 3. 自由回答	20
4. アンケート調査票.....	29

1. アンケート調査の概要

1. 1. 調査目的

学校法人大阪信愛女学院が令和4年4月に開設を予定している大阪信愛学院大学に関して、高校生が期待する教育内容、進学意向等を的確に把握することを調査目的とする。

1. 2. 調査対象

大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・滋賀県・和歌山県の近畿圏2府4県を中心に、大阪信愛学院大学の母体となる大阪信愛学院短期大学への進学実績のある高等学校が所在する地域も含め、合計170校に在籍する高校2年生を対象にアンケート調査を実施した。

アンケート調査の実施に当たっては、学校法人大阪信愛女学院が990校のリストアップを行い、そのうちアンケート実施の承諾を得られた170校宛に学校法人大阪信愛女学院がアンケート調査票を送付した。その後、当研究所が実施高等学校162校よりアンケート調査票を回収し、集計分析を行った。

1. 3. 実施時期

令和2年12月から令和3年3月にかけて調査を実施した。

1. 4. 調査票回収状況

本調査では、高等学校170校に対して合計22,906票のアンケート調査票を学校法人大阪信愛女学院が送付した。その結果、162校から合計18,436票の有効回答票を回収することができた。有効回答票の回収率は、80.49%であった。

1. 5. 調査票発送・回収高等学校一覧

No	道府県	高等学校名	調査票 発送枚数	調査票 回収枚数	回収日
1	大阪府	上宮太子高等学校	40	39	12. 23
2	大阪府	清明学院高等学校	25	20	12. 24
3	大阪府	城南学園高等学校	19	19	2. 8
4	大阪府	香里ヌヴェール学院高等学校	175	131	12. 18
5	大阪府	好文学園女子高等学校	120	84	1. 15
6	大阪府	金光藤蔭高等学校	100	100	12. 21
7	大阪府	梅花高等学校	110	98	12. 7
8	大阪府	常翔啓光学園高等学校	84	79	12. 17
9	大阪府	大阪学芸高等学校	180	161	12. 21
10	大阪府	大阪国際滝井高等学校	27	26	12. 21
11	大阪府	あべの翔学高等学校	20	17	12. 15
12	大阪府	金蘭会高等学校	130	107	1. 5
13	大阪府	常翔学園高等学校	45	41	12. 14
14	大阪府	明浄学院高等学校	90	75	12. 24
15	大阪府	大阪電気通信大学高等学校	360	278	12. 14
16	大阪府	プール学院高等学校	140	120	1. 25
17	大阪府	履正社高等学校	100	39	1. 5
18	大阪府	宣真高等学校	120	—	—
19	大阪府	大阪高等学校	440	250	12. 23
20	大阪府	昇陽高等学校	30	18	1. 5
21	大阪府	大阪緑涼高等学校	230	174	1. 26
22	大阪府	東大阪大学敬愛高等学校	200	166	12. 24
23	大阪府	大阪夕陽丘学園高等学校	520	465	1. 18
24	大阪府	阪南大学高等学校	80	71	1. 5
25	大阪府	帝塚山学院高等学校	150	120	1. 29
26	大阪府	大阪商業大学堺高等学校	460	327	2. 1
27	大阪府	大阪学院大学高等学校	70	—	—
28	大阪府	羽衣学園高等学校	240	214	1. 5
29	大阪府	東海大学付属大阪仰星高等学校	400	368	12. 11
30	大阪府	大阪国際大和田高等学校	80	76	12. 25
31	大阪府	賢明学院高等学校	180	—	—
32	大阪府	樟蔭高等学校	70	63	12. 18
33	大阪府	城星学園高等学校	60	48	1. 12
34	大阪府	精華高等学校	20	18	1. 8
35	大阪府	大阪信愛学院高等学校	150	139	12. 24
36	大阪府	四條畷学園高等学校	400	323	12. 21
37	大阪府	アサンプション国際高等学校	140	101	12. 18
38	大阪府	大阪府立北摂つばさ高等学校	80	—	—

No	道府県	高等学校名	調査票 発送枚数	調査票 回収枚数	回収日
39	大阪府	大阪府立島本高等学校	108	94	1. 18
40	大阪府	大阪府立吹田東高等学校	40	40	12. 21
41	大阪府	大阪府立堺西高等学校	80	75	1. 5
42	大阪府	大阪府立日根野高等学校	40	40	2. 18
43	大阪府	大阪府教育センター附属高等学校	240	218	1. 5
44	大阪府	大阪府立成城高等学校	216	181	1. 18
45	大阪府	大阪府立汎愛高等学校	42	40	12. 21
46	大阪府	東大阪府立日新高等学校	80	78	12. 17
47	大阪府	大阪府立枚岡樟風高等学校	198	172	1. 15
48	大阪府	大阪府立山本高等学校	80	—	—
49	大阪府	大阪府立八尾翠翔高等学校	210	198	1. 5
50	大阪府	大阪府立桜塚高等学校	40	36	12. 24
51	大阪府	大阪府立芦間高等学校	40	—	—
52	大阪府	大阪府立西寝屋川高等学校	80	72	1. 8
53	大阪府	大阪府立緑風冠高等学校	240	218	2. 17
54	大阪府	大阪府立枚方津田高等学校	320	279	1. 5
55	大阪府	大阪府立高等学校	120	114	1. 12
56	大阪府	大阪府立門真西高等学校	120	90	1. 20
57	大阪府	大阪府立北かわち阜が丘高等学校	40	37	12. 23
58	大阪府	大阪府立枚方なぎさ高等学校	250	224	12. 21
59	大阪府	大阪府立門真なみはや高等学校	80	78	12. 15
60	和歌山県	和歌山信愛高等学校	210	65	2. 8
61	福岡県	久留米信愛高等学校	160	155	2. 4
62	熊本県	熊本信愛女学院高等学校	150	137	1. 15
63	京都府	ノートルダム女学院高等学校	120	98	2. 18
64	京都府	京都聖母学院高等学校	220	203	2. 26
65	京都府	京都聖カタリナ高等学校	30	27	2. 26
66	京都府	日星高等学校	150	87	2. 26
67	兵庫県	仁川学院高等学校	150	115	2. 9
68	兵庫県	百合学院高等学校	90	83	2. 24
69	兵庫県	兵庫県立尼崎高等学校	280	253	1. 25
70	兵庫県	園田学園高等学校	80	69	12. 21
71	奈良県	奈良県立高円高等学校	40	35	12. 24
72	奈良県	奈良県立西の京高等学校	80	76	1. 20
73	奈良県	奈良県立高取国際高等学校	120	113	1. 12
74	奈良県	奈良県立磯城野高等学校	40	37	2. 9
75	奈良県	奈良女子高等学校	80	59	2. 8
76	奈良県	育英西高等学校	90	73	1. 25
77	奈良県	奈良育英高等学校	111	96	1. 12
78	奈良県	奈良大学附属高等学校	35	33	12. 23
79	奈良県	奈良文化高等学校	90	63	3. 1
80	奈良県	橿原学院高等学校	140	117	1. 28

No	道府県	高等学校名	調査票 発送枚数	調査票 回収枚数	回収日
81	京都府	京都西山高等学校	200	182	12. 17
82	大阪府	大阪府立刀根山高等学校	120	113	1. 5
83	大阪府	大阪府立高槻北高等学校	40	36	12. 25
84	大阪府	岸和田市立産業高等学校	280	250	1. 19
85	大阪府	大阪府立港高等学校	270	242	2. 18
86	大阪府	大阪府立平野高等学校	35	27	2. 18
87	大阪府	大阪市立扇町総合高等学校	200	187	1. 25
88	大阪府	大阪府立東淀川高等学校	30	24	2. 24
89	大阪府	大阪府立渋谷高等学校	280	246	2. 26
90	大阪府	大阪府立泉大津高等学校	40	29	2. 19
91	大阪府	大阪府立高石高等学校	40	40	2. 17
92	大阪府	大阪府立守口東高等学校	240	203	1. 25
93	大阪府	大阪府立長尾高等学校	80	71	1. 29
94	大阪府	大阪府立貝塚南高等学校	42	42	1. 12
95	大阪府	大阪府立河南高等学校	80	72	2. 15
96	大阪府	大阪府立大塚高等学校	250	206	1. 25
97	大阪府	初芝立命館高等学校	220	—	—
98	大阪府	アナン学園高等学校	40	39	1. 29
99	大阪府	大阪体育大学浪商高等学校	100	87	1. 15
100	大阪府	大阪府立福井高等学校	210	143	1. 18
101	島根県	松徳学院高等学校	75	—	—
102	岡山県	清心女子高等学校	60	47	1. 13
103	山口県	サビエル高等学校	80	50	3. 11
104	愛媛県	聖カタリナ学園高等学校	70	57	1. 22
105	福岡県	福岡雙葉高等学校	180	156	2. 17
106	福岡県	上智福岡高等学校	140	136	3. 1
107	福岡県	福岡海星女子学院高等学校	120	95	3. 5
108	福岡県	明光学園高等学校	70	17	2. 15
				41	3. 1
109	長崎県	純心女子高等学校	150	127	2. 26
110	長崎県	長崎南山学園高等学校	210	190	2. 22
111	長崎県	海星高等学校	400	307	2. 24
112	長崎県	聖和女子学院高等学校	120	101	3. 1
113	熊本県	熊本マリスト学園高等学校	200	159	3. 16
114	熊本県	八代白百合学園高等学校	100	52	3. 18
115	宮崎県	日向学院高等学校	140	124	2. 15
116	宮崎県	聖心ウルスラ学園高等学校	140	121	3. 8
117	宮崎県	都城聖ドミニコ学園高等学校	50	47	1. 21
118	鹿児島県	鹿児島純心女子高等学校	100	89	3. 4
119	沖縄県	沖縄カトリック高等学校	60	54	1. 12
120	岐阜県	聖マリア女学院高等学校	90	78	3. 5
121	三重県	四日市メリノール学院高等学校	140	134	3. 4

No	道府県	高等学校名	調査票 発送枚数	調査票 回収枚数	回収日
122	三重県	セントヨゼフ女子学園高等学校	80	73	3.12
123	大阪府	大阪商業大学高等学校	150	110	1.18
124	大阪府	箕面自由学園高等学校	135	118	2.12
125	京都府	大谷高等学校	200	146	3.23
126	京都府	京都外大西高等学校	90	60	3.1
127	京都府	京都文教高等学校	250	235	3.9
128	京都府	華頂女子高等学校	68	54	2.1
129	大阪府	興國高等学校	200	171	3.4
130	大阪府	大阪桐蔭高等学校	110	82	3.8
131	大阪府	四天王寺東高等学校	110	97	3.23
132	兵庫県	神港学園高等学校	40	32	3.4
133	兵庫県	神戸星城高等学校	40	39	2.2
134	兵庫県	育英高等学校	100	80	3.4
135	兵庫県	神戸国際大学附属高等学校	280	218	2.10
136	兵庫県	夙川高等学校	30	15	3.4
137	兵庫県	蒼開高等学校	40	35	3.15
138	兵庫県	日ノ本学園高等学校	130	101	3.5
139	奈良県	天理高等学校	270	249	3.18
140	奈良県	関西中央高等学校	70	66	3.10
141	和歌山県	高野山高等学校	50	38	3.2
142	滋賀県	綾羽高等学校	140	61	3.19
143	滋賀県	滋賀学園高等学校	120	107	3.5
144	滋賀県	彦根総合高等学校	220	181	3.9
145	香川県	藤井学園寒川高等学校	170	114	3.18
146	岐阜県	済美高等学校	90	81	2.16
147	愛媛県	帝京第五高等学校	100	82	2.22
148	愛媛県	済美高等学校	135	122	2.2
149	山口県	高川学園高等学校	144	137	2.15
150	岐阜県	多治見西高等学校	250	237	2.19
151	岐阜県	高山西高等学校	150	145	3.12
152	愛知県	誉高等学校	150	120	2.18
153	愛知県	豊田大谷高等学校	40	34	2.17
154	岡山県	就実高等学校	160	149	2.10
155	岡山県	岡山商科大学附属高等学校	56	54	2.12
156	大阪府	大阪府立岬高等学校	128	82	3.18
157	兵庫県	兵庫県立高砂高等学校	246	229	3.8
158	兵庫県	兵庫県立社高等学校	120	117	3.12
159	奈良県	智辯学園奈良カレッジ高等部	120	100	3.2
160	和歌山県	和歌山県立和歌山北高等学校	80	75	2.22
161	大阪府	箕面学園高等学校	192	172	3.5
162	大阪府	建国高等学校	75	48	2.22
163	香川県	香川県立高瀬高等学校	140	128	3.8

No	道府県	高等学校名	調査票 発送枚数	調査票 回収枚数	回収日
164	北海道	旭川藤星高等学校	150	125	3. 8
165	宮城県	仙台白百合学園高等学校	100	70	3. 12
166	福島県	桜の聖母学院高等学校	120	109	3. 10
167	秋田県	聖霊女子短期大学付属高等学校	200	157	3. 15
168	静岡県	静岡雙葉高等学校	130	125	3. 16
169	静岡県	静岡サレジオ高等学校	160	124	3. 15
170	山口県	萩光塩学院高等学校	70	58	3. 8
合 計			22906	18436	162 校

2. 調査結果要旨

(性別：問 1)

○回答者 (18,436 名) のうち、40.8%が「男性」、59.2%が「女性」である。

(居住都道府県：問 2)

○回答者の 51.3%が「大阪府」に居住し、以下、「その他」(25.5%)、「兵庫県」(8.5%)、と続いている。

(高校卒業後の希望進路：問 3)

○回答者の 66.7%が「大学」への進学を希望している。次いで回答者の 17.6%が「専門学校」への進学を希望している。

(学びたい学問分野・興味のある学問分野：問 4)〔複数回答〕

○「経済・経営・商学」が最も多く、以下、「教育・保育」、「語学・国際関係」、「その他」、「看護」、「芸術・デザイン」と続いている。

(進学先決定時に重視する事項：問 5)〔複数回答〕

○「興味・関心のあることが学べる」が最も多く、以下、「目標資格や免許が取れる」、「交通の便の良さ」、「就職実績」、「学習環境や施設・設備の充実度」と続いている。

(大阪信愛学院大学への興味・関心：問 6)

○「とても興味・関心をもった」が 607 人 (3.9%)、「少し興味・関心をもった」が 6,143 人 (39.1%)、「興味・関心をもたなかった」が 8,966 人 (57.1%) となった。

(大阪信愛学院大学への進学希望：問 7)

○回答者に「大阪信愛学院大学への進学希望」について伺ったところ、「進学を希望する」が 156 人 (1.0%)、「進学先の 1 つとして考えたい」が 1,611 人 (10.3%)、「進学を希望しない」が 9,864 人 (62.8%)、「わからない」が 4,080 人 (26.0%)、となった。

大阪信愛学院大学の入学定員合計は 160 名であり、「進学を希望する」のみで、入学定員の 0.98 倍の実数が得られた。

(進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科：問 8)

○回答者に「進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科」について伺ったところ、「教育学部教育学科」が 955 人 (56.6%)、「看護学部看護学科」が 731 人 (43.4%)、となった。

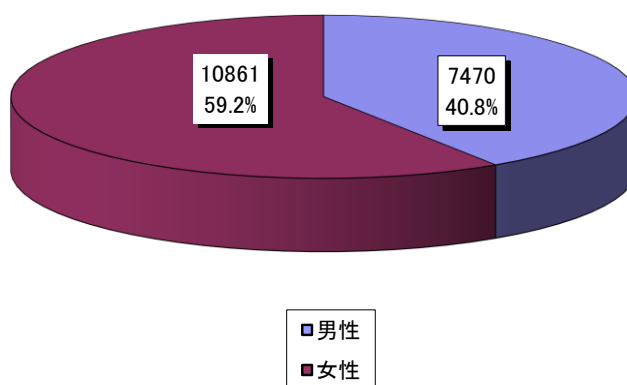
3. アンケート調査結果

3. 1. 単純集計

問 1：性別

回答者の「性別」については、「男性」が 7,470 人（40.8％）であり、他方で「女性」が 10,861 人（59.2％）となった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)％	(不明を除く)％
1	男性	7470	40.5	40.8
2	女性	10861	58.9	59.2
	不明	105	0.6	
	サンプル数（％ベース）	18436	100.0	100.0

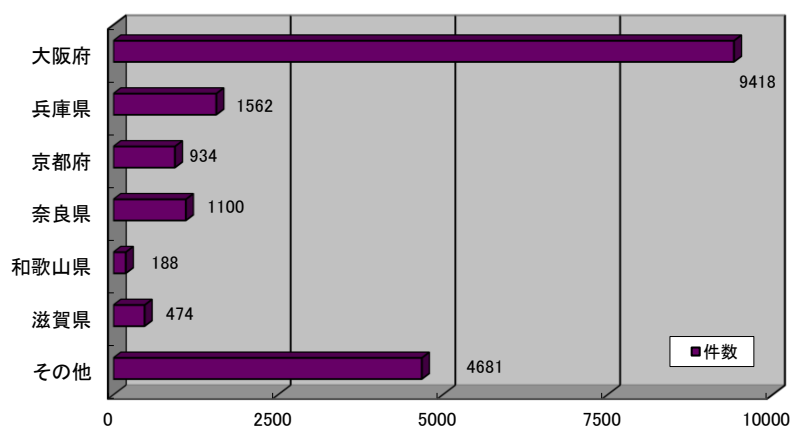


問 2：居住都道府県

回答者の「居住都道府県」については、「大阪府」が 9,418 人（51.3％）と最も多く、次いで「その他」が 4,681 人（25.5％）、「兵庫県」が 1,562 人（8.5％）、「奈良県」が 1,100 人（6.0％）、「京都府」が 934 人（5.1％）、「滋賀県」が 474 人（2.6％）、「和歌山県」が 188 人（1.0％）、の順に続いている。

回答者の「居住都道府県」については、「大阪府」が全体の約半数強を占めている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	大阪府	9418	51.1	51.3
2	兵庫県	1562	8.5	8.5
3	京都府	934	5.1	5.1
4	奈良県	1100	6.0	6.0
5	和歌山県	188	1.0	1.0
6	滋賀県	474	2.6	2.6
7	その他	4681	25.4	25.5
	不明	79	0.4	
	サンプル数（％ベース）	18436	100.0	100.0

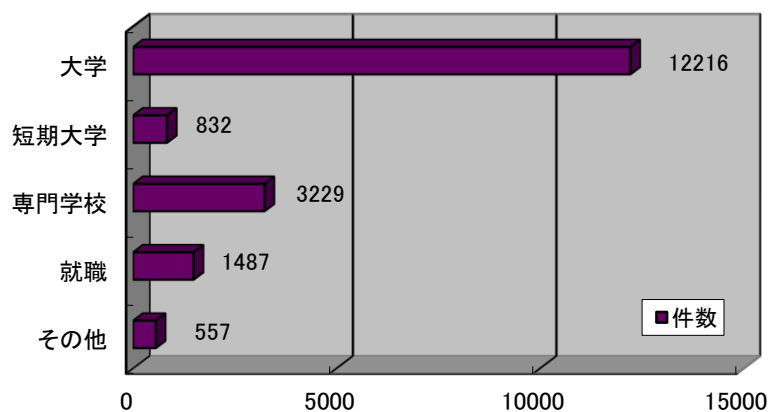


問 3：高校卒業後の希望進路

回答者の「高校卒業後の希望進路」については、「大学」が 12,216 人（66.7%）と最も多く、次いで「専門学校」が 3,229 人（17.6%）、「就職」が 1487 人（8.1%）、「短期大学」が 832 人（4.5%）、「その他」が 557 人（3.0%）、の順となった。

回答者の約 7 割弱が「大学」への進学を希望していることがわかった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	大学	12216	66.3	66.7
2	短期大学	832	4.5	4.5
3	専門学校	3229	17.5	17.6
4	就職	1487	8.1	8.1
5	その他	557	3.0	3.0
	不明	115	0.6	
	サンプル数（%ベース）	18436	100.0	100.0

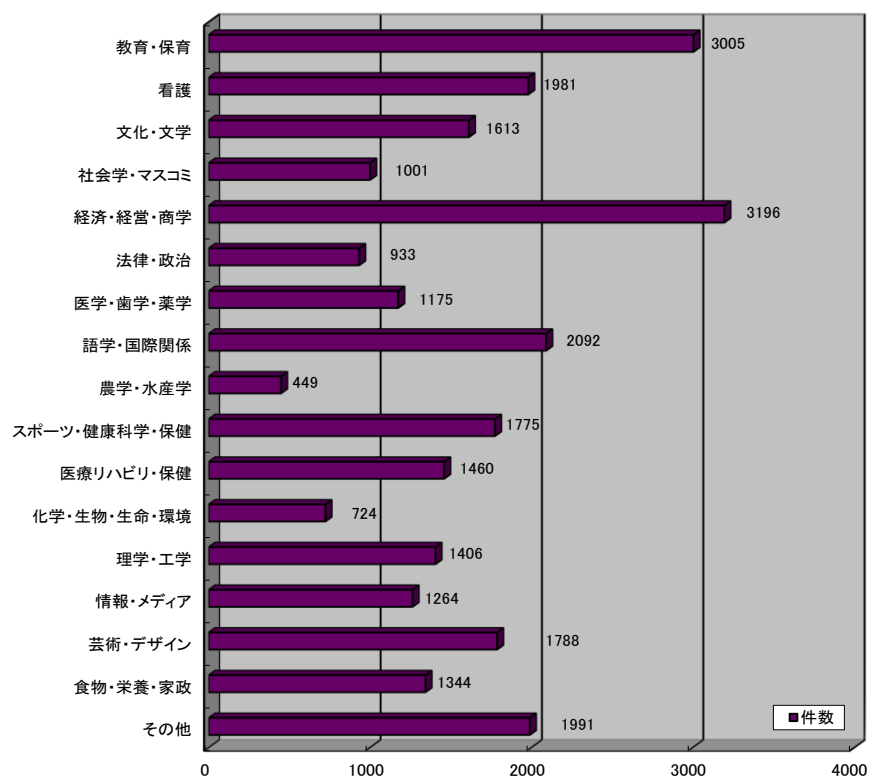


問4：学びたい学問分野・興味のある学問分野〔複数回答〕

回答者に「学びたい学問分野・興味のある学問分野」について伺ったところ、「経済・経営・商学」が3,196人（19.8%）と最も多く、次いで「教育・保育」が3,005人（18.6%）、「語学・国際関係」が2,092人（13.0%）、「その他」が1,991人（12.3%）、「看護」が1,981人（12.3%）、「芸術・デザイン」が1,788人（11.1%）の順に続いている。

「学問分野・興味のある学問分野」については、「経済・経営・商学」が最も多かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	教育・保育	3005	16.3	18.5	18.6
2	看護	1981	10.7	12.2	12.3
3	文化・文学	1613	8.7	9.9	10.0
4	社会学・マスコミ	1001	5.4	6.1	6.2
5	経済・経営・商学	3196	17.3	19.6	19.8
6	法律・政治	933	5.1	5.7	5.8
7	医学・歯学・薬学	1175	6.4	7.2	7.3
8	語学・国際関係	2092	11.3	12.9	13.0
9	農学・水産学	449	2.4	2.8	2.8
10	スポーツ・健康科学・保健	1775	9.6	10.9	11.0
11	医療リハビリ・保健	1460	7.9	9.0	9.0
12	化学・生物・生命・環境	724	3.9	4.4	4.5
13	理学・工学	1406	7.6	8.6	8.7
14	情報・メディア	1264	6.9	7.8	7.8
15	芸術・デザイン	1788	9.7	11.0	11.1
16	食物・栄養・家政	1344	7.3	8.3	8.3
17	その他	1991	10.8	12.2	12.3
	不明	137	0.7	0.8	
	非該当	2159	11.7		
	サンプル数（%ベース）	18436	100.0	100.0	100.0

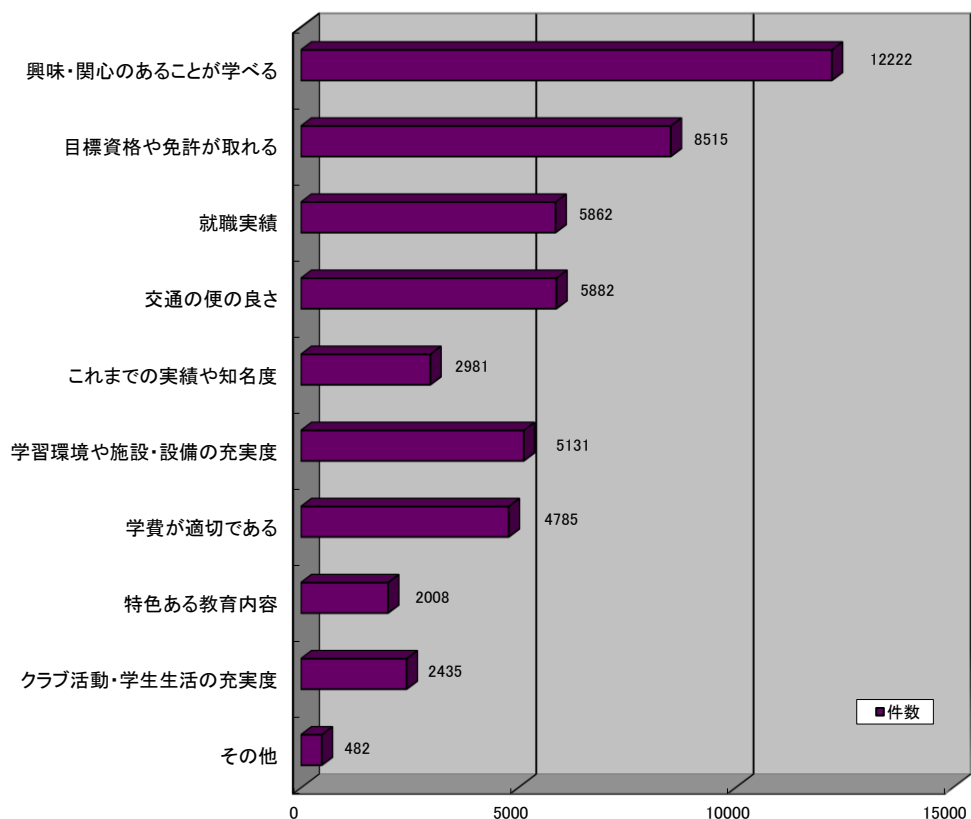


問5：進学先決定時に重視する事項〔複数回答〕

回答者に「進学先決定時に重視する事項」について伺ったところ、「興味・関心のあることが学べる」が 12,222 人（75.7%）と最も多く、次いで「目標資格や免許が取れる」が 8,515 人（52.7%）、「交通の便の良さ」が 5,882 人（36.4%）、「就職実績」が 5,862 人（36.3%）、「学習環境や施設・設備の充実度」が 5,131 人（31.8%）の順に続いている。

「進学先決定時に重視する事項」については、「興味・関心のあることが学べる」が最も多かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	興味・関心のあることが学べる	12222	66.3	75.1	75.7
2	目標資格や免許が取れる	8515	46.2	52.3	52.7
3	就職実績	5862	31.8	36.0	36.3
4	交通の便の良さ	5882	31.9	36.1	36.4
5	これまでの実績や知名度	2981	16.2	18.3	18.5
6	学習環境や施設・設備の充実度	5131	27.8	31.5	31.8
7	学費が適切である	4785	26.0	29.4	29.6
8	特色ある教育内容	2008	10.9	12.3	12.4
9	クラブ活動・学生生活の充実度	2435	13.2	15.0	15.1
10	その他	482	2.6	3.0	3.0
	不明	131	0.7	0.8	
	非該当	2159	11.7		
	サンプル数（%ベース）	18436	100.0	100.0	100.0

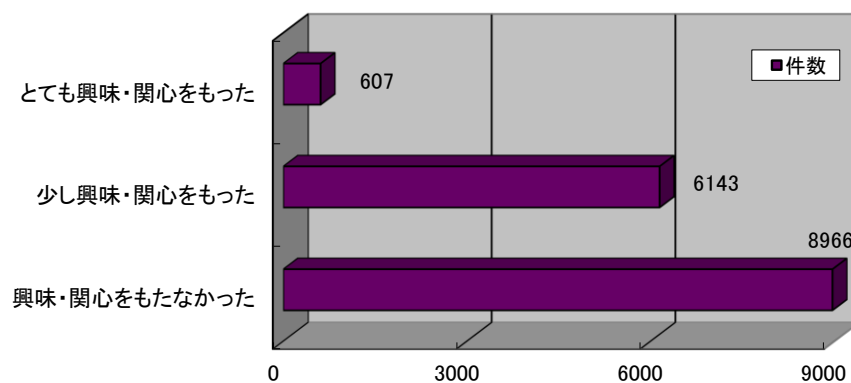


問 6：大阪信愛学院大学への興味・関心

回答者に「大阪信愛学院大学への興味・関心」について伺ったところ、「とても興味・関心をもった」が 607 人 (3.9%)、「少し興味・関心をもった」が 6,143 人 (39.1%)、「興味・関心をもたなかった」が 8,966 人 (57.1%)、となった。

「大阪信愛学院大学への興味・関心」については、回答者の約 4 割強が大阪信愛学院大学に何らかの興味を持っていることがわかった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	とても興味・関心をもった	607	3.3	3.7	3.9
2	少し興味・関心をもった	6143	33.3	37.7	39.1
3	興味・関心をもたなかった	8966	48.6	55.1	57.1
	不明	561	3.0	3.4	
	非該当	2159	11.7		
	サンプル数 (％ベース)	18436	100.0	100.0	100.0

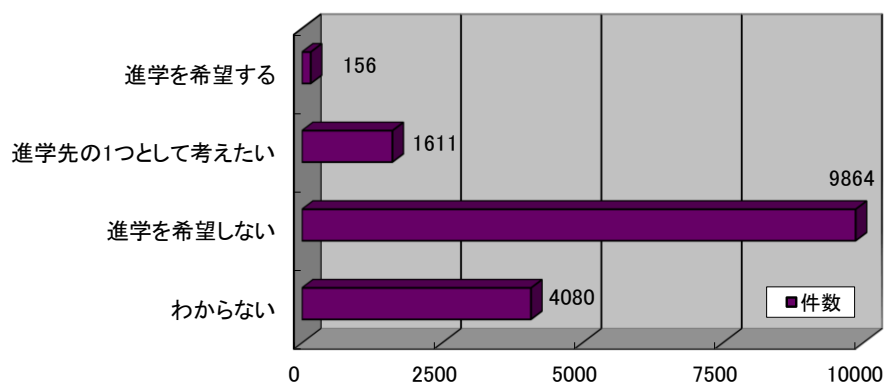


問 7：大阪信愛学院大学への進学希望

回答者に「大阪信愛学院大学への進学希望」について伺ったところ、「進学を希望する」が 156 人（1.0%）、「進学先の 1 つとして考えたい」が 1,611 人（10.3%）、「進学を希望しない」が 9,864 人（62.8%）、「わからない」が 4,080 人（26.0%）、となった。

大阪信愛学院大学の入学定員合計は 160 名であり、「進学を希望する」のみで、入学定員の 0.98 倍の実数が得られた。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	進学を希望する	156	0.8	1.0	1.0
2	進学先の1つとして考えたい	1611	8.7	9.9	10.3
3	進学を希望しない	9864	53.5	60.6	62.8
4	わからない	4080	22.1	25.1	26.0
	不明	566	3.1	3.5	
	非該当	2159	11.7		
	サンプル数（%ベース）	18436	100.0	100.0	100.0

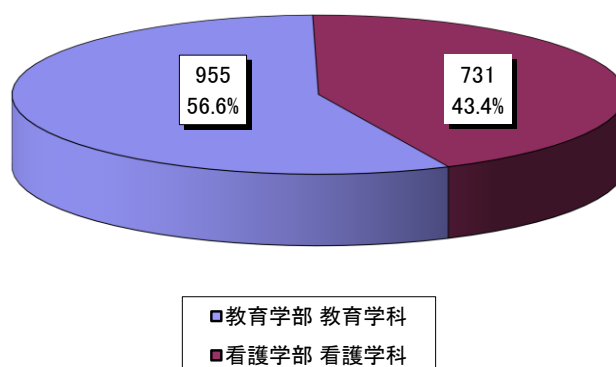


問 8 : 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科

回答者に「進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科」について伺ったところ、「教育学部教育学科」が 955 人 (56.6%)、「看護学部看護学科」が 731 人 (43.4%)、となった。

回答者の「進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科」については、「教育学部教育学科」が全体の約 6 割弱、「看護学部看護学科」が全体の約 4 割強を占めるに至った。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	教育学部 教育学科	955	5.2	54.0	56.6
2	看護学部 看護学科	731	4.0	41.4	43.4
	不明	81	0.4	4.6	
	非該当	16669	90.4		
	サンプル数 (%ベース)	18436	100.0	100.0	100.0



3. 2. クロス集計

3. 2. 1. 「問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科」と「問7 大阪信愛学院大学への進学希望」のクロス集計

上段:度数		問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科			
下段:%		合計	教育学部 教育学科	看護学部 看護学科	不明
問7 大阪信愛学院 大学への進学希望	全体	1767 100.0	955 54.0	731 41.4	81 4.6
	進学を希望する	156 100.0	84 53.8	56 35.9	16 10.3
	進学先の1つとして 考えたい	1611 100.0	871 54.1	675 41.9	65 4.0
	進学を希望しない	- -	- -	- -	- -
	わからない	- -	- -	- -	- -
	不明	- -	- -	- -	- -

3. 2. 2. 「問2 居住都道府県」の各選択肢別にみた、「問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科」と「問7 大阪信愛学院大学への進学希望」のクロス集計

大阪府

大阪府 上段:度数		問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科			
下段:%		合計	教育学部 教育学科	看護学部 看護学科	不明
問7 大阪信愛学院 大学への進学希望	全体	1097 100.0	576 52.5	471 42.9	50 4.6
	進学を希望する	115 100.0	60 52.2	42 36.5	13 11.3
	進学先の1つとして 考えたい	982 100.0	516 52.5	429 43.7	37 3.8
	進学を希望しない	- -	- -	- -	- -
	わからない	- -	- -	- -	- -
	不明	- -	- -	- -	- -

兵庫県

兵庫県		上段:度数	問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科			
		下段:%	合計	教育学部 教育学科	看護学部 看護学科	不明
問7 大阪信愛学院 大学への進学希望	全体		120 100.0	67 55.8	41 34.2	12 10.0
	進学を希望する		5 100.0	3 60.0	2 40.0	- -
	進学先の1つとし て考えたい		115 100.0	64 55.7	39 33.9	12 10.4
	進学を希望しない		- -	- -	- -	- -
	わからない		- -	- -	- -	- -
	不明		- -	- -	- -	- -

京都府

京都府		上段:度数	問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科			
		下段:%	合計	教育学部 教育学科	看護学部 看護学科	不明
問7 大阪信愛学院 大学への進学希望	全体		72 100.0	43 59.7	28 38.9	1 1.4
	進学を希望する		7 100.0	4 57.1	3 42.9	- -
	進学先の1つとし て考えたい		65 100.0	39 60.0	25 38.5	1 1.5
	進学を希望しない		- -	- -	- -	- -
	わからない		- -	- -	- -	- -
	不明		- -	- -	- -	- -

奈良県

奈良県		上段:度数	問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科			
		下段:%	合計	教育学部 教育学科	看護学部 看護学科	不明
問7 大阪信愛学院 大学への進学希望	全体		102 100.0	62 60.8	34 33.3	6 5.9
	進学を希望する		6 100.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7
	進学先の1つとし て考えたい		96 100.0	59 61.5	32 33.3	5 5.2
	進学を希望しない		- -	- -	- -	- -
	わからない		- -	- -	- -	- -
	不明		- -	- -	- -	- -

和歌山県

和歌山県		上段:度数	問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科			
		下段:%	合計	教育学部 教育学科	看護学部 看護学科	不明
問7 大阪信愛学院 大学への進学希望	全体		29 100.0	20 69.0	8 27.6	1 3.4
	進学を希望する		- -	- -	- -	- -
	進学先の1つとし て考えたい		29 100.0	20 69.0	8 27.6	1 3.4
	進学を希望しない		- -	- -	- -	- -
	わからない		- -	- -	- -	- -
	不明		- -	- -	- -	- -

滋賀県

滋賀県		上段:度数	問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科			
		下段:%	合計	教育学部 教育学科	看護学部 看護学科	不明
問7 大阪信愛学院 大学への進学希望	全体		32 100.0	20 62.5	12 37.5	- -
	進学を希望する		2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -
	進学先の1つとし て考えたい		30 100.0	19 63.3	11 36.7	- -
	進学を希望しない		- -	- -	- -	- -
	わからない		- -	- -	- -	- -
	不明		- -	- -	- -	- -
			- -	- -	- -	- -

その他

その他		上段:度数	問8 進学を希望する大阪信愛学院大学の学部学科			
		下段:%	合計	教育学部 教育学科	看護学部 看護学科	不明
問7 大阪信愛学院 大学への進学希望	全体		314 100.0	166 52.9	137 43.6	11 3.5
	進学を希望する		21 100.0	13 61.9	6 28.6	2 9.5
	進学先の1つとし て考えたい		293 100.0	153 52.2	131 44.7	9 3.1
	進学を希望しない		- -	- -	- -	- -
	わからない		- -	- -	- -	- -
	不明		- -	- -	- -	- -
			- -	- -	- -	- -

3. 3. 自由回答

本調査では問 9 の設問を自由回答方式とし、回答者に対して大阪信愛学院大学に係る一般的な意見を聞いている。

その結果、集計対象とした全 18,436 票のうち 229 票において意見の記述が見られた。この 229 票の記述内容は次頁～28 頁の通りである。

◎自由回答（問 9）の記述内容一覧

No	問1 性別	問9 大阪信愛学院大学についての意見
61	女性	共学にしたのはとてもいいと思います。
310	男性	理学療法があれば行きたかったです。
390	男性	がんばれ。
401	男性	いいと思います。
472	男性	もっと知りたい。
483	男性	興味なし。
485	男性	がんばって下さい。
518	男性	パンフレットの内容をもう少し多くしても良いと思います。
629	女性	指定校ください。
841	女性	中学校の免許・資格もいれてほしい。
882	男性	薬学部ないの？
977	女性	ありがとうございました。
1173	女性	交通が不便。家から通える距離ではないです。
1245	女性	共学にするなら工学系の学部があったほうが良いと思う。
1250	男性	免許を取るのに特化されてますか。
1349	男性	中学の先生の免許も取れるなら行ってみたい。
1454	女性	良いと思う。
1477	男性	カトリックの大学でいいと思う。
1652	男性	授業料が高い。遠い。
1736	女性	数学の教師になれるのか。
1808	女性	見やすかったです。
1947	女性	信愛まで共学になったら、日本に女子校・男子校は残るのか。
2223	女性	とてもきれい。
2350	女性	大学がきれいそう。
2536	男性	学びたいと思っている学習が決まってないのでまだわかりません。
2928	女性	食堂がおいしければよし。
2965	女性	楽しみです。
3004	女性	幼児体育は取れますか？
3013	男性	学校きれいですね。

No	問1 性別	問9 大阪信愛学院大学についての意見
3106	女性	見学に行きたい。
3117	男性	進学したいです。
3159	女性	スターバックス、コンビニなど買い物が出来る場所がほしい。
3161	女性	大学・高校・共につかえるコンビニを入れてほしい。
3164	女性	初等部だけでなく、中等部、高等部の各教科のどれかの免許がとれたら良いなあと思います。
3219	女性	文学部などもっと学部が欲しいです。
3225	女性	女子短大のままの方が、良かったと思いました。
3236	女性	中高校舎の近くに男性がいるのは嫌です。大学のみが使う講堂を作り、中高校舎の前の講堂を使わないでほしいです。
3314	男性	募集人数はどれくらいですか。
3517	男性	少し家から離れているので時間内に着くのは難しいと感じました。
3670	男性	がんばってください。
3812	男性	学費が高い。
3873	女性	大阪駅や難波駅から大阪信愛学院大学さんにつながるバスが出たらとても便利だなと思いました。
3947	女性	良いと思う。
4000	男性	良いですね。
4147	男性	色が良い感じに使い分けられていたと思います。
4196	男性	なぜ仮称なのですか？
4280	男性	名前が宗教みたい。
4539	女性	看護学科で取得できる免許・資格に、保健師も一緒に取れないのがひっかかりました。
4749	女性	名前がステキだと思います。
4769	女性	教育学部に進学したいと思うが、交通の便が悪い。
4824	男性	まだ、なにも調べてないので調べます。
4916	男性	男女比はどれくらいですか？
4940	男性	名前の由来は何ですか。
4989	男性	少し女子校のイメージがありました。
5061	男性	頑張ってください。
5147	女性	パンフレットがよかった。
5289	女性	男女平等よろしくおねがいします。
5297	男性	コロナに気をつけよう。

No	問1 性別	問9 大阪信愛学院大学についての意見
5364	女性	少し興味をひかれました。たのしみです。
5634	女性	学生寮を設けて欲しい。
5672	女性	学科が増えると選択肢として考えやすいかなと思います。2つの学部自体はとても良いと思います。
5711	女性	教育学部と看護以外にも学部学科があると良いなと思いました。
6023	女性	進学しないと思います。
6056	男性	大学名が女子校っぽい。
6171	男性	定員を多くしてほしい。
6177	男性	看護学校は少ないので、良いと思う。
6438	女性	マークがかっこいいです。
6650	男性	僕は行かない。
6928	女性	校章がダサい。
6983	女性	学校で勉強を教えてください。教師の方にどんな方がいらっしゃるか、知りたかった。
7103	男性	よくわからない。
7128	女性	4年制しかありませんか？
7186	男性	良いと思う。
7218	男性	チューター制は国家試験がある看護学部にはとても良いと思う。
7225	男性	経営・経済学科がほしい。
7277	女性	施設がきれいだなと思いました。
7326	女性	看護学部に入っても部活動を充実してできる環境が良いと思う。
7647	男性	僕たち受験生にとっては、とてもプラスになると思います。
7653	男性	どういう所か知りたい。
7789	女性	2つは学びたい人が多いかなと思います。
7793	女性	詳しいカリキュラムの内容を知りたいです。
7804	女性	看護に興味があったので気になった。
7907	男性	法学を作って欲しい。
7924	女性	信愛の近くに住んでいるので楽しみです。
7990	男性	良いと思う。
8185	男性	4年間しっかりと勉強できる環境で良いと思った。
8522	女性	とても良いと思います。

No	問1 性別	問9 大阪信愛学院大学についての意見
8650	男性	教育や看護に力を入れていて、とても良い大学と思いました。
8655	男性	定員数を増やしてほしい。
8824	-	女学校から共学になるなら当然男子は入りづらいと感じる。男性がどのようにキャンパスライフを送るのか。
8891	男性	少し興味を持ったので、一度オープンキャンパスに行ってみたいです。
9037	男性	中学・高等学校の教員免許を取れるようにしたい。
9039	男性	中学校、高等学校のコースも欲しい。
9078	男性	ゲームの分野を追加してほしい。
9097	男性	お金が高い。
9100	男性	行きたいとは思わない。
9178	男性	すごくいいところ。
9462	女性	心理学も入れてほしい。
9521	男性	京都に移動して下さい。
9538	女性	実習のできる病院など、どこでできるのかをはっきりさせた方がいいと思いました。
9571	男性	名前を変えたほうがよいと思う。
9600	女性	文学部を是非お願いします。
9620	女性	もうちょっと学科を増やした方がいいと思います。
9623	女性	インテリア等をお洒落にすると良いと思う。
9778	女性	駅から遠いのももう少し近い場所がいい。
9804	女性	駅から遠いので行きたくないです。
9805	女性	交通の便が少し悪いですが、免許や環境はすごく良いので、興味を持ちました。
9838	女性	国家試験の合格率をパンフレットにのせてほしかったです。
10104	男性	もっと学部を増やした方がいい。
10374	女性	教育学科の学生で、2年次に初等教育コースを選択したとして、幼児教育コースの授業は受けられないのでしょうか。
10539	女性	大阪の中心に近く、とても立地がいいと思います。
10641	男性	頑張って下さい。
10649	男性	とてもいい名称だと思います。
10699	男性	いいと思う。
10798	男性	行ってみたい。
10821	女性	マークをもう少し良い感じにしたほうがいい。

No	問1 性別	問9 大阪信愛学院大学についての意見
10878	女性	良いと思う。
11136	女性	がんばってください
11184	女性	カトリックそのものを学習ができる環境や神様を感じられる空間が欲しい。
11249	女性	専門性に特化していて良いと思いました。
11399	女性	助産科もあれば最高。
11405	女性	もっと学部を増やした方が良い。
11428	女性	コースの特色をもう少し詳しく知りたい。
11554	女性	ぜひ行きたいです。よろしくおねがいします。
11561	男性	パンフレット欲しい。課題少なくして欲しい。
11568	男性	学部をもっと増やしてほしい。
11604	男性	初年度納付金が高すぎる。信愛という名前とてもかっこいいですね。
11634	女性	オープンキャンパスに行きたいです。
12165	男性	とてもいいです。
12226	女性	もっと詳しく学校について知りたいと思ったのでパンフレットなどがほしいです。
12383	男性	最寄り駅の新森古市駅は実際に行ったことがあるので、行き方は大体分かりました。
12389	男性	名前が長いのでみんなに覚えてもらえるよう、短くするか工夫した方がいいと思う。
12420	男性	学費が高い。
12425	男性	いい点がたくさんあり、興味をもった。
12503	男性	偏差値はどのくらいか。部活は何かあるか。
12505	男性	名前がちょっと。アピールが少ないから進学したいと思わないし、知名度が低い。
12506	男性	名前から変えた方が良く、進学しようと思わない。
12509	男性	応援してます。
12798	男性	いい場所にありますね。
12845	男性	とてもいいと思います。
12940	女性	助産師の資格取得を目指すコースがあってほしい。
12948	女性	実習の様子などの写真があれば、もっと良いパンフレットになると思います。
12956	女性	お年寄りで動物を飼う人が増えてきたから、生物の学科に興味がある人がいるかもしれない。
13050	男性	精進して頂きたい。
13216	女性	頑張ってください。

No	問1 性別	問9 大阪信愛学院大学についての意見
13220	女性	頑張ってください。興味が沸きました。
13221	女性	がんばってください。
13222	女性	がんばってください。
13224	女性	進学先の候補として考えていきたいと思いました。
13225	女性	がんばってください。
13227	女性	がんばってください。
13238	-	蔵書等の設備に関する情報がパンフレットにもなく、気になった。
13254	女性	サークルの数を増やしてほしい。設備に期待している。
13645	男性	どんな事を学ぶのか教えてもらえる機会がほしい。
13680	男性	入学金の安さはとてもいいことだと思った。
13701	男性	頑張ってください。
13703	男性	デザインがんばって！
13708	女性	全授業を通信にしてほしい。
13772	女性	いい名前だと思います。がんばってください。
13773	女性	愛という字が含まれている所がすごくすてきです。応援してます。
13793	女性	授業料を安くしてほしい。
13869	女性	他の学科もいいなと思った。
13979	女性	すごくキレイだと思った。
13998	女性	はじめてきいた。
14042	男性	キリスト教系に興味はないです。
14075	男性	中等教育も入れてほしい。
14099	男性	宗教精神に基づいた人間教育を基礎としている点は、より社会に適応した人物を育てられそうに感じた。
14105	男性	学費が高い。
14118	男性	入学金が安いのは良いと思う。
14122	男性	いいと思います。
14124	男性	思っていたよりも創立が早いと思いました。
14126	女性	頑張ってください。
14128	男性	やはり金銭面できついです。
14153	男性	頑張ってください。

No	問1 性別	問9 大阪信愛学院大学についての意見
14361	男性	共学にしなくて良いと思います。
14412	男性	とても楽しそうです。
14465	男性	がんばってください。
14524	女性	クラブ活動の内容を記載したら、もっと関心を持つ人が増えると思う。
14537	女性	取得できる資格に助産・保健師があればいいと思います。
14545	女性	大学名があまり信頼できない。
14546	女性	すてきな人を育ててください。
14579	女性	もう少し学部学科を増やしてほしい。
14587	女性	卒業後の就職があれば嬉しいと思う。
14597	女性	奨学金制度はありますか？
14598	女性	近くに寮はあるんですか？
14691	男性	頑張ってください。
14737	女性	車で登校できますか。
14742	女性	マークがいいと思う。
15010	女性	すてきな学校です。
15086	男性	とても楽しそう、学べそう。
15148	男性	大学名を旧字体にすべき。「大阪信愛学院大學」
15215	男性	行きたいなって思いました。
15319	-	なぜ共学にしようと思ったんですか？私は経済を学びたいので進学は希望しません。
15516	女性	看護だけのパンフレットが見たい。
15538	男性	頑張ってください。
15539	男性	いいと思います。
15667	女性	私は夢が幼稚園教諭なので、ちょっと考えてみるのも良いかなと思いました。
15681	女性	看護学科だけでなくリハビリ系の資格が取れるようにしたほうがいいと思う。
15709	男性	教育学部教育学科で中学・高校の教育免許が取れば良いと思います。
15711	男性	もう少し安くしてください。
16025	女性	もっと看護学について調べたいです。
16173	女性	ありがとうございました。
16226	男性	いい大学やと思います。

No	問1 性別	問9 大阪信愛学院大学についての意見
16325	男性	応援しています。
16337	男性	がんばってください。
16349	女性	他の学科も開設してほしいです。
16451	男性	ソフトテニスサークルがあればうれしいです。
16498	女性	保健師国家試験受験資格も取得できたらいいなと思いました。
16677	女性	養護教諭1種免許状を取るためには制限人数があるのか。
16829	女性	教育についてたくさん学べそうなので、完成が楽しみです。
16891	女性	看護について詳しく細かいことまで学べそうだったので良い大学だなと思いました。
16898	男性	看護や教育に進む人にとっては素晴らしい場所だと思います。
16954	男性	共学になったことは素晴らしいことだと思います。
16985	女性	教育学部というのはすごくひかれました。
17050	男性	キリスト系の大学でしょうか？
17122	女性	助産師の資格がとれる学部であれば、進学先の1つとして考えたい。
17149	女性	取得できる免許・資格が多くていいなと思った。
17218	女性	学費をもう少し安くしてください。
17258	男性	工学部を追加してほしい。
17325	男性	読み方がわからない。
17421	男性	頑張ってください。
17429	男性	学部をもっと増やしたらいいと思います。
17460	男性	楽しみです。
17487	男性	頑張って下さい。
17513	女性	養護教諭の勉強をしたい。
17573	女性	教育学部の取得可能な免許の中に、中学校や養護教諭などもあれば素敵だと思います。
17816	男性	いろいろ大変だと思いますが頑張ってください。
17980	女性	他の学科もつくるべき。
18251	男性	中等教育の免許をカリキュラムに入れて欲しい。

4. アンケート調査票

大阪信愛学院大学（仮称）【共学】教育学部・看護学部 設置に係るアンケート調査（高校2年生対象）

学校法人大阪信愛学院では、2022年4月に大阪信愛学院大学（仮称）【共学】の開設を計画しています。

大阪信愛学院大学（仮称）では、教育学部教育学科と看護学部看護学科の2学部を開設し、他者を成長へと支援するヒューマンケアを実践する教育・保育職や看護職として、教育や保健・医療・福祉の分野で活躍できる人材の養成を目的とし、第1期生を募集する予定です。

このアンケート調査は、高校生の皆様の卒業後の進路等に関する意向や開設予定の新大学・学部への興味・関心等についておたずねし、開設のための基礎資料とするものです。このアンケートは無記名方式で、アンケート結果は統計資料としてのみ使用し、他の目的のために使用することはありません。なお本調査は一般財団法人日本開発構想研究所に集計・分析等を委託します。

※新大学・学部開設は計画中であり、名称や授業料等は正式に決定したものではなく変更されることがあります。

【下記の質問にお答えください。】

問1 あなたの性別を選び、番号に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたがお住まいの都道府県を次の中から1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 大阪府 2. 兵庫県 3. 京都府 4. 奈良県 5. 和歌山県
6. 滋賀県 7. その他 ※都道府県名をご記入ください（ ）

問3 高校を卒業後、進みたいと考えている進路を次の中から1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 大学 2. 短期大学 3. 専門学校 4. 就職 5. その他

問4以降は、問3で「大学」、「短期大学」、「専門学校」と答えた方への質問です。

問3で「就職」「その他」と答えた方はこれでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

問4 あなたが高校を卒業後、学びたいと考えている・興味のある学問分野を次の中からすべて選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|------------------|---------------|-----------------|
| 1. 教育・保育 | 2. 看護 | 3. 文化・文学 | 4. 社会学・マスコミ |
| 5. 経済・経営・商学 | 6. 法律・政治 | 7. 医学・歯学・薬学 | 8. 語学・国際関係 |
| 9. 農学・水産学 | 10. スポーツ・健康科学・保健 | 11. 医療リハビリ・保健 | 12. 化学・生物・生命・環境 |
| 13. 理学・工学 | 14. 情報・メディア | 15. 芸術・デザイン | 16. 食物・栄養・家政 |
| 17. その他 | | | |

問5 あなたが進学先を決定する際に重視することは何ですか？ 次の中からすべてを選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|----------------|-------------------|
| 1. 興味・関心のあることが学べる | 2. 目標資格や免許が取れる | 3. 就職実績 |
| 4. 交通の便の良さ | 5. これまでの実績や知名度 | 6. 学習環境や施設・設備の充実度 |
| 7. 学費が適切である | 8. 特色ある教育内容 | 9. クラブ活動・学生生活の充実度 |
| 10. その他 | | |

裏面につづく

ここからは【大阪信愛学院大学(仮称)の案内をご覧いただき、質問にお答えください。】

問6 あなたは、**大阪信愛学院大学(仮称)【共学】**に興味・関心をもちましたか？

一番近いものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. とても興味・関心をもった 2. 少し興味・関心をもった 3. 興味・関心をもたなかった

問7 あなたは、**大阪信愛学院大学(仮称)【共学】**に進学したいと思いますか？

一番近いものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 進学を希望する 2. 進学先の1つとして考えたい 3. 進学を希望しない 4. わからない

問8 問7で「進学を希望する」または「進学先の1つとして考えたい」と答えた方への質問です。

あなたは**大阪信愛学院大学(仮称)【共学】教育学部 教育学科**と**看護学部 看護学科**のどちらに進学を希望しますか。

1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 教育学部 教育学科 2. 看護学部 看護学科

問9 開設予定の**大阪信愛学院大学(仮称)**について、ご意見・ご要望があれば、ご自由にお書きください。

***** 質問はこれで終了です。ご協力いただきありがとうございました。 *****

◆このアンケートに関する問い合わせ先

■学校法人大阪信愛女学院 大阪信愛学院大学 大学設置準備室 担当：本吉・市川

〒536-8585 大阪市城東区古市 2-7-30 TEL:06-6939-4391 FAX:06-6931-0373

■一般財団法人 日本開発構想研究所 高等教育研究部 担当：長島

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目16番4号 アーバン虎ノ門ビル 7階 TEL:03-3504-1767 FAX:03-3504-0752

【参考資料：大阪信愛学院大学(仮称)および同分野大学の初年度納付金】

■教育学部(仮称)※1

※1 大阪信愛学院大学(仮称)教育学部の初年度納付金は予定です。変更になる可能性があります。

また他大学の初年度納付金は各大学のホームページ掲載情報に基づきます(2020年9月現在)。

大学名	学科等	入学金	授業料	施設設備・実習費・諸費	初年度納付金
大阪信愛学院大学(仮称)	教育学科(仮称)	170,000	880,000	260,000	1,310,000
四天王寺大学	教育学科幼児教育保育コース	300,000	837,000	348,000	1,485,000
大和大学	教育学科初等幼児教育専攻	180,000	1,140,000	—	1,320,000
桃山学院教育大学	教育学科小学校教育コース、初等教育コース	230,000	1,150,000	—	1,380,000
大阪成蹊大学	初等教育専攻幼児教育コース、初等教育コース	250,000	870,000	352,160	1,472,160

■看護学部(仮称)※2

※2 大阪信愛学院大学(仮称)看護学部の初年度納付金は予定です。変更になる可能性があります。

また他大学の初年度納付金は各大学のホームページ掲載情報に基づきます(2020年9月現在)。

大学名	学科等	入学金	授業料	施設設備・実習費・諸費	初年度納付金
大阪信愛学院大学(仮称)	看護学科(仮称)	170,000	1,140,000	440,000	1,750,000
京都橘大学	看護学科	250,000	1,200,000	280,000	1,730,000
摂南大学	看護学科	250,000	1,550,000	100,000	1,900,000
千里金蘭大学	看護学科	300,000	980,000	616,000	1,896,000
森ノ宮医療大学	看護学科	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000

【資料 4-2】

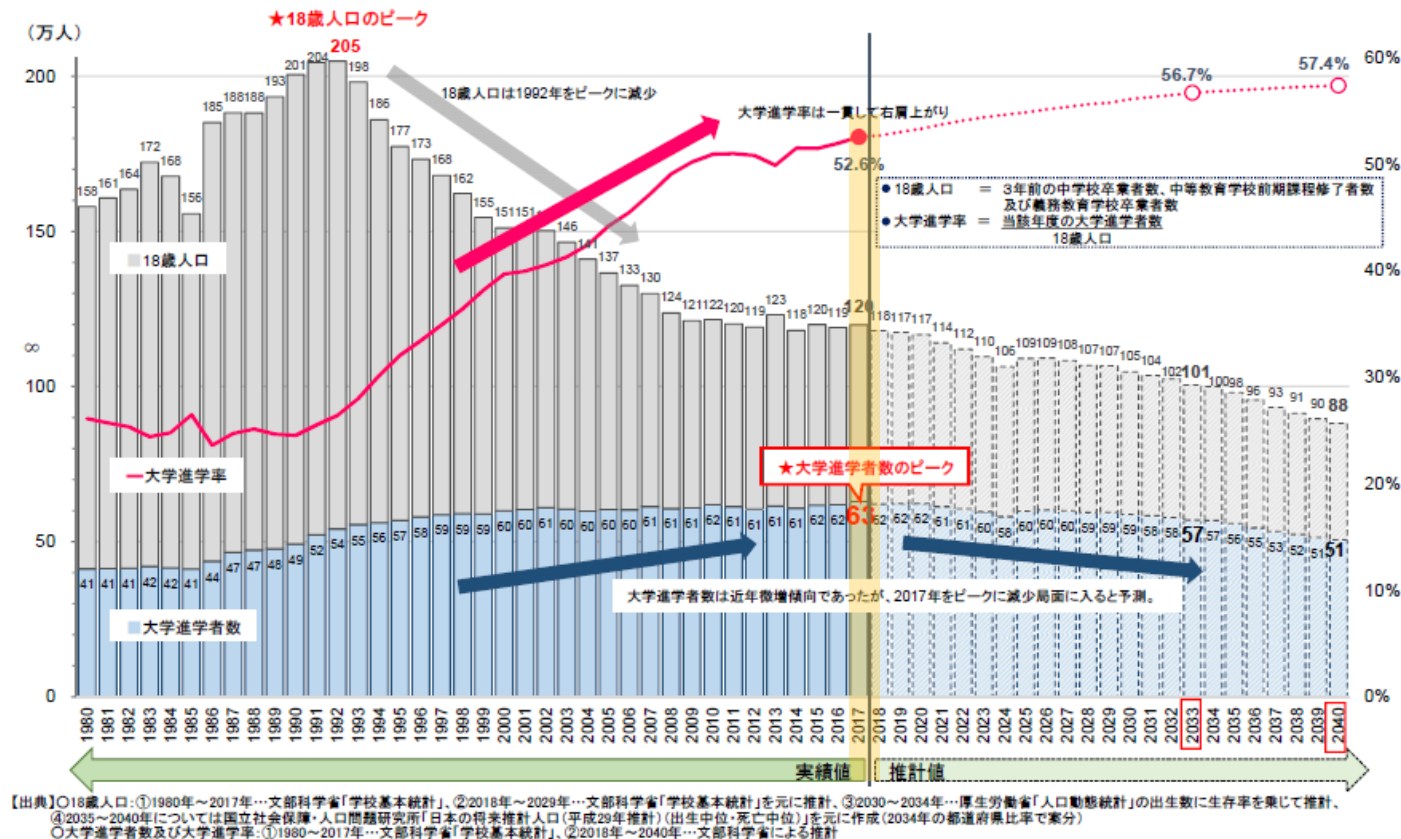
令和２年度高校生アンケート調査未実施校（令和元年度 進学希望者在籍校）

府県	高校名
大阪府	大阪市立桜宮高等学校
大阪府	大阪府立夕陽丘高等学校
大阪府	大阪府立北摂つばさ高等学校
大阪府	大阪府立枚方高等学校
大阪府	大阪府立東百舌鳥高等学校
大阪府	大阪市立淀商業高等学校
大阪府	大阪薫英女学院高等学校
大阪府	賢明学院高等学校
大阪府	初芝立命館高等学校
大阪府	向陽台高等学校
兵庫県	愛徳学園高等学校
兵庫県	神戸野田高等学校
和歌山県	和歌山県立粉河高等学校
和歌山県	和歌山市立和歌山高等学校
石川県	北陸学院高等学校
福井県	福井県立羽水高等学校
徳島県	徳島県立城南高等学校
島根県	島根県立三刀屋高等学校

【資料 4-3】大学への進学者数等の将来推計について

大学進学者数等の将来推計について

- 18歳人口が減少し続ける中でも、大学進学率は一貫して上昇し、大学進学者数も増加傾向にあったが、2018年以降は18歳人口の減少に伴い、大学進学率が上昇しても大学進学者数は減少局面に突入すると予測される。



（出所：中央教育審議会将来構想部会第13回配布資料2「大学への進学者数の将来推計について」より抜粋）

【資料 4-4】 高等教育に関する基礎データ

資料 2

大学への進学者数の将来推計について

過去の進学率の伸び率を参考に、将来の進学率及び進学者数を推計。進学率については、都道府県別、男女別に推計。

推計の考え方

2014年度～2017年度における都道府県別、男女別の大学進学率の伸び率によって、今後2040年度まで大学進学率が上昇したと仮定して推計

- 男性の進学率が2017年度と比較して5 p t 以上上回った場合、+5 p t を上限として以降据え置き〔12県〕
- 女性の進学率が男性の進学率を上回った場合、以降を男性の進学率と同値と仮定〔25県〕
- 進学率伸び率がマイナスの場合、2017年度の大学進学率が今後維持されると仮定〔26県〕

<進学率及び進学者数の推計>

	進学率（男女計）			進学者数（男女計）	
		男子	女子		増減
2017年	52.6%	55.9%	49.1%	629,733人	
2033年	56.7%	57.8%	55.5%	569,789人	▲59,944人
2040年	57.4%	58.4%	56.3%	506,005人	▲123,728人

（出所：中央教育審議会将来構想部会第13回配布資料2「大学への進学者数の将来推計について」より抜粋）

高等教育に関する基礎データ(2017年基準+2040年推計)③

	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島
18歳人口【2017】	14,537	24,543	85,687	54,774	14,072	9,998	5,427	6,517	19,189	27,297	13,098	7,159
高校等卒業生数【2017】	12,884	23,480	75,858	47,201	12,061	8,986	4,881	6,045	17,762	23,780	11,321	6,443
大学進学率【2017】	7,182	15,884	47,347	30,147	8,016	4,324	2,115	2,650	9,183	14,995	5,069	3,318
大学進学率【2017】	49.4%	64.7%	55.3%	55.0%	57.0%	43.2%	39.0%	40.7%	47.9%	54.9%	38.7%	46.3%
(国公私立)【2017】	7.1% 2.9% 39.4%	8.4% 3.9% 52.4%	5.4% 2.7% 47.2%	8.5% 3.8% 42.7%	9.6% 3.9% 43.4%	9.5% 4.0% 29.7%	13.3% 3.1% 22.6%	13.9% 4.3% 22.5%	12.7% 3.4% 31.8%	11.6% 5.1% 38.2%	9.9% 4.1% 24.7%	14.5% 2.7% 29.1%
短大進学率【2017】	5.7%	5.4%	5.5%	4.4%	5.4%	5.6%	7.3%	6.9%	4.1%	3.8%	5.0%	4.9%
専門学校進学率(課程)【2017】	16.9%	13.7%	15.0%	13.9%	14.1%	16.7%	19.3%	22.0%	17.1%	11.8%	16.5%	16.6%
大学数【2017】	8	34	55	37	11	3	3	2	17	20	10	4
(国公私立)【2017】	2 1 5	3 4 27	2 2 51	2 3 32	3 2 6	1 1 1	1 1 1	1 1 0	1 2 14	1 4 15	1 3 6	2 0 2
入学定員【2017】	7,098	32,736	51,582	26,955	4,813	1,605	1,496	1,457	9,670	13,531	4,226	2,983
入学定員(国公私立)【2017】	950 600 5,548	3,706 920 28,110	4,155 2,776 44,651	2,690 1,792 22,473	730 346 3,735	890 180 535	1,140 276 80	1,157 300 0	2,198 430 7,042	2,336 1,519 6,768	1,917 959 1,350	1,388 0 1,595
大学入学人数【2017】	7,498	33,783	54,891	28,060	4,993	1,640	1,591	1,516	9,330	13,547	4,290	2,769
(国公私立)【2017】	1,023 641 5,834	3,837 979 28,967	4,276 2,916 47,699	2,792 1,873 23,395	786 362 3,845	936 181 523	1,181 320 90	1,195 321 0	2,276 472 6,580	2,466 1,689 9,392	1,997 1,019 1,274	1,447 0 1,322
県外から流入【2017】	5,968	25,789	27,862	14,270	3,799	1,148	1,275	1,125	5,279	5,726	3,098	1,506
県内から流出【2017】	5,652	7,890	20,318	16,357	6,822	3,832	1,799	2,259	5,132	7,174	3,877	2,055
流出入差(流入-流出)【2017】	316	17,899	7,544	-2,087	-3,023	-2,684	-524	-1,134	147	-1,448	-779	-549
自県進学率【2017】	21.3%	50.3%	57.1%	45.7%	14.9%	11.4%	14.9%	14.8%	44.1%	52.2%	23.5%	38.1%
18歳人口推計【2040】	11,375	17,431	58,280	39,050	8,874	6,224	3,994	4,887	13,744	20,268	8,972	4,789
大学進学率推計【2040】	6,233	12,868	34,683	22,294	5,452	2,914	1,821	2,127	7,436	11,564	3,623	2,216
大学進学率推計【2040】	54.8%	73.8%	59.5%	57.1%	61.4%	46.8%	45.6%	43.5%	54.1%	57.1%	40.4%	46.3%
大学入学人数推計【2040】	5,919	26,287	41,083	21,098	3,691	1,186	1,256	1,201	7,358	10,519	3,419	1,997
(国公私立)【2040】(※注)	808 506 4,606	2,986 762 22,540	3,200 2,182 36,700	2,095 1,408 17,590	581 268 2,842	677 131 378	932 253 71	946 254 0	1,796 372 5,189	1,915 1,312 7,293	1,592 812 1,015	1,044 0 953
入学定員充足率推計【2040】	83.4%	80.3%	79.6%	78.3%	76.7%	73.9%	84.0%	82.4%	76.1%	77.7%	80.9%	66.9%
(国公私立)【2040】(※注)	85.0% 84.3% 83.0%	80.6% 82.8% 80.2%	77.0% 78.6% 80.0%	78.0% 78.6% 78.3%	79.6% 76.9% 76.1%	76.1% 72.7% 70.7%	81.8% 81.5% 88.8%	81.8% 84.7%	81.7% 86.6% 73.7%	81.9% 86.6% 75.4%	83.0% 84.7% 75.2%	75.2%

(※注)2017年の国公私立の割合(実績値)のまま機械的に試算したもの。

(出所：中央教育審議会将来構想部会第13回配布資料2「大学への進学者数の将来推計について」より抜粋)

【資料 4-5】全国・近畿圏の 18 歳人口の推移

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
全国	1,167,348	1,136,822	1,120,783	1,096,654	1,061,763	1,091,093	1,092,747	1,084,391	1,068,454	1,066,320	1,048,163
	100.0%	97.4%	96.0%	93.9%	91.0%	93.5%	93.6%	92.9%	91.5%	91.3%	89.8%
近畿	195,001	189,786	185,555	181,453	175,469	179,758	179,609	178,376	174,494	174,161	171,661
	100.0%	97.3%	95.2%	93.1%	90.0%	92.2%	92.1%	91.5%	89.5%	89.3%	88.0%
滋賀	14,535	14,299	14,013	13,769	13,322	13,878	13,797	13,875	13,669	13,664	13,486
	100.0%	98.4%	96.4%	94.7%	91.7%	95.5%	94.9%	95.5%	94.0%	94.0%	92.8%
京都	23,646	23,146	22,654	22,292	22,222	22,002	21,802	21,601	21,144	21,083	20,714
	100.0%	97.9%	95.8%	94.3%	94.0%	93.0%	92.2%	91.4%	89.4%	89.2%	87.6%
大阪	81,797	79,457	77,445	75,810	72,723	74,656	74,713	74,111	72,708	72,562	71,415
	100.0%	97.1%	94.7%	92.7%	88.9%	91.3%	91.3%	90.6%	88.9%	88.7%	87.3%
兵庫	52,305	51,267	49,982	49,030	47,243	49,243	49,327	49,254	47,898	48,166	47,397
	100.0%	98.0%	95.6%	93.7%	90.3%	94.1%	94.3%	94.2%	91.6%	92.1%	90.6%
奈良	13,435	12,808	12,855	12,417	12,017	12,053	12,026	11,582	11,450	11,191	11,067
	100.0%	95.3%	95.7%	92.4%	89.4%	89.7%	89.5%	86.2%	85.2%	83.3%	82.4%
和歌山	9,283	8,809	8,606	8,135	7,942	7,926	7,944	7,953	7,625	7,495	7,582
	100.0%	94.9%	92.7%	87.6%	85.6%	85.4%	85.6%	85.7%	82.1%	80.7%	81.7%

(出所：文部科学省「学校基本調査（年次統計）」をもとに作成)

【資料 4-6】全国の保健系統の学部および看護学部の入学志願動向

全国	年度	集計学部数 (学部)	入学定員 (人)	志願者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率 (%)	志願者数÷ 入学定員	
保健系統の学部全体	平成 26 年度	175	27,033	164,659	29,156	107.85	6.09	
	平成 27 年度	192	28,998	170,604	31,205	107.61	5.88	
	平成 28 年度	198	30,330	172,040	31,584	104.13	5.67	
	平成 29 年度	209	32,850	179,962	33,561	102.16	5.48	
	平成 30 年度	220	34,307	185,322	34,669	101.06	5.40	
	平成 31 年度	237	35,861	188,548	36,159	100.83	5.26	
	令和 2 年度	244	37,221	200,366	37,721	101.34	5.38	
	うち 「看護学部」	平成 26 年度	66	6,117	37,965	6,722	109.89	6.21
		平成 27 年度	78	7,142	44,257	7,738	108.35	6.20
		平成 28 年度	81	7,427	44,462	7,997	107.67	5.99
		平成 29 年度	88	8,112	48,763	8,709	107.36	6.01
		平成 30 年度	95	8,819	56,612	9,402	106.61	6.42
		平成 31 年度	95	9,335	56,868	9,604	102.88	6.09
		令和 2 年度	100	9,150	54,346	9,406	102.80	5.94

(出所：日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター「私立大学・短期大学等入学志願動向」)

【資料 4-7】大阪府下の私立大学看護学部および保健学系看護学科の入学状況

大学名	学部学科	入学 定員	2020 年度 入学者数	入学定員 充足率(%)
梅花女子大学	看護保健学部看護学科	90	102	113%
摂南大学	看護学部看護学科	100	110	110%
大阪医科大学	看護学部看護学科	85	89	105%
関西医療大学	保健看護学部保健看護学科	90	93	103%
千里金蘭大学	看護学部看護学科	90	96	107%
藍野大学	医療保健学部看護学科	115	115	100%
太成学院大学	看護学部看護学科	80	91	114%
宝塚大学	看護学部看護学科	100	105	105%
森ノ宮医療大学	保健医療学部看護学科	90	90	100%
大和大学	保健医療学部看護学科	100	120	120%
四條畷学園大学	看護学部看護学科	80	86	108%
大阪青山大学	健康科学部看護学科	80	93	116%
関西医科大学	看護学部看護学科	100	100	100%
四天王寺大学	看護学部看護学科	80	84	105%
大手前大学	国際看護学部看護学科	80	80	100%

※入学定員は 2020 年度入学生

(出所：大学ポータルサイトおよび大学サイト)

【資料4-8】近畿圏競合校の看護学系大学の受験・入学状況

大学名/学部/ 学科	所在地	定員	2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				定員充足率 平均
			志願者	倍率	入学者	定員充足率 (%)	志願者	倍率	入学者	定員充足率 (%)	志願者	倍率	入学者	定員充足率 (%)	志願者	倍率	入学者	定員充足率 (%)	志願者	倍率	入学者	定員充足率 (%)	
同志社女子大学看護学部看護学科	京都	90	1875	7.7	—	—	1711	5.8	90	112.5	1640	6.2	81	101.3	1335	5.1	90	112.5	1426	5.1	94	104.4	107.7
摂南大学看護学部看護学科	大阪	100	2267	4.6	113	143	2309	5.4	102	113.3	3255	6.4	99	110	2779	6.4	101	108.6	2401	4.8	110	110	117.0
森ノ宮医療大学保健医療学部看護学科	大阪	90	1241	7.2	—	—	1434	9.4	90	115.4	1356	8.6	90	102.3	1055	7.3	90	100	1099	7.6	90	100	104.4
千里金蘭大学看護学部看護学科	大阪	90	553	3.3	101	112.2	1152	3.9	115	127.8	1077	4.2	102	113.3	614	2.8	100	111.1	641	3.4	96	106.6	114.2
梅花女子大学看護保健学部看護学科	大阪	90	784	5.3	97	121.3	680	4.6	90	112.5	744	4.7	96	106.7	929	4.3	96	106.7	665	3.3	102	113.3	112.1
藍野大学医療保健学部看護学科	大阪	115	624	3.2	108	120	633	3.7	105	116.7	728	3.9	92	102.2	894	3.1	95	105.6	1210	3.8	115	100	108.9
四條畷学園大学看護学部看護学科	大阪	80	383	3.5	79	98.8	413	3.6	87	108.8	474	4.0	90	128.6	422	3.8	79	98.8	440	3.4	86	107.5	108.5
武庫川女子大学看護学部看護学科	兵庫	80	1480	7.3	77	96.3	1076	4.1	92	115	1476	5.9	90	112.5	1477	5.0	74	92.5	1643	4.9	74	92.5	101.8
神戸女子大学看護学部看護学科	兵庫	90	1216	6.2	92	115	1578	8.3	91	113.8	1848	10.1	88	110	1434	7.2	87	96.7	1392	4.2	88	97.8	106.7
畿央大学健康科学部看護医療学科	奈良	94	2544	6.6	102	113.3	2297	6.5	103	114.4	2652	6.3	90	100	2932	5.9	97	103.2	2826	5.2	99	105.3	107.2

※入学定員は、2020年度

※「—」は、データ非公表を示す

(出所：リクルート進学総研資料、大学サイトおよび大学ポートレートをもとに作成)

【資料4－9】学校基本調査 高等学校学年別生徒数

135 学 年 別 生 徒 数 (8－1)

1. 計 (全日制＋定時制)																				
区 分	計			本 科												専 攻 科		別 科		区 分
				計			1 学 年		2 学 年		3 学 年		4 学 年							
	計	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
令和元年度	3,168,369	1,601,977	1,566,392	3,159,016	1,600,286	1,558,730	533,954	519,534	529,285	516,344	529,795	518,575	7,252	4,277	1,640	7,572	51	90	令和元年度	
令和2年度	3,092,064	1,562,983	1,529,081	3,082,862	1,561,358	1,521,504	519,913	507,417	517,437	506,241	516,684	503,610	7,324	4,236	1,574	7,481	51	96	令和2年度	
国立	8,452	4,287	4,165	8,452	4,287	4,165	1,440	1,389	1,415	1,391	1,432	1,385	—	—	—	—	—	—	国立	
公立	2,065,980	1,041,297	1,024,683	2,062,746	1,040,300	1,022,446	342,790	336,826	345,287	341,097	344,941	340,367	7,282	4,156	946	2,141	51	96	公立	
私立	1,017,632	517,399	500,233	1,011,664	516,771	494,893	175,683	169,202	170,735	163,753	170,311	161,858	42	80	628	5,340	—	—	私立	
計の内訳																			計の内訳	
北海道	119,773	60,189	59,584	119,476	60,121	59,355	19,764	19,582	19,993	19,856	20,014	19,665	350	252	68	229	—	—	北海道	
青森	32,155	16,439	15,716	31,940	16,360	15,580	5,266	5,114	5,406	5,207	5,622	5,222	66	37	79	136	—	—	青森	
岩手	31,229	15,862	15,367	31,037	15,822	15,215	5,137	5,050	5,364	4,982	5,299	5,153	22	30	40	152	—	—	岩手	
宮城	57,157	28,954	28,203	57,059	28,931	28,128	9,570	9,248	9,626	9,463	9,628	9,365	107	52	23	75	—	—	宮城	
秋田	22,266	11,255	11,011	22,244	11,243	11,001	3,763	3,627	3,692	3,616	3,737	3,723	51	35	12	10	—	—	秋田	
山形	28,281	14,407	13,874	28,157	14,363	13,794	4,816	4,556	4,671	4,604	4,846	4,615	30	19	44	80	—	—	山形	
福島	47,571	24,104	23,467	47,355	24,040	23,315	7,896	7,585	7,993	7,888	8,112	7,813	39	29	64	152	—	—	福島	
茨城	74,121	37,975	36,146	73,988	37,972	36,016	12,733	12,008	12,585	11,990	12,572	11,977	82	41	3	130	—	—	茨城	
栃木	50,745	26,051	24,694	50,745	26,051	24,694	8,668	8,171	8,694	8,239	8,585	8,237	104	47	—	—	—	—	栃木	
群馬	49,994	25,694	24,300	49,994	25,694	24,300	8,625	8,098	8,612	8,108	8,352	8,043	105	51	—	—	—	—	群馬	
埼玉	167,972	86,980	80,992	167,789	86,972	80,817	28,997	27,084	28,880	26,892	28,794	26,701	301	140	8	175	—	—	埼玉	
千葉	145,920	74,241	71,679	145,827	74,227	71,600	24,781	23,803	24,546	23,782	24,628	23,874	272	141	14	79	—	—	千葉	
東京都	306,302	151,322	154,980	306,229	151,322	154,907	50,687	52,259	50,321	51,429	49,231	50,551	1,083	668	—	73	—	—	東京都	
神奈川県	200,230	101,175	99,055	200,047	101,088	98,959	33,488	32,986	33,786	32,900	33,126	32,692	688	381	36	—	51	96	神奈川県	
新潟	53,114	27,058	26,056	53,006	27,051	25,955	9,069	8,674	9,161	8,594	8,722	8,630	99	57	7	101	—	—	新潟	
富山	26,722	13,512	13,210	26,479	13,422	13,057	4,418	4,341	4,465	4,359	4,503	4,312	36	45	90	153	—	—	富山	
石川	30,515	15,563	14,952	30,437	15,560	14,877	5,099	4,990	5,302	5,001	5,108	4,848	51	38	3	75	—	—	石川	
福井	21,221	10,760	10,461	21,151	10,760	10,391	3,588	3,437	3,460	3,469	3,667	3,454	45	31	—	70	—	—	福井	
山梨	23,384	12,571	10,813	23,346	12,540	10,806	4,086	3,584	4,175	3,600	4,205	3,586	74	36	31	7	—	—	山梨	
長野	54,280	27,805	26,475	54,280	27,805	26,475	9,229	8,709	9,169	8,888	9,249	8,810	158	68	—	—	—	—	長野	
岐阜	52,577	26,641	25,936	52,561	26,630	25,931	8,708	8,412	8,877	8,611	8,908	8,829	137	79	11	5	—	—	岐阜	
静岡県	94,652	48,860	45,792	94,621	48,829	45,792	16,142	15,246	15,980	15,240	16,368	15,140	339	166	31	—	—	—	静岡県	
愛知	190,309	95,235	95,074	189,936	95,101	94,835	31,822	31,855	31,264	31,604	31,524	31,081	491	295	134	239	—	—	愛知	
三重	45,829	23,001	22,828	45,696	22,947	22,749	7,433	7,420	7,564	7,491	7,658	7,605	292	233	54	79	—	—	三重	
滋賀	37,868	19,475	18,393	37,868	19,475	18,393	6,442	6,179	6,464	6,019	6,474	6,161	95	34	—	—	—	—	滋賀	
京都	67,847	33,684	34,163	67,677	33,676	34,001	11,291	11,508	11,175	11,312	11,082	11,116	128	65	8	162	—	—	京都	
大阪	214,115	107,181	106,934	213,903	107,164	106,739	36,189	35,775	35,123	35,469	35,578	35,304	274	191	17	195	—	—	大阪	
兵庫	132,810	66,564	66,246	132,668	66,562	66,106	21,989	21,905	21,776	21,994	22,281	21,988	516	219	2	140	—	—	兵庫	
奈良	33,849	17,372	16,477	33,712	17,372	16,340	5,655	5,321	5,860	5,428	5,761	5,498	96	93	—	137	—	—	奈良	
和歌山	24,240	12,376	11,864	24,168	12,367	11,801	4,078	3,792	4,126	4,010	4,098	3,971	65	28	9	63	—	—	和歌山	
鳥取	14,572	7,267	7,305	14,525	7,264	7,261	2,463	2,507	2,448	2,375	2,353	2,379	—	—	3	44	—	—	鳥取	
島根	17,707	9,199	8,508	17,668	9,165	8,503	3,055	2,890	3,017	2,769	3,068	2,821	25	23	34	5	—	—	島根	
岡山	51,008	25,994	25,014	50,715	25,985	24,730	8,749	8,138	8,619	8,191	8,550	8,349	67	52	9	284	—	—	岡山	
広島	69,260	34,878	34,382	69,145	34,878	34,267	11,591	11,456	11,571	11,533	11,493	11,147	223	131	—	115	—	—	広島	
山口	32,051	16,015	16,036	31,749	15,979	15,770	5,387	5,212	5,347	5,201	5,183	5,331	62	26	36	266	—	—	山口	
徳島	17,801	8,918	8,883	17,724	8,918	8,806	2,950	2,891	2,976	2,935	2,949	2,962	43	18	—	77	—	—	徳島	
香川	25,477	12,823	12,654	25,248	12,791	12,457	4,246	4,166	4,174	4,107	4,322	4,152	49	32	32	197	—	—	香川	
愛媛	32,547	16,765	15,782	32,337	16,726	15,611	5,477	5,258	5,674	5,234	5,537	5,095	38	24	39	171	—	—	愛媛	
高知	17,646	8,899	8,747	17,368	8,855	8,513	2,890	2,830	2,900	2,819	2,998	2,830	67	34	44	234	—	—	高知	
福岡	125,635	62,732	62,903	124,747	62,591	62,156	21,141	21,001	20,619	20,584	20,625	20,435	206	136	141	747	—	—	福岡	
佐賀	23,034	11,910	11,124	22,885	11,910	10,975	3,927	3,676	3,974	3,644	3,970	3,643	39	12	—	149	—	—	佐賀	
長崎	35,385	17,900	17,485	35,125	17,871	17,254	5,955	5,756	5,914	5,753	5,961	5,729	41	16	29	231	—	—	長崎	
熊本	45,401	23,156	22,245	44,916	23,123	21,793	7,846	7,273	7,622	7,233	7,607	7,260	48	27	33	452	—	—	熊本	
大分	29,937	15,069	14,868	29,400	14,987	14,413	5,089	4,821	5,019	4,781	4,842	4,782	37	29	82	455	—	—	大分	
宮崎	29,590	14,997	14,593	29,161	14,941	14,220	5,013	4,713	4,893	4,710	5,002	4,765	33	32	56	373	—	—	宮崎	
鹿児島	43,928	21,845	22,083	42,783	21,662	21,121	7,269	7,146	7,275	7,034	7,118	6,939	—	2	183	962	—	—	鹿児島	
沖縄	44,037	22,310	21,727	43,970	22,245	21,725	7,436	7,364	7,285	7,293	7,374	7,027	150	41	65	2	—	—	沖縄	

(出所: 文部科学省 令和2年度学校基本調査)

【資料 4-10】 高校生アンケート調査対象大阪府内公立高等学校偏差値

調査対象大阪府内公立高等学校	偏差値	調査対象大阪府内公立高等学校	偏差値
大阪市立高等学校	57	大阪府立堺西高等学校	43
大阪府立桜塚高等学校	57	大阪府立渋谷高等学校	42
大阪府立河南高等学校	54	大阪府立泉大津高等学校	42
大阪府立高槻北高等学校	54	大阪府教育センター附属高等学校	42
大阪府立刀根山高等学校	54	大阪府立大塚高等学校	42
大阪府立吹田東高等学校	50	大阪府立枚方なぎさ高等学校	42
大阪府立高石高等学校	49	大阪府立枚方津田高等学校	42
大阪府立日根野高等学校	49	大阪府立緑風冠高等学校	42
岸和田市立産業高等学校	46	東大阪市立日新高等学校	42
大阪府立八尾翠翔高等学校	46	大阪府立守口東高等学校	39
大阪府立門真なみはや高等学校	46	大阪府立成城高等学校	38
大阪市立扇町総合高等学校	45	大阪府立福井高等学校	37
大阪府立長尾高等学校	45	大阪府立西寝屋川高等学校	37
大阪府立港高等学校	44	大阪府立枚岡樟風高等学校	37
大阪市立汎愛高等学校	44	大阪府立島本高等学校	36
大阪府立北かわち臯が丘高等学校	44	大阪府立門真西高等学校	36
大阪府立貝塚南高等学校	43	大阪府立平野高等学校	35
大阪府立東淀川高等学校	43	大阪府立岬高等学校	34

(出所:「(株)大阪進研」による「進研 V もし」受験者の過去の入試データおよびテスト受験者の合否調査に基づいた公表データをもとに作成)

【資料 4-11】高等学校訪問調査校

府県	高校名
大阪府	大阪府立芦間高等学校
大阪府	東大阪市立日新高等学校
大阪府	常翔学園高等学校
大阪府	四條畷学園高等学校
大阪府	アサンプション国際高等学校
大阪府	常翔啓光学園高等学校
大阪府	東海大学付属大阪仰星高等学校
大阪府	梅花高等学校
大阪府	大阪高等学校
大阪府	賢明学院高等学校
大阪府	好文学園女子高等学校
大阪府	阪南大学高等学校
大阪府	大阪夕陽丘学園高等学校
大阪府	金蘭会高等学校
大阪府	香里ヌヴェール学院高等学校
大阪府	清明学院高等学校
大阪府	大阪学芸高等学校
大阪府	樟蔭高等学校
大阪府	城星学園高等学校
兵庫県	園田学園高等学校

【資料 4-12】信愛系列高等学校

和歌山信愛高等学校
久留米信愛高等学校
熊本信愛女学院高等学校